



福 島 県 立 美 術 館
年 報
平 成 3 0 年 度
2 0 1 8



福島県立美術館年報
平成30年度(2018)

目次

設置の目的と立地	2
沿革	3
平成30年度主要記事	4
第1節 委員会等	4
美術館運営協議会	
他館等との連携	
第2節 収集・保存	5
収集作品点数	
収集評価委員会	
平成30年度収集作品	
図書資料の収集	
保存管理	
第3節 展示事業	16
常設展	
企画展	
アンケート結果	
観覧者数一覧	
第4節 調査研究事業	55
第5節 普及事業	55
館内解説	
鑑賞講座	
創作プログラム	
美術館への年賀状展	
博物館実習	
美術館・学校教育連携事業	
友の会、協力会との連携	
その他の事業	
関係法規	60
予算	66
施設・設備	67
施設配置図	68
組織図・職員名簿	69
利用案内	70

◆設置の目的と立地



福島県立美術館は、すぐれた美術作品にふれることで人々の感受性が高まり、情操が養われ、憩いと喜びのなかに創造の手がかりが得られる場として、1984（昭和59）年7月に、隣接する福島県立図書館とともに設けられました。

この目的のために、収蔵作品の充実をはかり、貴重な文化財である美術品の保存につとめ、継続的な調査研究にもとづく展示・普及事業を積極的に展開するとともに、美術に関するさまざまな情報を提供します。

美術館は、福島市のシンボルであり、憩いの場として親しまれている信夫山のふもとにあります。福島駅からも近く、交通の便もよい場所にありながら、野鳥の声もきこえる静かで落ち着いた環境にあります。60,000㎡もの広大な敷地には、樹木や花々、広い芝生や日本庭園があり、散策や休息の場として親しまれています。

美術館と図書館は、多面的な機能と豊富な情報にもとづく、さまざまなサービスを提供することによって、見る・聴く・語る・作る・考える空間として活用していただくことをめざしています。

◆沿革

1977年	5月	文化を考える県民会議を設置	10月	18日以降臨時休館となる（-2000年7月
	6-8月	文化に関する県民意識調査を実施		19日）空調機械改修工事（第一期）着工
1978年	1月	文化を考える県民会議より「県の文化振興について」を県知事に報告		「移動美術館」開始（第1回は喜多方市美術館）
	7月	文化振興会議を設置	2000年	3月 『福島県立美術館所蔵作品選 ポケット・ミュージアム』発行
1979年	2月	文化振興会議より「文化振興策の具体策について」を県知事に報告		4月 第四代館長に酒井哲朗が就任（-2012年3月）
	3月	文化施設等整備基金条例制定		7月 空調機械工事（第一期）竣工、再開館（20日）
	4月	県教育庁文化課内に文化施設班を置く	2001年	11月 19日以降臨時休館となる（-2002年4月
	6月	福島県立美術館基本構想検討委員会を設置（委員10人を委嘱）		26日）空調機械工事（第二期）等着工
	12月	美術品等取得基金条例制定	2002年	3月 空調機械工事（第二期）、展示室改修工事竣工（県立図書館空調工事も竣工）
1980年	1月	「福島県立美術館建設基本構想について」を同委員会より知事に報告		4月 再開館（27日） レストラン「カフェ・ドゥ・ミュゼ ムスターシュ」開店（-2008年3月
	2月	美術館・図書館の建設地を福島市に決定 版画家斎藤清氏より県に自作227点が寄贈される		23日）
	4月	福島県立美術館収集評価委員会を設置（委員7人を委嘱） 美術館・図書館の建設地を福島大学経済学部跡地に決定	2003年	4月 「美術館友の会（仮称）設立に向けて県民の意見を聴く会」を設置 高校生以下の常設展観覧料金を無料化 「福島県立美術館友の会設立発起人会」を開催、友の会発足
	5月	第1回収集評価委員会開催、ワイエス「松ぼっくり男爵」他の購入を決定	2004年	6月 「特定非営利活動法人 福島県立美術館協力会」発足
	12月	美術館基本設計を委託（大高建築設計事務所）		7月 「アートオブスター・ウォーズ展」開催、77,601人の観覧者を記録する
1981年	7月	美術館実施設計を委託（大高建築設計事務所）		10月 開館20周年記念展「田園の夢」開催
1982年	7月	美術館設計工事着工	2005年	3月 『収蔵作品図録1990-2005』発行
1984年	3月	美術館本体工事完了 福島県立美術館条例を議決	2006年	5月 入館者通算200万人を記録する
	4月	福島県立美術館設置		8月 初の県立美術館・図書館連携事業として「アートな おはなしかい」を開催
	6月	福島県立美術館博物館所管の県有美術品365点を移管	2008年	10月 レストラン「ミュゼ・ドゥ・カナール」新装開店
	7月	開館（22日）初代館長に原田實が就任（-1989年3月） 開館記念展第1部「戦後の名作に見る人間像」展開催 『所蔵品図録抄』を発行	2009年	7月 開館25周年記念展「福島県立美術館のすべて」「文化の力」「アルバム」展開催
	10月	第1回運営協議会開催	2011年	3月 12日以降東日本大震災の被害により臨時休館となる（-4月25日）
1986年	3月	『研究紀要第1号』発行		4月 再開館（26日）
1989年	4月	第二代館長に佐藤昌志が就任（-1990年3月）		5月 入館者通算300万人を記録
1990年	3月	『収蔵作品図録1984-1989』発行	2012年	2月 震災復旧工事のため1日以降臨時休館となる（-4月6日）
	4月	館長事務代行を教育長兼務とする（-1992年3月）		4月 第五代館長に早川博明が就任
1992年	4月	第三代館長に長谷部満彦が就任（-2000年3月）	2013年	7月 再開館（7日） 「若冲が来てくれました」展開催、155,592人の観覧者を記録する
1994年	7月	開館10周年記念展「ルネサンスの絵画」「日本画の風景」開催	2014年	7月 開館30周年記念展「コレクション・クッキング」展開催
1995年	6月	入館者通算100万人を記録する	2015年	4月 6日以降臨時休館となる（-2016年4月
1998年	4月	「ピカソ回顧展」開催、67,125人の観覧者を記録する		1日）空調設備等改修工事着工
1999年	3月	屋根改修工事着工	2016年	4月 再開館（2日） 名誉館長に酒井哲朗が就任 「フェルメールとレンブラント」展開催、104,519人の観覧者を記録する
	8月	屋根改修工事のため23日以降常設展を休止（-2000年7月19日）		
	9月	通算100本目の企画展「生誕100年関根正二展」を開催		

◆平成30年度主要記事（2018.4 - 2019.3）

第1節 委員会等

平成30（2018）年

- 4月 1日 鶴見宏幸副館長・嶋原由夏主査・大北 孝主任学芸員着任
- 4月22日 「長谷川利行展」閉幕（3月24日-）
- 4月28日 「ポーラ美術館コレクション」展開幕（-6月24日）
- 5月 5日 常設展無料観覧日（こどもの日）
- 5月17日 全国美術館会議総会出席（富山市、-18日）
- 5月20日 【友の会】通常総会
- 6月24日 「第Ⅰ期常設展」閉幕（3月24日-）
- 6月25日 全館展示替にともなう臨時休館（-29日）
- 6月30日 「第Ⅱ期常設展」開幕（-10月14日）
- 7月 7日 「安西水丸展」開幕（-9月2日）
- 8月21日 常設展無料観覧日（県民の日）
- 9月15日 「土に挑む」展開幕（-10月14日）
- 9月18日 常設展無料観覧日（敬老の日）
- 10月15日 全館展示替にともなう臨時休館（-19日）
- 10月20日 「第Ⅲ期常設展」開幕（-12月24日）
- 10月27日 「佐藤玄々（朝山）展」開幕（-12月16日）
- 11月 1日 美術館・図書館合同消防訓練
- 11月 3日 常設展無料観覧日（文化の日）
- 12月 4日 「移動美術館」榊葉町で開幕（-12日）
- 12月25日 臨時休館および年末年始休館（-1月7日）

平成31（2019）年

- 1月 8日 「第Ⅳ期常設展」開幕（-3月10日）
- 1月12日 「美術館への年賀状展」開幕（-31日）
- 2月 9日 「Gallery F 2019 コレクション再発見」開幕（-3月10日）
- 2月22日 平成30年度収集評価委員会
- 2月27日 平成30年度運営協議会
- 3月11日 館内消毒にともなう臨時休館（-25日）
- 3月26日 「伊藤若冲展」開幕（-5月6日）
- 「第Ⅰ期常設展」開幕（-6月24日）
- 3月31日 菅野 徹総務課長転任

1 美術館運営協議会

(1) 委員

- 山口 功 福島県中学校教育研究会美術専門部所属
（平成25.1.1～）
- 番匠あつみ 福島県高等学校教育研究会美術工芸部会所属
（平成27.1.1～）
- 杉 昭重 公益財団法人福島県文化振興財団理事長
（平成29.1.1～）
- 坂本節子 福島県家庭教育インストラクターいわきの会事務局長
（平成25.1.1～）
- 齋藤勝正 福島県美術家連盟会長
（平成29.1.1～）
- 鈴木 仁 日本放送協会福島放送局長
（平成29.8.19～）
- 星真智子 西会津国際芸術村事務局長
（平成27.1.1～）
- 清水真砂 世田谷美術館分館長
（平成27.1.1～）
- 齋藤美保子 郡山女子大学短期大学部教授
（平成27.1.1～）
- 舟木藤弘 福島県立美術館友の会理事
（平成29.1.1～）

(2) 協議会の開催

期日：平成30年3月6日(火)

内容：・平成29年度事業実施の概要

・平成30年度事業計画案の概要

・その他（県立美術館の運営等について）

2 他館等との連携

県内外の博物館施設および全国組織等との連携を図り運営・事業等に関する情報交換や研修等を実施した。

〈加盟団体〉

- ・全国美術館会議（理事）
- ・日本博物館協会（会員）
- ・日本博物館協会東北支部（監事）
- ・東北地区博物館協会（監事）
- ・福島県博物館連絡協議会（理事）

第2節 収集・保存

優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、文化財を保存継承するために、コレクション(収蔵作品)の収集活動を継続的に行っている。

平成30年度は113点の作品、および美術資料6件を寄贈により収蔵した。

斎藤 清資料	1 件
渡部菊二資料	1 件
道乃奥第1号	1 件
県内作家資料	1 件
門間春雄資料	1 件
計	113 点 美術資料 6 件

1 収蔵作品点数(平成31年3月31日現在)

種別	購入点数	受贈点数	移管点数	合計
海外作品	421	29	0	450
日本画	75	162	116	353
洋画	99	712	96	907
素描・下絵	15	183	17	215
版画	376	732	40	1,148
写真	0	390	20	410
立体	14	77	48	139
工芸	76	46	33	155
書	0	3	36	39
美術資料(件数)	1	58	4	63
合計	1,077 点	2,363 点	410 点	3,879 点

2 収集評価委員会

(1) 委員

原田 光	元岩手県立美術館長(平成23.12.1～)
村田真宏	豊田市美術館長(平成23.12.1～)
荒屋鋪透	中部大学民族資料博物館長(平成23.12.1～)
三上満良	宮城県美術館副館長(平成23.12.1～)
佐々木吉晴	いわき市立美術館長、宇都宮美術館長(平成23.12.1～)

(2) 委員会の開催

期日：平成31年2月22日(金)

内容：・平成29年度収集作品の報告

・平成30年度収集候補作品について

3 平成30年度収蔵作品

(1) 美術作品及び美術資料の収集

国内：日本画	中野蒼穹	1 点
国内：洋画	梅宮英亮	1 点
	角田行夫	2 点
	渡部菊二	4 点
	宮崎 進	19 点
	若松光一郎	39 点
国内：素描・下絵	渡部菊二	17 点
	若松光一郎	25 点
国内：版画	渡部菊二	2 点
	若松光一郎	3 点
国内：資料	中野蒼穹資料	1 件

(2) 新収蔵作品一覧

1. 中野蒼穹(1926-1981)

《武蔵野》1974(昭和49)年

紙本着色・屏風二曲一隻 151.0×212.2cm

※付・資料一式(スケッチブック、展覧会資料、スクラップブック等)

中野彰久氏寄贈



2. 梅宮英亮(1941-1994)

《公園のピエロ》1984(昭和59)年

カンヴァス・油彩 282.8×227.3cm 梅宮スミ子氏寄贈



3. 角田行夫(1912-1994)

《東山温泉入口附近》1930(昭和5)年

紙・水彩 57.5×72.8cm 角田祐子氏寄贈



4. 角田行夫(1912-1994)

《小田山より東山街道を望む》1931(昭和6)年

紙・水彩 53.5×65.2cm 角田祐子氏寄贈



5. 渡部菊二 (1907-1947)

《画家の自画像》1934(昭和9)年

紙・水彩 37.0 × 28.6cm 角田祐子氏寄贈



6. 渡部菊二 (1907-1947)

《バルコンにて》1934(昭和9)年

紙・水彩 75.5 × 58.1cm 角田祐子氏寄贈



7. 渡部菊二 (1907-1947)

《野に座す》1936(昭和11)年

紙・水彩 75.0 × 57.5cm 角田祐子氏寄贈



8. 渡部菊二 (1907-1947)

《防空頭巾》1943(昭和18)年

紙・水彩 60.6 × 48.6cm 角田祐子氏寄贈



9. 渡部菊二 (1907-1947)

《機械工A》1938(昭和13)年

紙・鉛筆 35.0 × 23.7cm 角田祐子氏寄贈



10. 渡部菊二 (1907-1947)

《機械工B》1938(昭和13)年

紙・鉛筆 32.2 × 23.5cm 角田祐子氏寄贈



11. 渡部菊二 (1907-1947)

《[椅子に座って縫う女]》制作年不詳

紙・鉛筆 28.0 × 20.5cm 角田祐子氏寄贈



12. 渡部菊二 (1907-1947)

《[うつむく女]》制作年不詳

紙・鉛筆 27.2 × 19.6cm 角田祐子氏寄贈



13. 渡部菊二 (1907-1947)

《[女]》制作年不詳

紙・鉛筆 19.2 × 19.6cm 角田祐子氏寄贈



14. 渡部菊二 (1907-1947)

《[人力車]》制作年不詳

紙・鉛筆 14.6 × 11.6cm 角田祐子氏寄贈



15. 渡部菊二 (1907-1947)

《[座る人物]》制作年不詳

紙・鉛筆 12.6 × 15.8cm 角田祐子氏寄贈



16. 渡部菊二 (1907-1947)

《[縫う女1]》制作年不詳

紙・鉛筆 29.3 × 20.5cm 角田祐子氏寄贈



17. 渡部菊二 (1907-1947)

《[縫う女 2]》制作年不詳

紙・鉛筆 23.9 × 16.3cm 角田祐子氏寄贈



18. 渡部菊二 (1907-1947)

《[縫う女 3]》制作年不詳

紙・鉛筆 19.5 × 11.7cm 角田祐子氏寄贈



19. 渡部菊二 (1907-1947)

《[猫 1]》制作年不詳

紙・鉛筆 18.0 × 25.3cm 角田祐子氏寄贈



20. 渡部菊二 (1907-1947)

《[猫 2]》制作年不詳

紙・鉛筆 14.3 × 20.0cm 角田祐子氏寄贈



21. 渡部菊二 (1907-1947)

《[頬杖をつく女]》制作年不詳

紙・鉛筆 21.2 × 19.2cm 角田祐子氏寄贈



22. 渡部菊二 (1907-1947)

《[武者など]》制作年不詳

紙・鉛筆 33.0 × 23.5cm 角田祐子氏寄贈



23. 渡部菊二 (1907-1947)

《[横たわる女]》制作年不詳

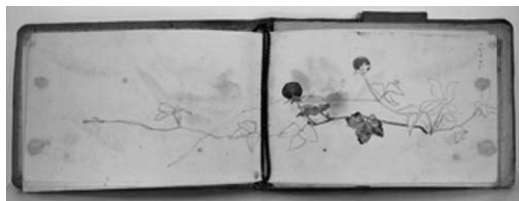
紙・鉛筆 12.0 × 27.2cm 角田祐子氏寄贈



24. 渡部菊二 (1907-1947)

スケッチブック 制作年不詳

紙・水彩、鉛筆 14.0 × 19.3cm 角田祐子氏寄贈



25. 渡部菊二 (1907-1947)

手帳 制作年不詳

紙・水彩、鉛筆 10.0 × 6.0cm 角田祐子氏寄贈



26. 渡部菊二 (1907-1947)

《あざみ》制作年不詳

紙・木版 13.6 × 11.0cm 角田祐子氏寄贈



27. 渡部菊二 (1907-1947)

《ギターを抱く女》制作年不詳

紙・木版 17.3 × 11.6cm 角田祐子氏寄贈



28. 斎藤清関係資料一式

書簡 2 通、写真、個展案内など

角田祐子氏寄贈

29. 渡部菊二関係資料一式

菊二挿絵本 10冊

『菅沼貞風』赤沼三郎著 渡部菊二装幀 1941年10月31日発行 博文館

『手のなかの虫』酒井朝彦著 渡部菊二装幀・画 1941年11月20日発行 清水書房

『雪にかがやく塔』酒井朝彦著 渡部菊二装幀・画 1942年2月15日発行 金蘭社

『加賀の千代女』川島つゆ著 渡部菊二画 1942年10月10日 小学館

『ジャワノエホン』小出正吾著 渡部菊二装幀・画 1943年5月10日 中央出版協会

『椰子の実と子供』楨本楠郎著 渡部菊二画 1943年9月1日 増進堂

『ジャワノキナカ』小出正吾著 渡部菊二画 1943年9月15日 中央出版協会

『からくり儀右衛門』大坪草二郎著 渡部菊二装幀・画 1944年1月21日 大日本雄弁会 講談社

『最後のいこひ』謝冰心著 渡部菊二画 1946年9月5日 増進堂

『月の桂を伐る話』渡辺梢著 渡部菊二装幀・画 1947年12月15日 童話春秋社

スクラップブック 1冊、戸籍コピー、菊二宛葉書 9通、写真 25枚、雑誌 4冊、個展資料 印章（渡部菊二 4個、百合子 15個）など

角田祐子氏寄贈

30. 資料

雑誌名『道乃奥』第1号 発行者 会津版画協会 発行年 1931年1月 * 渡部菊二《青衣》紙・木版を含む 角田祐子氏寄贈



31. 宮崎進 (1922-2018)

《女》1958-63(昭和33-38)年

板・油彩 95.0 × 55.0cm 宮崎とみえ氏寄贈



32. 宮崎進 (1922-2018)

《北の祭》1964(昭和39)年

カンヴァス・油彩 163.0 × 163.0cm 宮崎とみえ氏寄贈



33. 宮崎進 (1922-2018)

《幕の向こう》1966(昭和41)年

板・油彩 62.5 × 80.3cm 宮崎とみえ氏寄贈



34. 宮崎進 (1922-2018)

《[生きるもの] または [祭り]》1965(昭和40)年頃

カンヴァス・油彩 112.0 × 145.4cm 宮崎とみえ氏寄贈



35. 宮崎進 (1922-2018)

《冬》1965(昭和40)年頃

カンヴァス・油彩 80.3 × 100.0cm 宮崎とみえ氏寄贈



36. 宮崎進 (1922-2018)

《祭の夜》1965(昭和40)年頃

カンヴァス・油彩 162.0 × 130.0cm 宮崎とみえ氏寄贈



37. 宮崎進 (1922-2018)

《祭の夜》1965(昭和40)年頃

板・油彩 91.0 × 116.7cm 宮崎とみえ氏寄贈



38. 宮崎進 (1922-2018)

《見世物の女》1965(昭和40)年頃

カンヴァス・油彩 130.0 × 162.0cm 宮崎とみえ氏寄贈



39. 宮崎 進 (1922-2018)

《夜》1965(昭和40)年頃

カンヴァス・油彩 112.0 × 162.0cm 宮崎とみえ氏寄贈



40. 宮崎 進 (1922-2018)

《手品師》1967(昭和42)年

板・油彩 72.7 × 91.0cm 宮崎とみえ氏寄贈



41. 宮崎 進 (1922-2018)

《牛乳瓶のある静物》1967(昭和42)年頃

板・油彩 38.0 × 45.5cm 宮崎とみえ氏寄贈



42. 宮崎 進 (1922-2018)

《軍艦旗》1967(昭和42)年頃

カンヴァスボード・油彩 63.0 × 45.6cm 宮崎とみえ氏寄贈



43. 宮崎 進 (1922-2018)

《面》1968(昭和43)年頃

カンヴァス・油彩 33.3 × 24.2cm 宮崎とみえ氏寄贈



44. 宮崎 進 (1922-2018)

《常磐》1950-60年代

カンヴァス・油彩 112.0 × 145.5 cm 宮崎とみえ氏寄贈



45. 宮崎 進 (1922-2018)

《山塊》1950-60年代

カンヴァス・油彩 145.5 × 112.0cm 宮崎とみえ氏寄贈



46. 宮崎 進 (1922-2018)

《母と子》1950-60年代

カンヴァス・油彩 91.0 × 72.0cm 宮崎とみえ氏寄贈



47. 宮崎 進 (1922-2018)

《[小屋]》1963(昭和38)年

カンヴァス・油彩 112.0 × 145.5cm 宮崎とみえ氏寄贈



48. 宮崎 進 (1922-2018)

《[祭の風景]》1950-60年代

板・油彩 72.5 × 126.5cm 宮崎とみえ氏寄贈



49. 宮崎 進 (1922-2018)

《女》1970(昭和45)年頃

カンヴァス・油彩 22.7 × 15.8cm 宮崎とみえ氏寄贈



50. 若松光一郎 (1914-1995)

《表磐梯》1973(昭和48)年5月1日

紙本墨画 31.7 × 40.7cm 中川素直氏寄贈



51. 若松光一郎 (1914-1995)
 《高台の家》1943(昭和18)年
 カンヴァス・油彩 96.8 × 130.1cm 中川素直氏寄贈



52. 若松光一郎 (1914-1995)
 《於東部第6部隊》1944(昭和19)年1月
 紙・コンテ、水彩、パステル 37.4 × 29.1cm 中川素直氏寄贈



53. 若松光一郎 (1914-1995)
 《東部第六部隊ニテ》1944(昭和19)年1月
 紙・コンテ、水彩、パステル 28.8 × 36.2cm 中川素直氏寄贈



54. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[臥した兵士たち]》1944(昭和19)年1月
 紙・コンテ、水彩、パステル 29.0 × 37.5cm 中川素直氏寄贈



55. 若松光一郎 (1914-1995)
 《戦時下の女たち》1944(昭和19)年
 カンヴァス・油彩 130.8 × 161.7cm 中川素直氏寄贈



56. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[兵士(横顔)]》1945(昭和20)年5月
 紙・コンテ、水彩 34.3 × 27.0cm 中川素直氏寄贈



57. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[裁縫をする女性]》1945(昭和20)年12月25日
 紙・コンテ、水彩、パステル 53.0 × 38.2cm 中川素直氏寄贈



58. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[絵を描く少女たち]》1951(昭和26)年
 紙・インク、水彩 22.8 × 30.9cm 中川素直氏寄贈



59. 若松光一郎 (1914-1995)
 《髪を剥く女(または「粧」)》1951(昭和26)年
 カンヴァス・油彩 162.1 × 130.3cm 中川素直氏寄贈



60. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[縦坑] ([59]の裏側)》1951(昭和26)年頃
 カンヴァス・油彩 162.1 × 130.3cm 中川素直氏寄贈



61. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[絵を描く人々]》1954(昭和29)年10月18日
 紙・インク、水彩 25.0 × 35.7cm 中川素直氏寄贈



62. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[少女と女]》1954(昭和29)年10月18日
 紙・インク、水彩 35.7 × 25.1cm 中川素直氏寄贈



63. 若松光一郎 (1914-1995)
《[静物(魚)]》1955(昭和30)年
紙・コンテ、水彩 48.1×62.7cm 中川素直氏寄贈



64. 若松光一郎 (1914-1995)
《[風景]》1955(昭和30)年
紙・インク、水彩 25.2×35.7cm 中川素直氏寄贈



65. 若松光一郎 (1914-1995)
《[風景]》1956(昭和31)年7月29日
紙・コンテ、水彩 30.9×42.5cm 中川素直氏寄贈



66. 若松光一郎 (1914-1995)
《[ピアノを弾く少女]》1957(昭和32)年
紙・コンテ、水彩 42.5×31.0cm 中川素直氏寄贈



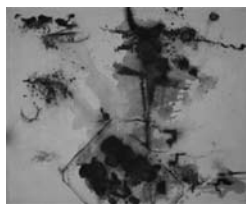
67. 若松光一郎 (1914-1995)
《出漁前》1960(昭和35)年
カンヴァス・油彩 133.2×164.7cm 中川素直氏寄贈



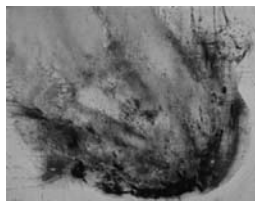
68. 若松光一郎 (1914-1995)
《作品(A)》1963(昭和38)年
カンヴァス・油彩 164.4×263.2cm 中川素直氏寄贈



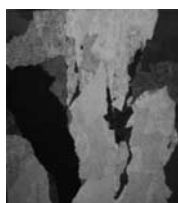
69. 若松光一郎 (1914-1995)
《[作品]》1963(昭和38)年
カンヴァス・油彩 104.3×133.5cm 中川素直氏寄贈



70. 若松光一郎 (1914-1995)
《無題》1964(昭和39)年
カンヴァス・油彩 90.9×116.4cm 中川素直氏寄贈



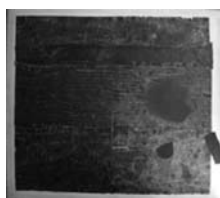
71. 若松光一郎 (1914-1995)
《[作品]》1966(昭和41)年 板・カゼインカラー・墨・和紙・他
164.0×146.9cm 中川素直氏寄贈



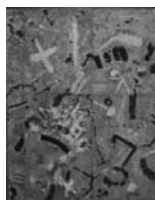
72. 若松光一郎 (1914-1995)
《裳》1968(昭和43)年 カンヴァス・和紙・カゼインカラー・
リキテックス 135.0×109.2cm 中川素直氏寄贈



73. 若松光一郎 (1914-1995)
《宇宙の記念碑(一)》1977(昭和52)年8月13日 カンヴァス・カ
ゼインカラー・墨・和紙・他 179.5×209.2cm 中川素直氏寄贈



74. 若松光一郎 (1914-1995)
《大地の歌 26.1.86》1986(昭和61)年1月26日 カンヴァス・カゼ
インカラー・墨・和紙・油彩 165.0×133.3cm 中川素直氏寄贈



75. 若松光一郎 (1914-1995)

《時空・92A》1992(平成4)年8月8日 カンヴァス・カゼイン
カラー・墨・和紙・他 212.2 × 171.3cm 中川素直氏寄贈



76. 若松光一郎 (1914-1995)

《時空・薫風》1993(平成5)年5月10日 カンヴァス・カゼイン
ンカラー・墨・和紙・他 196.6 × 147.8cm 中川素直氏寄贈



77. 若松光一郎 (1914-1995)

《石切工》1950年代
カンヴァス・油彩 111.4 × 161.9cm 中川素直氏寄贈



78. 若松光一郎 (1914-1995)

《S.S氏の像》制作年不詳
紙・コンテ、水彩 37.0 × 27.5cm 中川素直氏寄贈



79. 若松光一郎 (1914-1995)

《[表磐梯]》制作年不詳
紙・インク、水彩、パステル 32.1 × 40.9cm 中川素直氏寄贈



80. 若松光一郎 (1914-1995)

《[静物(金魚鉢と水差し)]》制作年不詳
紙・インク、水彩 45.7 × 61.6cm 中川素直氏寄贈



81. 若松光一郎 (1914-1995)

《[炭坑風景(井戸端)]》制作年不詳
紙・インク、水彩 40.9 × 32.1cm 中川素直氏寄贈



82. 若松光一郎 (1914-1995)

《[炭坑夫(胸像)]》制作年不詳
紙・コンテ、水彩 42.5 × 31.0cm 中川素直氏寄贈



83. 若松光一郎 (1914-1995)

《[炭坑夫(立像)]》制作年不詳
紙・コンテ、水彩 64.0 × 48.3cm 中川素直氏寄贈



84. 若松光一郎 (1914-1995)

《[花]》1930年代
板・油彩 40.7 × 30.9cm 中川素直氏寄贈



85. 若松光一郎 (1914-1995)

《[ピアノを弾く女性]》制作年不詳
紙・インク、水彩、パステル 34.3 × 27.3cm 中川素直氏寄贈



86. 若松光一郎 (1914-1995)

《[船着き場]》制作年不詳
紙・コンテ、水彩 36.9 × 55.6cm 中川素直氏寄贈



87. 若松光一郎 (1914-1995)

《[無題]》1930年代

カンヴァス・油彩 52.9 × 72.8cm 中川素直氏寄贈



88. 若松光一郎 (1914-1995)

《[裸婦座像]》制作年不詳

和紙・コンテ、水彩 40.3 × 31.7cm 中川素直氏寄贈



89. 若松光一郎 (1914-1995)

《[竹谷富士雄]》1943(昭和18)年12月19日

紙・コンテ 23.0 × 24.0cm 中川素直氏寄贈



90. 若松光一郎 (1914-1995)

《[炭坑風景(遠景)]》1946(昭和21)年1月3日

紙・コンテ 23.0 × 30.8cm 中川素直氏寄贈



91. 若松光一郎 (1914-1995)

《[民家のある風景]》1946(昭和21)年1月9日

紙・コンテ 30.9 × 41.2cm 中川素直氏寄贈



92. 若松光一郎 (1914-1995)

《[柴田佐千雄]》1946(昭和21)年3月3日

紙・コンテ 33.5 × 25.5cm 中川素直氏寄贈



93. 若松光一郎 (1914-1995)

《[柴田善登(横顔)]》1946(昭和21)年3月3日

紙・コンテ、パステル 33.4 × 25.3cm 中川素直氏寄贈



94. 若松光一郎 (1914-1995)

《[鎌田正蔵]》1946(昭和21)年4月10日

紙・コンテ 35.7 × 24.0cm 中川素直氏寄贈



95. 若松光一郎 (1914-1995)

《[自画像]》1946(昭和21)年6月30日

紙・コンテ 35.6 × 24.0cm 中川素直氏寄贈



96. 若松光一郎 (1914-1995)

《[ガラス工たち(下図)]》1954(昭和29)年頃

紙・鉛筆、コンテ、パステル 48.4 × 63.5cm 中川素直氏寄贈



97. 若松光一郎 (1914-1995)

《[裸婦座像1]》1955(昭和30)年3月3日

紙・インク 41.2 × 32.2cm 中川素直氏寄贈



98. 若松光一郎 (1914-1995)

《[かがむ裸婦]》1955(昭和30)年7月20日

紙・コンテ 63.1 × 47.9cm 中川素直氏寄贈



99. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[風景]》1956(昭和31)年1月8日
 紙・コンテ 31.7 × 40.9cm 中川素直氏寄贈



100. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[炭坑風景]》1956(昭和31)年
 紙・コンテ、パステル 34.3 × 46.4cm 中川素直氏寄贈



101. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[炭坑風景(長屋)]》1956(昭和31)年
 紙・コンテ、パステル 31.8 × 48.0cm 中川素直氏寄贈



102. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[白い土蔵と港(函館)]》1958(昭和33)年6月
 紙・コンテ、パステル 38.5 × 48.0cm 中川素直氏寄贈



103. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[出漁前(下図)]》1960(昭和35)年頃
 紙・コンテ 48.0 × 63.7cm 中川素直氏寄贈



104. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[石切工(下図)]》1950年代
 紙・コンテ 48.6 × 63.0cm 中川素直氏寄贈



105. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[工場風景]》1950年代
 紙・鉛筆、コンテ、パステル 48.3 × 63.9cm 中川素直氏寄贈



106. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[柴田善登]》制作年不詳
 紙・コンテ 35.7 × 24.0cm 中川素直氏寄贈



107. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[鈴木新夫1]》制作年不詳
 紙・コンテ、パステル 34.1 × 31.4cm 中川素直氏寄贈



108. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[鈴木新夫2]》制作年不詳
 紙・コンテ 44.4 × 31.7cm 中川素直氏寄贈



109. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[炭坑風景(ズリ山)]》制作年不詳
 紙・鉛筆 32.0 × 39.9cm 中川素直氏寄贈



110. 若松光一郎 (1914-1995)
 《[鳥居敬文さんの像]》制作年不詳
 紙・コンテ 30.1 × 21.4cm 中川素直氏寄贈



111. 若松光一郎 (1914-1995)

《[鳥居敏文]》制作年不詳

紙・コンテ、パステル 44.4 × 31.3cm 中川素直氏寄贈



112. 若松光一郎 (1914-1995)

《[風景 (漁港)]》制作年不詳

紙・インク 24.0 × 33.3cm 中川素直氏寄贈



113. 若松光一郎 (1914-1995)

《[裸婦座像 2]》制作年不詳

紙・コンテ 48.1 × 31.7cm 中川素直氏寄贈



114. 若松光一郎 (1914-1995)

《[少女座像]》制作年不詳

紙・木版 27.0 × 24.2cm 中川素直氏寄贈



115. 若松光一郎 (1914-1995)

《[風景]》制作年不詳

紙・木版 28.8 × 47.6cm 中川素直氏寄贈



116. 若松光一郎 (1914-1995)

《[裸婦座像]》制作年不詳

紙・木版 50.7 × 35.4cm 中川素直氏寄贈



117. 福島県関係美術資料 (安齋勇雄コレクション)

・書簡 426 件

・書籍 40 件

・美術資料 19 件

・展覧会、作家資料 33 件

計 518 件

安齋勇雄氏寄贈

118. 門間春雄関係資料

・書簡類 129 件

・書 28 件

・美術資料 2 件

・その他資料 153 件

計 312 件

門間三尚氏寄贈

4 図書資料の収集

収蔵図書数 59,486 冊（平成 31 年 2 月 24 日現在）

5 保存管理

美術品の状態を維持回復し、美術品の保管・展示の環境を良好に保つために、計画的に美術品の修復や館内の保存環境調査を実施している。

(1) 保存環境調査の実施

時期：平成 30 年 6 月 4 日～18 日、8 月 10 日～25 日（調査期間）

〔報告書は 7/10、9/20 提出〕

内容：展示室、収蔵庫、搬入口およびその他の館内外の虫菌害調査、酸アルカリ濃度測定等

(2) 美術作品の修復

平成 30 年度は酒井三良《雪に埋もれつつ正月はゆく》の修復を実施した（下図写真）。そのほか関根正二、上野山清貞、安井曾太郎、村山槐多の作品（計 34 点）の状態点検調査を実施。またジョルジュ・ルオー《ミセレーレ》の額を交換した。



修復前

（右下部分）



修復後

（同）



(3) 放射線測定

美術館施設内および敷地内の放射線測定を実施、測定結果を当館ホームページで公開した。

時期：毎月 1 回、計 12 回測定

場所：美術館内および敷地内、計 45 か所

測定機種：ALOKA TCS-172（ γ 線）、ALOKA TGS-146（ β 線）

第 3 節 展示事業

1 常設展

収蔵および寄託の美術作品を展示している。美術の多様な領域や数多くの作家を紹介するとともに、作品の状態の保全に配慮して通常、年 4 回（版画は年 8 回）展示替えを行っている。

(1) 常設展示

① 「第 I 期常設展」

会期：平成 30 年 3 月 24 日(土)～6 月 24 日(日)

内容：・春の日本画：伊東深水《春光》、小茂田青樹《薫房》

・関根正二と近代の洋画：関根正二《姉弟》など

・日本人画家が魅せられたヨーロッパ：

渡辺良雄《城壁のある町》、桑原実《アテネ》など

・印象派と海外の名品：ピサロ《エラニーの菜園》など

・齋藤隆《貌》

◆出品リスト：

〔作家名／作品名／制作年／材質・技法／備考（*は寄託作品）〕

展示室 A

【春の日本画】

伊東深水／春光／1922(大正 11) 頃／絹本着色(絹・岩絵具など)、軸装

長野草風／麦踏／制作年不詳／絹本着色(絹・岩絵具など)、軸装

尾竹竹坡／蔬菜園／大正末・昭和初期／絹本墨画、軸装

須田珙中／梅吹く夜／制作年不詳／絹本着色(絹・岩絵具など)、軸装

湯田玉水／春日遅々／1922(大正 11)／絹本墨画淡彩(絹・墨、水干絵具など)、軸装

酒井三良／江南春色／1940(昭和 15)／紙本墨画淡彩(和紙・墨、水干絵具など)、軸装

小茂田青樹／薫房／1927(昭和 2)／紙本着色(和紙・岩絵具など)、屏風二曲一双

小川芋銭／鍾馗図／1915(大正 4)／絹本墨画淡彩(絹・墨、水干絵具)

*

酒井三良／帰樵／1930(昭和 5)／紙本着色(紙・岩絵具、墨など) *

酒井三良／雨はれ／1930(昭和 5)／紙本着色(紙・岩絵具、墨など)

*

酒井三良／そばの秋／1930(昭和 5)／紙本着色(紙・岩絵具、墨など)

*

酒井三良／雪暮／1930(昭和 5)／紙本着色(紙・岩絵具、墨など) *

常盤大空／風薫る／1965(昭和 40)／麻布着色(麻布・岩絵具など)

康端倪／春囃抄／1967(昭和 42)／麻布着色

【関根正二と近代の洋画】

安井曾太郎／テーブルの上／1912(大正元)／カンヴァス・油彩

関根正二／姉弟／1918(大正 7)／カンヴァス・油彩

関根正二／神の祈り／1918(大正 7) 頃／カンヴァス・油彩

小出権重／けしの花／1926(大正 15)／紙・グアッシュ

川口軌外／柘榴／1932(昭和 7)／カンヴァス・油彩

【日本人画家が魅せられたヨーロッパ】

長谷川潔／サン＝ポール＝ド＝ヴァンスの風景／1936(昭和 11)／紙・銅版

齋藤清／パリ(2)／1961(昭和 36)／紙・木版★

齋藤清／パリ(4)／1961(昭和 36)／紙・木版★

斎藤 清/パリ (3) / 1961(昭和36) / 紙・木版☆
 斎藤 清/パリ (5) / 1961(昭和36) / 紙・木版☆
 久野修男/南仏風景 (2) / 1980(昭和55) / カンヴァス・油彩
 斑目秀雄/サラシシュのモンブラン / 1970(昭和45) / カンヴァス・油彩
 西田藤次郎/グラン・プラス広場 / 1972(昭和47) / カンヴァス・油彩
 鳩川誠一/フォロ・ロマノ / 1969(昭和44) / カンヴァス・水彩
 鳩川誠一/サン・マルコのカフェ / 1967(昭和42) / カンヴァス・油彩
 渡辺良雄/城壁のある町 / 1992(平成4) / カンヴァス・油彩
 土橋 醇/スペインの幻想 / 1973(昭和48) / 板・油彩・コラージュ
 五十嵐二郎/アクロポリス / 1972(昭和47) / カンヴァス・水彩
 桑原 実/アテネ / 1971(昭和46) / カンヴァス・油彩

展示室 B

【池袋モンパルナス】

麻生三郎/裸婦 / 1956(昭和31) / 紙・水彩/河野保雄コレクション
 麻生三郎/裸婦 / 1956(昭和31) / 紙・水彩/河野保雄コレクション
 麻生三郎/街と人 / 1959(昭和34) / カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 麻生三郎/家族 / 1959(昭和34) / カンヴァス・油彩
 井上長三郎/農家 (ミンスク) / 1956(昭和31) / カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 井上長三郎/ストックホルム/制作年不詳/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 井上長三郎/伊太利風景/制作年不詳/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 井上長三郎/花/制作年不詳/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 井上長三郎/ドン・キホーテ/制作年不詳/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 鈴木新夫/働く人 (A) / 1969(昭和44) / カンヴァス・油彩
 中谷 泰/炭坑町 / 1963(昭和38) / カンヴァス・油彩
 寺田政明/谷中風景 / 1929(昭和4) / ボール紙・油彩
 寺田政明/船溜まり (焼津) / 1980(昭和55) / カンヴァス・油彩
 寺田政明/対話 / 1963(昭和38) / カンヴァス・油彩
 糸園和三郎/夜 / 1973(昭和48) / カンヴァス・油彩
 鶴岡政男/マスク (仮面) / 1954(昭和29) / カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 鶴岡政男/人/制作年不詳/カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 吉井 忠/シャルトルの風景 / 1937(昭和12) / カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 吉井 忠/空の祭壇 / 1937(昭和12) / カンヴァス・油彩
 吉井 忠/赤い風景 / 1939(昭和14) / カンヴァス・油彩
 吉井 忠/森林帯 / 1938(昭和13) / カンヴァス・油彩/河野保雄コレクション
 吉井 忠/くるみを割る自画像 / 1941(昭和16) / カンヴァス・油彩
 吉井 忠/麦の穂を持つ女 / 1941(昭和16) / カンヴァス・油彩
 吉井 忠/街 / 1949(昭和24) / カンヴァス・油彩
 吉井 忠/とかげとふくろう / 1958(昭和33) / カンヴァス・油彩
 吉井 忠/老農夫 / 1964(昭和39) / カンヴァス・油彩
 須田国太郎/ダロカ古城 (城外) / 1922(大正11) / カンヴァス・油彩
 *
 三岸好太郎/婦人像 / 1931(昭和6) 頃/紙・グアッシュ*
 長谷川利行/川のある風景 / 1929(昭和4) / 紙・水彩*
 長谷川利行/風景/制作年不詳/板・油彩*

長谷川利行/力士の顔/制作年不詳/ガラス・油彩/河野保雄コレクション
 長谷川利行/力士の顔/制作年不詳/ガラス・油彩/河野保雄コレクション
 長谷川利行/力士の顔/制作年不詳/ガラス・油彩/河野保雄コレクション

展示室 C

【印象派と海外の名品】

ピエール＝オーギュスト・ルノワール/帽子を被る女/制作年不詳/カンヴァス・油彩
 ポール・ゴーギャン/プルターニュの子供 / 1889 / 紙・水彩、パステル
 ジョルジュ・ルオー/版画集〈流れる星のサーカス〉(34点組) / 1934-35 (1938 出版) / 紙・アクアチント
 『17 眠れ、よい子よ』『16 オーギュスト』『6 小さな女曲馬師』
 カミーユ・コロー/ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロ一家へ向かう池
 沿いの道 / 1873 / カンヴァス・油彩
 カミーユ・ピサロ/エラニーの菜園 / 1899 / カンヴァス・油彩
 アンドリュウ・ワイエス/松ぼっくり男爵 / 1976 / ボード・テンペラ
 アンドリュウ・ワイエス/農場にて / 1988 / 紙・水彩
 パブロ・ピカソ/版画集『二人の裸婦』18点組より各8点 / 1945-46 / 紙・リトグラフ
 (1)1945年11月10日 / (3)1945年11月21日 / (7)1945年12月30日 / (9)1946年1月10日 / (11)1946年1月21日 / (13)1946年1月25日 / (16)1946年2月6日 / (18)1946年2月12日以上★
 (2)1945年11月10日 / (4)1945年11月21日 / (5)1945年12月30日 / (6)1946年1月10日 / (8)1946年1月21日 / (10)1946年1月25日 / (12)1946年2月6日 / (14)1946年2月12日以上☆
 マルク・シャガール/版画集『少年時代の思い出』10点組より5点 / 1958 / 紙・銅版
 ヘンリー・ムーア/母と子：腕 / 1980 / ブロンズ

展示室 D

【齋藤隆《貌》】

齋藤 隆/貌 I / 2003(平成15) / 紙本墨画
 齋藤 隆/貌 II / 2003(平成15) / 紙本墨画
 齋藤 隆/貌 III / 2003(平成15) / 紙本墨画
 齋藤 隆/貌 IV / 2003(平成15) / 紙本墨画
 齋藤 隆/貌 V / 2003(平成15) / 紙本墨画
 齋藤 隆/貌 VI / 2005(平成17) / 紙本墨画
 齋藤 隆/貌 VII / 2005(平成17) / 紙本墨画

屋外・ホール彫刻

林 範親/路地裏 / 1994(平成6) / ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具
 佐藤忠良/若い女・シャツ / 1982(昭和57) / ブロンズ
 エミリオ・グレコ/スケートをする女 / 1951 / ブロンズ
 マリノ・マリーニ/騎手 / 1956-1957 / ブロンズ
 井上武吉 / My Sky Hole 89-2 / 1989(平成元) / ステンレス・鏡面磨き
 フェルナン・レジェ/歩く花 / 1952-53 原型作成 / ブロンズ・エナメル塗装 / *

★ = 展示期間 3月24日～5月9日

☆ = 展示期間 5月10日～6月24日

② 「第Ⅱ期常設展」

会期：平成30年6月30日(土)～10月14日(日)

内容：・酒井三良と日本画の名品：酒井三良《村芝居》など

・型染の魅力：柚木沙弥郎《人びと》、伊砂利彦《瀬》

・現代の絵画—具象と抽象：

田淵安一《花林朱径》、橋本章《大砲と足》など

・追悼 保田春彦《季節の残像》

・アメリカの美術：マーシュ《回転ブランコ》など

・斎藤清／前川千帆の版画

◆出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考 (*は寄託作品)]

展示室 A

【酒井三良と日本画の名品】

平福百穂／赤茄子と芋／1911(明治44)／絹本着色(絹・水干絵具など)

酒井三良／村芝居／1921-24(大正10-13)／絹本着色(絹・岩絵具など)

酒井三良／田園秋色図／1921-23(大正10-12)頃／絹本着色(絹・岩絵具など)

小茂田青樹／農婦／1914(大正3)頃／絹本着色(絹・岩絵具など)

山口華楊／畑／1925(大正14)／絹本着色(絹・岩絵具など)

平福百穂／ふき／制作年不詳／紙本墨画淡彩(和紙・墨、水干絵具など)

池田遙郎／大漁／1932(昭和7)／絹本着色(絹・岩絵具など)

酒井三良／水郷の一日／1939(昭和14)／紙本墨画淡彩(和紙・墨、水干絵具など)

中島清之／胡瓜／1923(大正12)／絹本着色(絹・岩絵具など)

速水御舟／女二題 其一／1931(昭和6)／絹本着色(絹・墨、岩絵具など)

速水御舟／女二題 其二／1931(昭和6)／絹本着色(絹・墨、岩絵具など)

安田鞆彦／茶室／1962(昭和37)／紙本着色(和紙・岩絵具など)

【型染の魅力】

柚木沙弥郎／窓／1981(昭和56)／絹・型絵染め

柚木沙弥郎／人びと／1984(昭和59)／絹・型絵染め

柚木沙弥郎／人型／1993(平成5)／木綿・型絵染め

伊砂利彦／松一集約一／1968(昭和43)／和紙・型絵染め

伊砂利彦／瀬／1978(昭和53)／和紙・型絵染め

伊砂利彦／海に逝きし人々にささげる鎮魂歌／1992(平成4)／和紙・型絵染め

伊砂利彦／シェーンベルク作曲 浄夜より／1996(平成8)／和紙・型絵染め

伊砂利彦／ドビュッシー作曲「前奏曲Ⅰ」のイメージより／1981-84(昭和56-59)／和紙・型絵染め

デルフィの舞姫たち / ヴェール(帆) / 雪の上の歩み / パックの踊り以上★

野をわたる風 / 雪の上の歩み / とだえたセレナード / ミンストレル以上☆

伊砂利彦／ドビュッシー作曲「前奏曲Ⅱ」のイメージより／1981-84(昭和56-59)／和紙・型絵染め

霧 / 変り者のラヴェヌ将軍 / 水の精 / カノーブ 以上★

枯葉 / 月の光がふりそそぐテラス / ビックウィック卿をたたえて / 交代する三度 以上☆

展示室 B

【現代の絵画—具象と抽象】

田淵安一／花林朱径／1985(昭和60)／カンヴァス・油彩(2点組)

針生鎮郎／王と妃・面—M／1988(昭和63)／カンヴァス・油彩

橋本章／大砲と足／1984(昭和59)／カンヴァス・油彩

深沢軍司／チカ子の空気・A／1984(昭和59)／麻布・油彩、アクリル

深沢軍司／ひとり／がなげなくふりかえる1／1985(昭和60)／麻布・油彩

村上善男／疍町に釘打ち(参)／1983(昭和58)／カンヴァス、紙・アクリル

村上善男／疍町に釘打ち(四)／1983(昭和58)／カンヴァス、紙・アクリル

村上善男／津軽・赤倉山系大石神社越後屋千代吉帰還之圖・冬圖／1997(平成9)／布・和紙、紐、アクリル

村上善男／鹽景之内赤倉山赤一文字圖／1999(平成11)／布・和紙、紐、アクリル

高橋幸彦／一如／2004(平成16)／板、紙、有色石膏地・油彩

高橋克之／部屋1／1991(平成3)／パネル・油性ペンキ、水性ペンキ、アクリル、木炭

高橋克之／集会／1996(平成8)／パネル・油性ペンキ、水性ペンキ、アクリル、木炭

玉川信一／樹のある風景／1985(昭和60)／カンヴァス・油彩

玉川信一／月の花／2002(平成14)／カンヴァス・油彩

佐藤幸代／東方から／2007(平成19)／板・パネル、和紙・顔料など

【追悼 保田春彦】

保田春彦／季節の残像1／2005(平成17)／木、竹・アクリル絵具

保田春彦／季節の残像2／2005(平成17)／木・アクリル絵具

保田春彦／季節の残像3／2005(平成17)／木・アクリル絵具

保田春彦／季節の残像4／2006(平成18)／木・アクリル絵具

保田春彦／季節の残像5／2006(平成18)／木・アクリル絵具

保田春彦／季節の残像6／2006(平成18)／木・アクリル絵具

保田春彦／季節の残像7／2006(平成18)／木・アクリル絵具

保田春彦／季節の残像8／2006(平成18)／木・アクリル絵具

保田春彦／季節の残像9／2006(平成18)／木、竹・アクリル絵具

【近代の洋画】

関根正二／神の祈り／1918(大正7)頃／カンヴァス・油彩

関根正二／チューリップ／1918(大正7)／紙・インク

関根正二／裏の娘／1917(大正6)／紙・水彩、パステル

恩地孝四郎／静物(レモン)／1920(大正9)／カンヴァス・油彩

安井曾太郎／テーブルの上／1912(大正元)／カンヴァス・油彩

展示室 C

【アメリカの美術】

ジョン・スローン／ジェファーソンマーケット、ナイト／1911／カンヴァス・油彩

ジョン・スローン／サンタフェからの二人の女／1921／カンヴァス・油彩

レジナルド・マーシュ／回転ブランコ／1931／板・テンペラ

トーマス・ハート・ベントン／日曜日の朝／1939／紙・リトグラフ

トーマス・ハート・ベントン／サワーウッド・マウンテンで彼女ができたよ／1938／紙・リトグラフ

ベン・シャーン／農民にたずねよ／1941／ボード・グアッシュ

ベン・シャーン／これがナチの残虐だ／1942／紙・オフセット

ベン・シャーン／選挙人登録…投票用紙はあなたの手中の「力」だ／1944／紙・オフセット★

ベン・シャーン／我々は平和を望んでいる／1946／紙・リトグラフ☆

ベン・シャーン／警告！インフレーションは不況を意味する／1946／紙・オフセット☆

ベン・シャーン／ラッキードラゴン／1960／綿布・テンペラ

ベン・シャーン／版画集 リルケ「マルテの手記」より：一行の詩のためには…／1968／紙・リトグラフ

産婦の叫び / 死んでゆく人の枕もと / 一篇の詩の最初の言葉★

愛に満ちた多くの夜の回想 / 白衣の中に眠りおちて快復をまつ産後の

女/死者の傍で☆

アンドリュー・ワイエス/ガニング・ロックス/1966/紙・水彩
 アンドリュー・ワイエス/ドイツ人の住むところ/1973/紙・水彩
 アンドリュー・ワイエス/松ぼっくり男爵/1976/ボード・テンペラ
 アンドリュー・ワイエス/そよ風/1978/紙・水彩
 【ヤノベケンジ《ラッキードラゴン》《サンチャイルド》】
 ヤノベケンジ/ラッキードラゴン構想模型/2008(平成20)/アルミニウム、鉄、真鍮、FRP ほか*
 ヤノベケンジ/サンチャイルド 1/10 模型/2011(平成23)/プラスチック、FRP ほか/一般財団法人ふくしま自然エネルギー基金蔵

【フランス美術の名品】

カミュー・コロ/ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロ家へ向かう池
 沿いの道/1873/カンヴァス・油彩
 カミュー・ピサロ/エラニーの菜園/1899/カンヴァス・油彩
 ピエール=オーギュスト・ルノワール/帽子を被る女/制作年不詳/カンヴァス・油彩

展示室 D

【斎藤清の版画】

斎藤 清/赤い花/1948(昭和23)/紙・木版★
 斎藤 清/孤独/1948(昭和23)/紙・木版★
 斎藤 清/椿/1948(昭和23)/紙・木版★
 斎藤 清/白い夢/1949(昭和24)/紙・木版★
 斎藤 清/憩い/1950(昭和25)/紙・木版★
 斎藤 清/瞳(白椿)/1950(昭和25)/紙・木版★
 斎藤 清/凝視(花)/1950(昭和25)/紙・木版★
 斎藤 清/秋/1952(昭和27)/紙・木版★
 斎藤 清/凝視/1952(昭和27)/紙・木版★
 斎藤 清/ハニワ/1950(昭和25)/紙・木版☆
 斎藤 清/ハニワ/1950(昭和25)/紙・木版☆
 斎藤 清/土器(A)/1952(昭和27)/紙・木版☆
 斎藤 清/ハニワと土器/1952(昭和27)/紙・木版☆
 斎藤 清/ハニワ(C)/1952(昭和27)/紙・木版☆
 斎藤 清/百姓、ハニワ/1954(昭和29)/紙・木版☆
 斎藤 清/土器とハニワ/1954(昭和29)/紙・木版☆
 斎藤 清/ハニワ(婦人)/1954(昭和29)/紙・木版☆

【前川千帆の版画】

前川千帆/野外小品(『版画芸術』合本Aより)/1933(昭和8)/紙・木版★
 鳥/風/テニス/蝶/旗/バラソル/蝸牛/犬/酒/望遠鏡
 前川千帆/第二野外小品(『版画芸術』合本Aより)/1933(昭和8)/紙・木版☆
 鞠/魚/海/憩ひ/長靴/池/凧/縄とび/踊/ブランコ

屋外・ホール彫刻

林 範親/路地裏/1994(平成6)/ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具
 佐藤忠良/若い女・シャツ/1982(昭和57)/ブロンズ
 エミリオ・グレコ/スケートをする女/1951/ブロンズ
 マリノ・マリニー/騎手/1956-1957/ブロンズ
 井上武吉/My Sky Hole 89-2/1989(平成元)/ステンレス・鏡面磨き
 フェルナン・レジェ/歩く花/1952-53 原型作成/ブロンズ・エナメル塗装/*

★= 展示期間 6月30日～8月24日

☆= 展示期間 8月25日～10月14日

③ 「第Ⅲ期常設展」

会期：平成30年10月20日(土)～12月24日(月)祝

内容：・河野保雄コレクション、安齋勇雄コレクション：

- 岸田劉生《白狗図》、小川芋銭《飲中八仙図》など
- ・大山忠作と室井東志生
 - ・福島彫刻—木彫を中心に：橋本堅太郎、西山勇三
 - ・アメリカの美術：ワイエス、野田英夫
 - ・フランス美術の名品：コロ、ルノワール
 - ・追悼 浜田知明の版画

◆出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考 (*は寄託作品)]

展示室 A

【河野保雄コレクション、安齋勇雄コレクション】

(**安齋コレクション *その他の寄託作品 無印は河野コレクション)

岸田劉生/ショーウィンド/1915(大正4)/紙・水彩、軸
 岸田劉生/白狗図/1923(大正12)年2月/絹本着色
 村上華岳/菩薩/1922(大正11)頃/絹本墨画淡彩、軸
 村上華岳/秋谿図/1933(昭和8)頃/絹本墨画淡彩、軸
 湯田玉水/白雲岫出/1927-28(昭和2-3)/絹本墨画、軸**
 小川芋銭/飲中八仙図/1916(大正5)/紙本墨画淡彩、屏風八曲一隻*
 小川芋銭/豊干/制作年不詳/紙本墨画**
 小川芋銭/田代蘇陽宛書簡/制作年不詳/紙・墨書
 森田恒友/裏磐梯冬日/1915(大正4)/絹本着色、軸**
 亜欧堂田善/陸奥国石川郡大隈滝芭蕉翁碑之図/1814(文化11)/紙・銅版**
 チャールズ・ワーグマン/風景(山峡)/制作年不詳/紙・水彩、鉛筆**
 チャールズ・ワーグマン/風景/制作年不詳/紙・水彩、鉛筆**
 白瀧幾之助/風景/制作年不詳/紙・水彩**
 松本竣介/ユトリロの作品による/制作年不詳/紙・鉛筆**
 恩地孝四郎/北京風景/1939(昭和14)/紙・油彩**
 海老原喜之助/[裸婦]/制作年不詳/紙・水彩**
 小山田二郎/鳥女/1979(昭和54)/紙・水彩**
 野地正記/愛神/1966-67(昭和41-42)/紙・水彩、インク**
 ●萩原朔太郎『月に吠える』挿絵**

田中恭吉/画稿より/1915(大正4)年7月/紙・印刷(木版)

田中恭吉/悔恨/1915(大正4)年2月/紙・印刷(木版)

田中恭吉/画稿よりI/1915(大正4)年7月/紙・印刷(コロタイプ)

田中恭吉/画稿よりII/1915(大正4)年7月/紙・印刷(コロタイプ)

田中恭吉/画稿よりIII/1915(大正4)年7月/紙・印刷(コロタイプ)

田中恭吉/空にさくエーテルの花/1915(大正4)上半期/紙・印刷(木版)

田中恭吉/懈怠/1915(大正4)年2月/紙・印刷(木版)

田中恭吉/死人とあとのこれるもの/1914(大正3)年12月/紙・印刷(木版)

田中恭吉/こもるみのむし/1915(大正4)年2-3月/紙・印刷(木版)

田中恭吉/冬の夕/1914(大正3)年12月/紙・印刷(コロタイプ)

※『夜の花』1915(大正4)年1月(表紙カバー)は復刻版参考展示

恩地孝四郎/抒情(よろこびあふれ)(挿画)/1917(大正6)/紙・印刷(木版)

恩地孝四郎/抒情(よろこびすみ)(挿画)/1917(大正6)/紙・印刷(木版)

恩地孝四郎/抒情(ひとりすめば)(挿画)/1917(大正6)/紙・印刷(木版)

青木繁/風景/制作年不詳/紙・水彩**

青木繁/蚕村晩秋/1902(明治35)/紙・鉛筆**

青木繁/催合傘/1904(明治37)/紙・水彩

青木繁/漁夫晩帰 下図/1908(明治41)/板にカンヴァス・油彩

関根正二/男の顔/制作年不詳/紙・インク**

関根正二/死を思う日/1915(大正4)/カンヴァス・油彩*

関根正二/風景/1915(大正4)頃/カンヴァス・油彩*

岸田劉生/男/1914-16(大正3-5)/紙・墨

岸田劉生/縄とびする子供達/1916(大正5)年2月4日/紙・コンテ

岸田劉生/店屋の主人/1927(昭和2)/紙・墨

岸田劉生/畑と赤土の道(浜松風景)/1920(昭和5)年10月20日/板・油彩

岸田劉生/静物/1928(昭和3)/板・油彩

鳥海青児/けし/制作年不詳/カンヴァス・油彩

山口薫/水/1944(昭和19)/カンヴァス・油彩

三岸好太郎/風景/1927(昭和2)/カンヴァス・油彩

藤島武二/夜の黄浦江/1941(昭和16)/板・油彩

坂田一男/オダリスク/1952(昭和27)/カンヴァス・油彩

麻生三郎/街と人/1959(昭和34)/カンヴァス・油彩

展示室B

【大山忠作と室井東志生】

大山忠作/O先生/1946(昭和21)/紙本著色

大山忠作/幼童曼陀羅/1967(昭和42)/紙本著色

大山忠作/京舞/1977(昭和52)/紙本著色

大山忠作/爽涼/1980(昭和55)/紙本著色

室井東志生/緑蔭/1960(昭和35)/紙本著色

室井東志生/朝/1968(昭和43)/紙本著色

室井東志生/僚/1984(昭和59)/紙本著色

室井東志生/悠(柳家小さん像)/1992(平成4)/紙本著色

室井東志生/白煌(楊貴妃に扮する玉三郎像)/1987(昭和61)/紙本著色

室井東志生/洗/2005(平成17)/紙本著色

【福島彫刻一木彫を中心に】

佐藤静司/ひとり/1963(昭和38)/木・着色

佐藤静司/孤影/1978(昭和53)/木

本田晶彦/少女/1968(昭和43)/木・着色

橋本堅太郎/慈光/2006(平成18)/木

佐野文夫/2DK/1971(昭和46)/ブロンズ

佐藤蔵治/海辺/1973(昭和48)/ブロンズ

西山勇三/希う/1964(昭和39)/木・着色

西山勇三/樹の人/2012(平成24)/木・彩色

展示室C

【アメリカの美術】

アンドリュー・ワイエス/冬の水車小屋/1978/紙・水彩

アンドリュー・ワイエス/ドイツ人の住むところ/1973/紙・水彩

アンドリュー・ワイエス/松ぼっくり男爵/1976/ボ・ド・テンペラ

アンドリュー・ワイエス/農場にて/1988/紙・水彩

ベン・シャーン/トム・ムーニーの母親に挨拶するジミー・ウォーカー/1932-1933/紙・グアッシュ

ベン・シャーン/W.P.A.サンデー/1939/紙・グアッシュ

ベン・シャーン/スイミングプール/1945/厚紙・テンペラ

ベン・シャーン/ラッキードラゴン/1960/綿布・テンペラ

野田英夫/牛乳ワゴン/1936(昭和11)/カンヴァス・油彩

清水登之/十四番街の地下鉄駅/1918(大正7)/カンヴァス・油彩

【エルンスト『博物誌』】

マックス・エルンスト/版画集『博物誌』/1926/紙・フロッタージュ、コロタイプ

一瞥/彼ははるかかなたに落ちていこう/戦場、洪水、地震の植物/シーザーのパレット/振り子時計の起源/スフィンクスの馬小屋にて/太陽の通貨制度以上★

地球を囲む小さなテーブル/彼女は秘密を隠している/栗の木のスタート/木の葉の習性/ダイヤモンド婚/光の輪/イヴ、我々に残された唯一の女以上☆

【ヤノベケンジ『ラッキードラゴン』《サンチャイルド》】

ヤノベケンジ/ラッキードラゴン構想模型/2008(平成20)/アルミニウム、鉄、真鍮、FRPほか*

ヤノベケンジ/サンチャイルド1/10模型/2011(平成23)/プラスチック、FRPほか/一般財団法人ふくしま自然エネルギー基金蔵

【フランス美術の名品】

クロード・モネ/ジヴェルニーの草原/1890/カンヴァス・油彩

カミーユ・ピサロ/エラニーの菜園/1899/カンヴァス・油彩

ポール・ゴーギャン/プルターニュの子供/1889/紙・水彩、パステル

展示室D

【斎藤清の版画】

斎藤清/ノートルダム、パリ(B)/1960(昭和35)/紙・木版★

斎藤清/教会、フランス(A)/1960(昭和35)/紙・木版★

斎藤清/祈り(尼僧)パリ/1960(昭和35)/紙・木版★

斎藤清/憩い、パリ/1960(昭和35)/紙・木版★

斎藤清/ワイン、パリ/1960(昭和35)/紙・木版★

斎藤清/凝視、モデル、パリ(A)/1960(昭和35)/紙・木版★

斎藤清/ショッピングガール・パリ/1960(昭和35)/紙・木版★

斎藤清/本屋、セーヌ、パリ/1960(昭和35)/紙・木版★

斎藤清/雨、パリ(B)/1962(昭和37)/紙・木版★

斎藤清/アン(シアトル)/1962(昭和37)/紙・コラグラフ☆

斎藤清/公園(シアトル)/1962(昭和37)/紙・コラグラフ☆

斎藤清/セントラル公園、ニューヨーク/1962(昭和37)/紙・コラグラフ☆

斎藤清/尼僧(メトロポリタン美術館にて)/1962(昭和37)/紙・コラグラフ☆

斎藤清/セーヌ、パリ/1963(昭和38)/紙・コラグラフ☆

斎藤清/ヌード(4)/1963(昭和38)/紙・コラグラフ☆

斎藤清/ヌード(13)/1964(昭和39)/紙・コラグラフ☆

斎藤清/パニアンツリー、ハワイ(A)/1964(昭和39)/紙・コラグラフ☆

斎藤清/キラウエア、ハワイ(C)/1964(昭和39)/紙・コラグラフ☆

【追悼 浜田知明の版画】

浜田知明/初年兵哀歌(歩哨)/1951(昭和26)/紙・エッチング、アークアチント★

浜田知明/風景/1953(昭和28)/紙・エッチング★

浜田知明/初年兵哀歌(歩哨)/1954(昭和29)/紙・エッチング・メゾチント★

浜田知明／副校長D氏像／1956(昭和31)／紙・エッチング★

浜田知明／詩人／1963(昭和38)／紙・エッチング、アクアチント★

【秀島由己男の版画】

秀島由己男／版画集 舊約聖書『詩篇』より／1989／紙、雁皮紙貼・エッチング、アクアチント★

A 我はいと高き神によばはん わがために百事をなしをへたまふ神によばはん

B 然どなんぢは 野犬のすみかにてわれらをきずつけ 死蔭をもてわれらをおほひ給へり

C 我よなよな床をたゞよはせ 涙をもてわが衾をひたせり

D なんぢら何ぞわが靈魂にむかひて 鳥のごとくなんぢの山にのがれよといふや

E なんぢの憐憫をわれに臨ませたまへ さらばわれ生ん

F わが仇はひねもす我をそしる猖狂ひて 我をせむるもの我をさして誓ふ

【銅版画の魅力】

長谷川 潔／アレキサンドル III 世橋とフランスの飛行船／1930(昭和5)／紙・銅版☆

長谷川 潔／コップのダリア／1935(昭和10)／紙・銅版☆

長谷川 潔／玻璃球のある静物／1959(昭和34)／紙・銅版☆

長谷川 潔／メキシコの鳩 静物画／1966(昭和41)／紙・銅版☆

駒井哲郎／束の間の幻影／1950(昭和25)／紙・銅版☆

駒井哲郎／海底の祭／1951(昭和26)／紙・銅版☆

駒井哲郎／調理場／1960(昭和35)／紙・銅版☆

浜口陽三／西瓜／1954(昭和29)／紙・銅版☆

浜口陽三／白菜／1960(昭和35)／紙・銅版☆

浜口陽三／14のさくらんぼ／1963(昭和38)／紙・銅版☆

屋外・ホール彫刻

林 範親／路地裏／1994(平成6)／ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具

佐藤忠良／若い女・シャツ／1982(昭和57)／ブロンズ

エミリオ・グレコ／スケートをする女／1951／ブロンズ

ヘンリー・ムーア／母と子：腕／1980／ブロンズ

マリノ・マリーニ／騎手／1956-1957／ブロンズ

井上武吉／My Sky Hole 89-2／1989(平成元)／ステンレス・鏡面磨き

フェルナン・レジェ／歩く花／1952-53 原型作成／ブロンズ・エナメル塗装／*

★ = 展示期間 10月20日～11月16日

☆ = 展示期間 11月17日～12月24日



第III期展示風景

④ 「第IV期常設展」

会期：平成31年1月8日(火)～3月10日(日)

内容：・現代の日本画：朝倉 摂、横山 操など

・関根正二と近代の洋画：関根正二、田口安男

・アメリカの美術：スローン、ベン・シャーン

・フランス美術の名品：ドーミエ、ロダン

・斎藤 清《会津の冬》

・木口木版の魅力：日和崎尊夫、柄澤 齊

◆出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考 (*は寄託作品)]

展示室A

【現代の日本画】

福田豊四郎／ふるさとへ帰る／1964(昭和39)／紙本著色(紙・岩絵具など)

仲山計介／エオンタ No.6201／1987(昭和62)／紙本著色(和紙・岩絵具など)

仲山計介／エオンタ No.6202／1987(昭和62)／紙本著色(和紙・岩絵具など)

仲山計介／エオンタ No.6203／1987(昭和62)／紙本著色(和紙・岩絵具など)

佐藤多持／水芭蕉曼陀羅(白20)／1972(昭和47)／紙・墨、岩絵具など

佐藤多持／スケッチ帳1／1950年代／紙・鉛筆など

佐藤多持／スケッチ帳2／1970年代／紙・鉛筆など

佐藤多持／スケッチ帳3／1970年代／紙・鉛筆など

朝倉 摂／おんな／1955(昭和30)頃／カンヴァス・岩絵具

朝倉 摂／三人／1956(昭和31)／カンヴァス・岩絵具

朝倉 摂／1960-6月(内部への挑戦)／1960(昭和35)／紙・岩絵具

朝倉 摂／スケッチブック(ズリ山、米国基地、魚市場)／1950年代／紙・鉛筆

朝倉 摂／スケッチブック(東北)／1950年代／紙・鉛筆

朝倉 摂／[寮1]／1952(昭和27)頃／紙・鉛筆

朝倉 摂／[寮2]／1952(昭和27)頃／紙・鉛筆

朝倉 摂／[ズリ山]／1955(昭和30)／紙・鉛筆

朝倉 摂／[炭鉱夫(カンテラ)]／1955(昭和30)頃／紙・鉛筆

朝倉 摂／[トロッコ風景]／1955(昭和30)頃／紙・鉛筆

朝倉 摂／[炭鉱夫(座像)]／1955(昭和30)頃／紙・鉛筆

朝倉 摂／[女性像]／1950年代／紙・鉛筆

朝倉 摂／[朝倉響子像]／1943(昭和18)／紙・水彩

朝倉 摂／[女性像(かご)]／1950年代／紙・鉛筆

朝倉 摂／[おんな1]／1955(昭和30)頃／紙・鉛筆

朝倉 摂／[おんな2]／1955(昭和30)頃／紙・コンテ

朝倉 摂／[おんな3]／1955(昭和30)頃／紙・鉛筆

朝倉 摂／[おんな4]／1955(昭和30)頃／紙・インク

朝倉 摂／[おんな6]／1955(昭和30)頃／紙・コンテ

朝倉 摂／[女性像(手)]／1950年代／紙・鉛筆

朝倉 摂／[女性像(上向き)]／1950年代／紙・墨、水彩

朝倉 摂／[女性像(下向き)]／1950年代／紙・鉛筆

朝倉 摂／[屏風下絵2]／1964頃／紙・鉛筆

朝倉 摂／[屏風下絵3]／1964頃／紙・鉛筆

星野真吾／麻紙による心象(集)／1960(昭和35)／紙・岩絵具など

星野真吾／暗色の記憶／1979(昭和54)／紙・岩絵具など

星野真吾／生きもの(D)／1971(昭和46)年 紙・インク

星野眞吾/生きもの(C) / 1971(昭和46)年紙・インク
 上野泰郎/スケッチ / 1984-2005(昭和59-平成17) / 紙・油性ペン
 上野泰郎/つきぬいのち / 1991(平成3) / 紙本著色(和紙・岩絵具など)
 上野泰郎/きのう・きょう・あす / 1988(昭和63) / 紙本著色(和紙・岩絵具など)
 横山操/山/制作年不詳 / 紙・コンテ、パステル
 横山操/風景-アメリカ / 1961(昭和36) / 紙・コンテ
 横山操/黒い工場(下図) / 1956(昭和31) / 紙・コンテ、墨
 横山操/建設(下図) / 1960(昭和35) / 紙・コンテ、パステル
 横山操/黒い工場 / 1961(昭和36) / 紙本著色(和紙・岩絵具、金銀箔など)
 横山操/建設 / 1960(昭和35) / 紙本著色(和紙・岩絵具、金銀箔など)

展示室B

【関根正二と近代の洋画】

万鉄五郎/庫 / 1918(大正7) / カンヴァス・油彩
 岸田劉生/自画像 / 1914(大正3) / カンヴァス・油彩
 岸田劉生/静物(白き花瓶と皿と林檎四個) / 1918(大正7) / カンヴァス・油彩
 恩地孝四郎/自画像D(白和服) / 1915-19(大正4-8)頃 / カンヴァス・油彩
 恩地孝四郎/静物(レモン) / 1920(大正9) / カンヴァス・油彩
 関根正二/菊川橋辺り / 1915(大正4) / 板・油彩*
 関根正二/砂村石渡牧場 / 1915(大正4)頃 / 板・油彩*
 関根正二/井上郁像 / 1917(大正6) / カンヴァス・油彩*
 関根正二/真田吉之助夫婦像 / 1918(大正7) / カンヴァス・油彩
 木村莊八/樹の下に遊んでいる子供 / 1915(大正4) / カンヴァス・油彩
 川口軌外/柘榴 / 1932(昭和7) / カンヴァス・油彩
 元永定正/作品(1) / 1958(昭和33) / 板・油彩
 山口長男/坦 / 1962(昭和37) / 板・油彩
 杉全直/眼No.6 / 1960(昭和35) / カンヴァス・油彩
 脇田和/窓 / 1966(昭和41) / カンヴァス・油彩
 鎌田正蔵/庭園 / 1938(昭和13) / カンヴァス・油彩
 鎌田正蔵/作品 / 1952(昭和27) / カンヴァス・油彩
 鎌田正蔵/作品シロ / 1961(昭和36) / カンヴァス・油彩、パテ
 土橋醇/花 / 1970(昭和45) / カンヴァス・油彩
 土橋醇/流 / 1969(昭和44) / カンヴァス・油彩
 土橋醇/誕生 / 1970(昭和45) / カンヴァス・油彩
 若松光一郎/COMPOSITION 30.8.82 / 1982(昭和57) / カンヴァス・和紙・カゼインカラー・墨・他
 田口安男/波から焔へ-A- / 1982(昭和57) / カンヴァス・油彩、テンペラ
 田口安男/波から焔へ-B- / 1982(昭和57) / カンヴァス・油彩、テンペラ

展示室C

【アメリカの美術】

ジョン・スローン/ジェファーソンマーケット、ナイト / 1911 / カンヴァス・油彩
 ジョン・スローン/五番街の批評家たち / 1940 / カンヴァス・油彩
 ジョン・スローン/サンタフェからの二人の女 / 1921 / カンヴァス・油彩
 ベン・シャーン/版画集『ドレフュス事件』(全8点) / 1930 原画制

作(1984刊行) / 紙・ポショワール

(1) 鑑定人たち / (4) ドレフュス大尉 / (8) ラボリ弁護士 / (3) パレオローグとドウマンジュ 以上★
 (2) ラボリとピカール / (5) エステラジー / (6) ジョルジュ・ピカール / (7) デュ・パティ・ドウ・クラム 以上☆
 ベン・シャーン/これらあらゆる権利のために我々は闘いを開始したのだ / 1946 / 紙・リトグラフ
 ベン・シャーン/我々フランス労働者は警告する / 1942 / 紙・オフセット

【フランス美術の名品】

オノレ・ドーミエ/そんじょそこらで、てんやわんや9 / 1841 / 紙・リトグラフ★
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 12 バスティード / 1849 / 紙・リトグラフ★
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 25 フェルディナン・フロコン / 1849 / 紙・リトグラフ★
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 立法議会 3 ルブルトン / 1849 / 紙・リトグラフ★
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 立法議会 11 プーバン / 1849 / 紙・リトグラフ★
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 立法議会 19 ルシアン・ミュラ / 1849 / 紙・リトグラフ★
 オノレ・ドーミエ/平和会議みやげ話 3 / 1849 / 紙・リトグラフ★
 オノレ・ドーミエ/日々の出来事(アクチュアリテ) / 1858 / 紙・リトグラフ★
 オノレ・ドーミエ/日々の出来事(アクチュアリテ) / 1851 / 紙・リトグラフ★
 オノレ・ドーミエ/議会百面相 28 / 1850 / 紙・リトグラフ★
 オノレ・ドーミエ/解釈の問題 5 / 1843 / 紙・リトグラフ★
 オノレ・ドーミエ/議員たちのいる風景 3 / 1843 / 紙・リトグラフ☆
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 23 セナル / 1849 / 紙・リトグラフ☆
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 38 デューク / 1849 / 紙・リトグラフ☆
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 41 ダンジョワ / 1849 / 紙・リトグラフ☆
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 立法議会 6 グランダン / 1849 / 紙・リトグラフ☆
 オノレ・ドーミエ/当代議士鑑 立法議会 24 コルヌ / 1849 / 紙・リトグラフ☆
 オノレ・ドーミエ/平和会議みやげ話 1 / 1849 / 紙・リトグラフ☆
 オノレ・ドーミエ/日々の出来事(アクチュアリテ) / 1851 / 紙・リトグラフ☆
 オノレ・ドーミエ/日々の出来事(アクチュアリテ) / 1859 / 紙・リトグラフ☆
 オノレ・ドーミエ/議会百面相 12 / 1849 / 紙・リトグラフ☆
 オノレ・ドーミエ/解釈の問題 / 1843 / 紙・リトグラフ☆
 オーギュスト・ロダン/柱上のフナイユ夫人の胸像 / 1898-1900(1996 鑄造) / ブロンズ / 石原コレクション
 オーギュスト・ロダン/影の頭部 / 制作年不詳(1995 鑄造) / ブロンズ / 石原コレクション
 オーギュスト・ロダン/髪をすく女 / 1900 以前(2002 鑄造) / ブロンズ / 石原コレクション
 ジャコモ・マンズー/車に乗った子供 / 1982 / ブロンズ

展示室D

【斎藤清の版画】

- 斎藤 清/会津の冬(1)/1970(昭和45)/紙・木版★
 斎藤 清/会津の冬(2)/1970(昭和45)/紙・木版★
 斎藤 清/会津の冬(3)/1970(昭和45)/紙・木版★
 斎藤 清/会津の冬(4)/1970(昭和45)/紙・木版★
 斎藤 清/会津の冬(5)/1970(昭和45)/紙・木版★
 斎藤 清/会津の冬(6)/1970(昭和45)/紙・木版★
 斎藤 清/会津の冬(7)/1970(昭和45)/紙・木版★
 斎藤 清/会津の冬(8)/1970(昭和45)/紙・木版★
 斎藤 清/会津の冬(9)/1970(昭和45)/紙・木版★
 斎藤 清/会津の冬(10)/1970(昭和45)/紙・木版★
 斎藤 清/会津の冬(11)/1970(昭和45)/紙・木版☆
 斎藤 清/会津の冬(12)/1970(昭和45)/紙・木版☆
 斎藤 清/会津の冬(13)/1970(昭和45)/紙・木版☆
 斎藤 清/会津の冬(14)/1969(昭和46)/紙・木版☆
 斎藤 清/会津の冬(15)/1970(昭和45)/紙・木版☆
 斎藤 清/会津の冬(16)/1970(昭和45)/紙・木版☆
 斎藤 清/会津の冬(17)/1958(昭和33)/紙・木版☆
 斎藤 清/会津の冬(18)/1970(昭和45)/紙・木版☆
 斎藤 清/会津の冬(19)/1970(昭和45)/紙・木版☆
 斎藤 清/会津の冬(20)/1970(昭和45)/紙・木版☆

【木口木版の魅力】

- 日和崎尊夫/詩画集『卵』(8点+表紙、奥付)/1970(昭和45)/紙・木口木版★
 柄澤 齊/詩画集『迷宮の潭』(10点)/1980-81(昭和55-56)/紙・木口木版☆

屋外・ホール彫刻

- 林 範親/路地裏/1994(平成6)/ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具
 佐藤忠良/若い女・シャツ/1982(昭和57)/ブロンズ
 エミリオ・グレコ/スケートをする女/1951/ブロンズ
 マリノ・マリーニ/騎手/1956-1957/ブロンズ
 井上武吉/My Sky Hole 89-2/1989(平成元)/ステンレス・鏡面磨き
 フェルナン・レジェ/歩く花/1952-53 原型作成/ブロンズ・エナメル塗装/*



第IV期展示風景

⑤ 「(平成31年度)第I期常設展」

会期：平成31年3月26日(火)～6月23日(日)

内容：・春の日本画：村上華岳《早春風景》など

- ・特集展示：生誕100年 橋本章
- ・印象派と海外の美術：モネ、ピサロほか
- ・追悼 浜田知明と秀島由己男

◆出品リスト：

[作家名/作品名/制作年/材質・技法/備考(*は寄託作品)]

展示室A

【春の日本画】

- 速水御舟/晩冬の桜/1928(昭和3)/絹本着色
 中島清之/胡瓜/1923(大正12)/絹本着色
 橋本関雪/倪雲林/1917(大正6)/絹本着色
 岡村宇太郎/舞妓図/1925(大正14)/絹本着色
 速水御舟/女二題 其一/1931(昭和6)/絹本着色
 速水御舟/女二題 其二/1931(昭和6)/絹本着色
 安田鞞彦/茶室/1962(昭和37)/紙本着色
 酒井三良/沖繩風俗/1955(昭和30)/紙本墨画淡彩
 酒井三良/松籟/1964(昭和39)/紙本墨画淡彩
 村上華岳/早春風景/1919(大正8)頃/絹本着色、軸装
 根上富治/笛/1927(昭和2)/絹本着色、軸装(双幅)
 山口華楊/畑/1925(大正14)/絹本着色、屏風二曲一隻
 小茂田青樹/薫房/1927(昭和2)/紙本着色、屏風二曲一隻
 池田遙邨/大漁/1932(昭和7)/絹本着色、屏風二曲一隻
 福王寺法林/ヒマラヤの花/1983(昭和58)/紙本着色
 福王寺法林/バドガオンの月/1982(昭和57)/紙本着色
 太田正弘/雲烟の中/1974(昭和49)/紙本着色
 渡辺 学/遺された人/1981(昭和56)/紙本着色
 山本丘人/月夜の噴煙/1962(昭和37)/絹本着色

展示室B

【特集展示：生誕100年 橋本章】

- 橋本章/[戦中スケッチ2]/1941(昭和16)2月/紙・鉛筆、水彩/*
 橋本章/[戦中スケッチ10]/1941(昭和16)頃/紙・鉛筆、水彩/*
 橋本章/[満洲蓋平]/1945(昭和20)/紙・コンテ/*
 橋本章/[軍靴]/1950(昭和25)頃/紙・水彩/*
 橋本章/自画像/1969(昭和44)/カンヴァス・油彩/*
 橋本章/自画像/1953(昭和28)年頃カンヴァス・油彩/*
 橋本章/人/1957(昭和32)年カンヴァス・油彩/*
 橋本章/砂による絵画・作品No.10/1959(昭和34)/板・塗料、砂ほか
 橋本章/地平/1961(昭和36)/板・塗料、砂/*
 橋本章/赤い盾/1961(昭和36)/合板・油彩、錆、砂、鉄など
 橋本章/黒い盾/1962(昭和37)/板・塗料、砂、混材/*
 橋本章/なまけもの/1962(昭和37)/板・塗料、混材
 橋本章/レンゴウカンタイ/1969(昭和44)/カンヴァス・油彩
 橋本章/国鉄新幹線/1980(昭和55)/カンヴァス・油彩
 橋本章/共謀者/1965(昭和40)/カンヴァス・油彩
 橋本章/ビルディング/1967(昭和42)/カンヴァス・油彩
 橋本章/黒い毛布/1969(昭和44)/カンヴァス・油彩
 橋本章/ぴーひゃらこ/1975(昭和50)/カンヴァス・油彩

橋本章／休息する脱獄囚／1997(平成9)／ミクストメディア／＊
 橋本章／武装する都市／1979(昭和54)／カンヴァス・油彩
 橋本章／大砲と足／1984(昭和59)／カンヴァス・油彩
 橋本章／立つ脱獄囚／1999(平成11)／カンヴァス・油彩、コラージュ
 橋本章／ドローイング／1941-1945頃／＊
 橋本章／ドローイング／1950-1960頃／＊
 橋本章／ドローイング／1960-1962頃／＊
 橋本章／ドローイング／1970-1980頃／＊
 橋本章／ほか資料

展示室C

【印象派と海外の美術】

カミーユ・コロー／ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロー家へ向かう池
 治いの道／1873／カンヴァス・油彩
 クロード・モネ／ジヴェルニーの草原／1890／カンヴァス・油彩
 カミーユ・ピサロ／エラニーの菜園／1899／カンヴァス・油彩
 ピエール＝オーギュスト・ルノワール／帽子を被る女／制作年不詳／カンヴァス・油彩
 ジョルジュ・ルオー／版画集〈流れる星のサーカス〉(34点組)／
 1934-35(1938出版)／紙・銅版
 『1 扉絵 見世物小屋の呼び込み』1934／『2 黒いピエロ』1935／『4
 こびと』1934／『6 小さな女曲馬師』1935／『13 気むずかし屋』
 1935／『17 眠れ、よい子よ』1935
 ベン・シャーン／W.P.A. サンデー／1939／紙・グアッシュ
 ベン・シャーン／農民にたずねよ／1941／紙(ボード)・グアッシュ
 ベン・シャーン／反動の魔手を打ち砕け／1946／紙・オフセット
 ベン・シャーン／ラッキードラゴン／1960／綿布・テンペラ
 ベン・シャーン／創造のアルファベット／1963／紙・グアッシュ
 アンドリュー・ワイエス／ガニング・ロックス／1966／紙・水彩
 アンドリュー・ワイエス／そよ風／1978／紙・水彩
 アンドリュー・ワイエス／松ぼっくり男爵／1976／ボード・テンペラ
 アンドリュー・ワイエス／農場にて／1988／紙・水彩
 ジャコモ・マンズー／車に乗った子供／1982／ブロンズ

展示室D

【斎藤清の版画】

斎藤清／凝視(猫)／1948(昭和23)／紙・木版
 斎藤清／ベビー／1950(昭和25)／紙・木版
 斎藤清／青沼、裏磐梯、会津／1955(昭和30)／紙・木版
 斎藤清／グリニッチビルッジ(ニューヨーク)／1962(昭和37)／紙・
 コラグラフ
 斎藤清／慈愛(E)／1978(昭和53)／紙・木版
 斎藤清／ランプ／1975(昭和50)／紙・木版
 斎藤清／月雲(2)／1980(昭和55)／紙・木版
 斎藤清／霊峰(16)、牧場(C)／1980(昭和55)／紙・木版
 斎藤清／地の幸／1989(平成元)／紙・木版
 斎藤清／早春(2)／1991(平成3)／紙・木版

【追悼：浜田知明と秀島由己男】

浜田知明／風景／1953(昭和28)／紙・エッチング
 浜田知明／初年兵哀歌(歩哨)／1954(昭和29)／紙・エッチング、メ
 ゾチント
 秀島由己男／版画集『わらべ唄』(6点組)／1974(昭和49)4月／南天
 子画廊刊

『一、風景』1972(昭和47)／紙、雁皮紙貼・エッチング
 『二、静物』1972(昭和47)／紙、雁皮紙貼・メゾチント
 秀島由己男／詩画集『静物考』(6点組)詩：高橋睦郎1985(昭和60)／
 南天子画廊刊／紙・メゾチント
 『1 paper balloon』／『2 melon』／『3 cabbage』
 秀島由己男／詩画集『われらにさきかけてきたりしもの』(6点組)詩：
 高橋睦郎／1997(平成9)6月／南天子画廊刊
 『扉』紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング
 『II』紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング
 『IV』紙、雁皮紙貼・フォトグラヴェール、エッチング

屋外・ホール彫刻

林範親／路地裏／1994／ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具
 佐藤忠良／若い女・シャツ／1982／ブロンズ
 エミリオ・グレコ／スケートをする女／1951／ブロンズ
 マリノ・マリーニ／騎手／1956-1957／ブロンズ
 井上武吉／My Sky Hole 89-2／1989／ステンレス・鏡面磨き
 フェルナン・レジェ／歩く花／1952-53 原型作成／ブロンズ・エナメ
 ル塗装／＊



第1期展示風景

(2) 移動美術館

当館所蔵作品の一部を、県内の文化施設で公開展示する事業で、開催館との協働でテーマ、作品選定から実務までを行う。

今年度は富岡町の文化交流センター学びの森で開催した。

ア 「絵画と彫刻の精華」



A3リーフレット

主催：楡葉町、楡葉町教育委員会、福島県立美術館

会期：平成30年12月4日(火)～12日(水)

会場：楡葉町コミュニティセンター大会議室
(双葉郡楡葉町大字北田鐘突堂5-4)

開館時間：9時～17時

展示作品：23点

観覧料：無料

観覧者数：231名

担当：伊藤 匡

概要：

東日本大震災発生から4年後の2015年、楡葉町は避難指示が解除された。当館では被災地域復興支援として「移動美術館」を提案し、同町でも地域活性化事業の一つとしてこれを受け入れた。

展示内容は同町の希望をもとに展示構成を図り、ロダン、マンズーら海外作家、佐藤忠良や舟越保武ら日本を代表する彫刻家、福島県にゆかりのある斎藤清や楡葉町出身の日本画家である永山十志夫の作品など23点を展示した。

関連事業：

- ・県立美術館学芸員による展示解説

日時：12月9日(日) 11時～12時

講師：伊藤 匡（当館専門員） 参加者：20名



展示風景

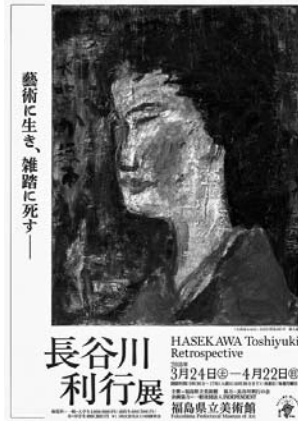
◆出品リスト：

[No./作家名/作品名/制作年/材質・技法/寸法 (cm) /備考]

- 1/オーギュスト・ロダン/〈影〉の頭部/不詳/ブロンズ/67.8×36.0×39.2/石原コレクション
- 2/オーギュスト・ロダン/柱上のフナイユ夫人の胸像/1898-1900/ブロンズ/162.5×51.0×36.5/石原コレクション
- 3/オーギュスト・ロダン/髪をすく女/1900以前/ブロンズ/24.0×14.5×13.7/石原コレクション
- 4/ジャコモ・マンズー/車に乗った子供/1982/ブロンズ/38.8×44.0×53.7
- 5/佐藤忠良/ジャコピン/1977/ブロンズ/34.0×11.0×22.0/石原コレクション
- 6/舟越保武/R/1986/ブロンズ/29.0×25.0×27.0/石原コレクション
- 7/赤堀信平/孫/1963/ブロンズ/31.2×26.7×26.5
- 8/笹戸千津子/彫刻家/1988/ブロンズ/37.0×25.0×24.0/石原コレクション
- 9/斎藤清/会津の冬、高田・戦場/1983/紙本墨画/52.6×96.7
- 10/斎藤清/野仏、田代(5)/1977/紙本墨画淡彩/97.0×67.4
- 11/齋藤隆/鮭首ノートⅡ/1993/紙本墨画/59.4×88.0
- 12/齋藤隆/貌Ⅱ/2003/紙本墨画/90.0×60.0
- 13/角田磐谷/《福島八景十勝》より 松川浦の夕月/1948頃/絹本着色/50.9×56.9
- 14/角田磐谷/《福島八景十勝》より 磐城舞子/1948頃/絹本着色/50.9×56.9
- 15/角田磐谷/《福島八景十勝》より 水郷植田海岸/1948頃/絹本着色/50.9×56.9
- 16/永山十志生/街/1973/紙本着色/124.1×94.0
- 17/永山十志生/雨の窓/1974/紙本着色/172.2×233.3
- 18/永山十志生/朝の御苑/1976/紙本着色/155.8×201.4
- 19/鈴木新夫/働く人(A)/1969/カンヴァス・油彩/130.0×162.3
- 20/寺田政明/樹木と街/1980/板・油彩/51.8×91.5
- 21/松田松雄/風景(川のほとり)/1975/カンヴァス・油彩/116.7×116.7
- 22/宮川教助/逍遙/1922/カンヴァス・油彩/99.7×72.5
- 23/吉井忠/老農夫/1964/カンヴァス・油彩/116.9×91.2

2 企画展

(1) 長谷川利行展



A4 チラシ

会期：平成 30 年 3 月 24 日(土)～ 4 月 22 日(日)

分野：洋画

展示数：140 点

観覧料：一般・大学生 1,000(800) 円、高校生 600(500) 円、小・中学生 400(300) 円 * () 内は 20 名以上の団体料金

観覧者数：2,066 名 (平成 30 年 4 月 1 日～ 22 日)

担当：堀 宜雄、伊藤 匡

主催：福島県立美術館

協力：長谷川利行の会

企画協力：一般社団法人 INDEPENDENT

関連事業 (平成 30 年 4 月 1 日以降)：

- ・講演会「雑踏の美学」
日時：4 月 8 日(日)
講師：原田 光氏 (本展監修者 元岩手県立美術館長)
会場：当館講堂 参加者：70 名
- ・担当学芸員によるギャラリートーク
日時：4 月 7 日(土)、4 月 13 日(金)
講師：堀 宜雄 (当館専門学芸員)
会場：企画展示室 参加者：計 58 名
- ・キッズプログラム「ペタコロサッサ★油絵ってたのしいね！」
日時：4 月 1 日(日)
講師：油井瑞樹氏 (画家)
会場：当館実習室 参加者：7 名
- ・創作プログラム「自画像を描く～自分を見つめる～」
日時：4 月 14 日(土)
講師：齋藤 隆氏 (画家)
会場：当館実習室 参加者：15 名

概要：

伝説の洋画家、長谷川利行(1891-1940)。木賃宿をねぐらとし、友人知人の肖像を素早い筆さばきで描いては、その絵を売りつけ金をせびる風來坊。しかし、対象の本質をわしづかみにする利行の作品は、近代日本絵画の到達した一つの極である。原色を多用

しながら、水墨画の静けさすら感じさせる長谷川利行の芸術を回顧した。

本展は、福島会場を立ち上げりに、東京、愛知、福岡、栃木に巡回した。



展示風景



講演会 (4/8)



ギャラリートーク (4/7)

◆出品リスト

[No. / 作品名 / 制作年 / 技法、材質 / 寸法 / 所蔵]

- 1 / 田端変電所 / 1923(大正12)年 / 油彩、カンヴァス / 23.8 × 32.6cm / 広島県立美術館蔵
- 2 / 自画像 / 1925(大正14)年頃 / 油彩、カンヴァス / 32.9 × 23.7cm / 個人蔵
- 3 / 陸橋みち / 1927(昭和2)年 / 油彩、カンヴァス / 21.8 × 45.0cm / 公益財団法人かみや美術館蔵
- 4 / 酒売場 / 1927(昭和2)年 / 油彩、カンヴァス / 53.3 × 65.5cm / 愛知県美術館蔵
- 5 / 浅草停車場 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 52.8 × 72.4cm / 泰明画廊蔵
- 6 / 地下鉄道 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 60.6 × 72.7cm / 個人蔵
- 7 / 夏の遊園地 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 112.0 × 163.0cm / 個人蔵
- 9 / カフェ・パウリスタ / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 53.0 × 72.8cm / 東京国立近代美術館蔵
- 10 / カフェ・オリエント内のスタンド / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 40.0 × 60.6cm / ウッドワン美術館蔵
- 11 / 居酒屋 / 1928(昭和3)年 / 水彩・墨、紙 / 24.2 × 33.0cm / 個人蔵
- 12 / Y子の像 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 22.5 × 15.5cm / 個人蔵
- 14 / 子守娘 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 45.5 × 38.0cm / 個人蔵
- 15 / 針金の上の少女 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 49.5 × 60.3cm / 個人蔵
- 16 / タンクのある風景 / 1929(昭和4)年 / 油彩、カンヴァス / 40.7 × 60.0cm / 個人蔵
- 17 / カフェ・パウリスタ / 1929(昭和4)年 / 油彩、カンヴァス / 41.0 × 60.5cm / 個人蔵
- 18 / 童女 / 1929(昭和4)年 / 鉛筆・パステル、紙 / 28.0 × 17.5cm / 個人蔵
- 19 / カフェの入口 / 1930(昭和5)年 / 油彩、カンヴァス / 60.3 × 50.0cm / 府中市美術館蔵
- 20 / 岸田国土像 / 1930(昭和5)年 / 油彩、カンヴァス / 74.0 × 54.0cm / 東京国立近代美術館蔵
- 21 / カフェの女 / 1930(昭和5)年 / 油彩、板 / 33.0 × 23.6cm / 個人蔵
- 22 / 酒祭り・花島喜世子 / 1930(昭和5)年頃 / 油彩、カンヴァス / 40.9 × 31.9cm / 宮城県美術館蔵(洲之内コレクション)
- 23 / 日暮里駅付近 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 45.6 × 60.9cm / 個人蔵
- 24 / 鉄工場の裏 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 46.0 × 61.0cm / 東京国立近代美術館蔵
- 25 / 風景 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 32.0 × 41.0cm / 新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
- 26 / 房州保田砂鉄工場廃屋図 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 38.0 × 45.3cm / 個人蔵
- 27 / クレーンのある風景 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 32.7 × 48.8cm / 呉市立美術館蔵
- 28 / 街並風景(彩美堂) / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 27.5 × 40.8cm /

個人蔵

- 29 / 雷門風景 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 26.0 × 43.0cm / 個人蔵
- 30 / 府美術館 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 52.8 × 65.0cm / 個人蔵
- 31 / 日比谷公会堂 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 12.6 × 21.1cm / 個人蔵
- 32 / 少女(質屋の子守) / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 72.5 × 60.5cm / 個人蔵
- 33 / 男の顔 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 23.8 × 16.6cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 34 / 裸婦 / 1931(昭和6)年 / 水彩、紙 / 23.8 × 28.5cm / 個人蔵
- 35 / 大根の花 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 31.5 × 40.9cm / 名古屋市美術館蔵
- 36 / 百合の花 / 1931(昭和6)年 / 油彩、カンヴァス / 52.6 × 72.1cm / 個人蔵
- 37 / 水泳場 / 1932(昭和7)年 / 油彩、カンヴァス / 90.9 × 116.7cm / 板橋区立美術館蔵
- 38 / 地下鉄ストアー / 1932(昭和7)年 / 油彩、カンヴァス / 72.0 × 90.0cm / 東京地下鉄株式会社蔵
- 39 / 二人の活弁の男 / 1932(昭和7)年 / 油彩、カンヴァス / 74.0 × 58.5cm / 信越放送株式会社蔵
- 40 / 女 / 1932(昭和7)年 / 油彩、カンヴァス / 97.0 × 130.3cm / 京都国立近代美術館蔵
- 41 / 浅草の活弁 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 39.0 × 30.0cm / 個人蔵
- 42 / 馬のいる風景 / 制作年不詳 / 鉛筆、紙 / 12.2 × 15.1cm / 呉市立美術館蔵
- 43 / 遊学館活弁 / 制作年不詳 / 鉛筆、紙 / 20.7 × 14.6cm / 呉市立美術館蔵
- 44 / 落花生に似た女の容姿 / 制作年不詳 / 鉛筆、紙 / 個人蔵
- 45 / ナイトハウス / 制作年不詳 / 鉛筆、紙 / 21.5 × 17.6cm / 新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
- 46 / 抱イテ寝モセズ / 制作年不詳 / 鉛筆、紙 / 21.0 × 17.5cm / 新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
- 47 / 荒川煙突のある風景 / 1933(昭和8)年 / 油彩、カンヴァス / 27.7 × 41.0cm / 個人蔵
- 48 / 矢野文夫氏肖像 / 1933(昭和8)年 / 油彩、カンヴァス / 72.5 × 60.5cm / 個人蔵
- 49 / 女の顔 / 1933(昭和8)年 / 油彩、紙 / 19.0 × 14.7cm / 個人蔵
- 50 / カフェオリエント / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァスボード / 23.9 × 32.8cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 51 / 銀座風景 / 1935(昭和10)年 / 油彩、板 / 27.0 × 39.5cm / 個人蔵
- 52 / 鉄橋の見える風景 / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 45.9 × 60.9cm / 個人蔵
- 53 / 荒川風景 / 1935(昭和10)年 / 油彩、ガラス / 44.0 × 65.2cm / 個人蔵
- 54 / 冬野 / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 15.7 × 21.8cm / 個人蔵
- 55 / 風景 / 1935(昭和10)年 / 水彩、紙 / 14.0 × 20.5cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 56 / 銀座ビルのある風景 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 18.5 × 23.5cm / 個人蔵
- 57 / 上野駅前 車坂風景 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 16.0 × 23.5cm / 個人蔵

- 58 / 風景 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 23.5 × 31.4cm / 個人蔵
- 59 / 大和家かほる / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 41.0 × 32.0cm / 個人蔵
- 60 / 安来節の女 / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 34.0 × 46.0cm / 個人蔵
- 61 / 浅草の女 / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 45.5 × 37.9cm / 福島県立美術館蔵
- 62 / 四人裸婦 / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 24.4 × 30.6cm / 豊島区蔵
- 63 / 少女 / 1935(昭和10)年 / 油彩、カンヴァス / 53.2 × 41.2cm / 群馬県立近代美術館蔵
- 64 / 関取 / 1935(昭和10)年 / 油彩、紙 / 21.5 × 17.0cm / 個人蔵
- 65 / 熊谷守一像 / 1935(昭和10)年 / 水彩、紙 / 21.0 × 18.0cm / 個人蔵
- 66 / 下町の少年像 / 1935(昭和10)年 / 水彩、紙 / 22.7 × 13.7cm / 個人蔵
- 67 / 門づけ / 制作年不詳 / 油彩、ボード / 45.0 × 33.2cm / 個人蔵
- 68 / 赤い裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、ボード / 26.2 × 17.5cm / 個人蔵
- 69 / 花 / 1935(昭和10)年 / 油彩、板 / 33.0 × 23.5cm / 個人蔵
- 70 / カフェ・オリエント / 1936(昭和11)年 / 油彩、カンヴァス / 38.0 × 45.5cm / 個人蔵
- 71 / 上野広小路付近 / 1936(昭和11)年 / 油彩、カンヴァス / 31.5 × 41.2cm / 宇都宮美術館蔵
- 72 / 風景(浅草) / 1936(昭和11)年 / 水彩、紙 / 23.8 × 30.2cm / 学校法人モード女学院蔵
- 73 / 芝居小屋(旧題名:中華料理店) / 1936(昭和11)年 / 水彩、紙 / 28.7 × 36.5cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 74 / 浅草風景 / 1936(昭和11)年 / 水彩・鉛筆、紙 / 18.7 × 23.7cm / 個人蔵
- 75 / 浅草風景 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 37.9 × 45.5cm / 個人蔵
- 76 / 浅草ロック / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 23.7 × 31.5cm / 府中市美術館蔵
- 77 / 浅草風景 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 22.5 × 30.0cm / 個人蔵
- 78 / 四宮潤一氏像 / 1936(昭和11)年 / 油彩、カンヴァス / 72.6 × 60.7cm / 個人蔵
- 79 / 椅子に腰かけた裸婦 / 1936(昭和11)年 / 油彩、カンヴァス / 44.2 × 38.0cm / 個人蔵
- 80 / ムーランルージュの踊り子 / 1936(昭和11)年 / 油彩、ボード / 32.9 × 24.0cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 81 / 女の顔 / 1936(昭和11)年 / 油彩、板 / 24.0 × 28.6cm / 個人蔵
- 82 / 裸少女 / 1936(昭和11)年 / 水彩、紙 / 22.1 × 28.7cm / 個人蔵
- 83 / 青いバックの裸婦 / 1936(昭和11)年 / 水彩、紙 / 28.7 × 24.0cm / 個人蔵
- 84 / 足を組む裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 91.0 × 73.0cm / 個人蔵
- 85 / 男の像 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 18.2 × 14.4cm / アルプスシャツ株式会社蔵
- 86 / 少女像 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 15.0 × 10.0cm / アルプスシャツ株式会社蔵
- 87 / 女の顔 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 14.8 × 10.7cm / 個人蔵
- 88 / 静物 / 1936(昭和11)年 / 油彩、カンヴァス / 30.5 × 39.5cm / 個人蔵
- 89 / 風景 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 50.5 × 61.0cm / 個人蔵
- 90 / 順天堂風景 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 34.0 × 45.5cm / 個人蔵
- 91 / 尾久遊園地 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 37.8 × 45.2cm / アルプスシャツ株式会社蔵
- 92 / 壺岸島の倉庫 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 44.5 × 37.0cm / 愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
- 93 / 街景 / 1937(昭和12)年頃 / 油彩、板 / 24.2 × 33.0cm / 宮城県美術館蔵(洲之内コレクション)
- 95 / 新宿風景 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 27.4 × 40.9cm / 個人蔵
- 96 / 新宿風景 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 21.2 × 27.0cm / 神奈川県立近代美術館蔵(北川原コレクション)
- 97 / 三河島風景 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 51.5 × 71.0cm / 個人蔵
- 98 / 須田町風景 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 45.5 × 37.9cm / 個人蔵
- 99 / 伊豆大島 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 31.2 × 40.0cm / 愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
- 100 / 大島の海 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 31.8 × 41.0cm / アルプスシャツ株式会社蔵
- 101 / 白い背景の人物 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 90.0 × 115.8cm / 個人蔵
- 102 / ハーゲンバックの少女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァスボード / 27.0 × 21.2cm / 個人蔵
- 103 / モナミの少女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、板 / 33.0 × 24.0cm / 個人蔵
- 104 / ノアノアの少女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 52.2 × 32.6cm / 愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
- 105 / 女の顔(大島アンコ) / 1937(昭和12)年 / 油彩、紙 / 17.4 × 12.4cm / 個人蔵
- 106 / 女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 53.1 × 34.0cm / 横須賀美術館蔵
- 107 / トルソーの女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 73.0 × 53.0cm / 個人蔵
- 108 / 婦人像 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 45.8 × 38.0cm / 公益財団法人大川美術館蔵
- 109 / 婦人像 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 45.5 × 33.0cm / 個人蔵
- 110 / 二人の女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、紙 / 27.2 × 36.3cm / 公益財団法人大川美術館蔵
- 111 / 青布の裸婦 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 52.8 × 70.5cm / 個人蔵
- 112 / 眠れる女 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 31.8 × 41.0cm / アルプスシャツ株式会社蔵
- 113 / 裸婦 / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 17.5 × 13.4cm / 個人蔵
- 114 / 天城俊彦像 / 1937(昭和12)年 / 水彩、紙 / 17.7 × 13.6cm / 個人蔵
- 115 / ラスキ文庫 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 19.0 × 29.5cm / アルプスシャツ株式会社蔵
- 116 / ノアノアの少女図 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァスボード / 32.9

- × 23.8cm / 個人蔵
- 117 / 裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、合板に紙 / 27.5 × 40.9cm / 個人蔵(福島県立美術館寄託)
- 118 / 裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 29.5 × 23.1cm / 個人蔵
- 119 / 紫の裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 32.4 × 22.7cm / 個人蔵
- 120 / 裸婦 / 1937(昭和12)年 / 油彩、ガラス / 16.4 × 12.0cm / 宮城県美術館蔵(洲之内コレクション)
- 121 / 湯浴する女 / 制作年不詳 / 油彩、ガラス / 16.5 × 12.1cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 122 / 裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、ガラス / 13.2 × 8.5cm / 神奈川県立近代美術館蔵(北川原コレクション)
- 123 / サーカスの女 / 制作年不詳 / 油彩、ガラス / 16.0 × 11.0cm / 個人蔵
- 124 / 女の顔 / 制作年不詳 / 油彩、ガラス / 12.4 × 9.7cm / 個人蔵
- 125 / 裸婦 / 制作年不詳 / 油彩、ガラス / 10.0 × 14.5cm / アルプスシャツ株式会社蔵
- 126 / ねこ / 制作年不詳 / 油彩、ガラス / 6.4 × 9.0cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 127 / 硝子器にりんご / 1937(昭和12)年 / 油彩、紙 / 27.0 × 36.8cm / 個人蔵
- 128 / 菊花など / 1937(昭和12)年 / 油彩、カンヴァス / 41.0 × 31.8cm / 愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
- 129 / 水蓮 / 1937(昭和12)年 / 油彩、板 / 24.2 × 33.1cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 130 / 田端風景 / 1938(昭和13)年 / 油彩、カンヴァス / 37.0 × 44.5cm / 個人蔵
- 131 / 新宿風景 / 1938(昭和13)年 / 水彩、紙 / 45.5 × 60.5cm / 個人蔵
- 132 / 隅田川風景 / 制作年不詳 / 水彩、紙 / 41.3 × 53.7cm / 個人蔵
- 133 / 婦人像 / 1938(昭和13)年 / 油彩、カンヴァスボード / 27.0 × 21.0cm / 個人蔵
- 134 / 少女像 / 制作年不詳 / 油彩、カンヴァス / 22.0 × 15.5cm / 個人蔵
- 136 / 相撲 / 1938(昭和13)年 / 油彩、ガラス / 16.5 × 12.1cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 137 / 相撲(駒の里・桂川取組) / 1938(昭和13)年 / 油彩、ガラス / 16.6 × 12.1cm / 福島県立美術館蔵(河野保雄コレクション)
- 138 / 双葉山土俵入 / 1938(昭和13)年頃 / 油彩、ボード / 23.9 × 32.9cm / 個人蔵
- 139 / 土州山 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 21.4 × 13.2cm / 個人蔵
- 140 / 名寄岩 / 制作年不詳 / 油彩、紙 / 21.3 × 13.7cm / 個人蔵
- 141 / パンジー / 1938(昭和13)年 / 油彩、カンヴァス / 25.3 × 40.0cm / 愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
- 142 / 龍泉寺町風景 / 1939(昭和14)年 / 油彩、紙 / 24.5 × 35.5cm / 個人蔵
- 143 / 荒川風景 / 1939(昭和14)年 / 油彩、ボード / 40.0 × 50.0cm / 府中市美術館蔵
- 144 / 男の顔(自画像) / 1939(昭和14)年 / 水彩、紙 / 37.0 × 28.5cm / 個人蔵

■福島不出品

- 8 / 汽罐車庫 / 1928(昭和3)年頃 / 油彩、カンヴァス / 112.0 × 194.0cm / 鉄道博物館蔵
- 13 / 鬚光像 / 1928(昭和3)年 / 油彩、カンヴァス / 45.7 × 37.8cm / 個人蔵
- 94 / 新宿風景 / 1937(昭和12)年頃 / 油彩、カンヴァス / 46.0 × 53.0cm / 東京国立近代美術館蔵
- 135 / 裸婦 / 1938(昭和13)年 / 油彩、カンヴァス / 45.4 × 52.7cm / 石橋財団ブリヂストン美術館蔵

■資料リスト

[資料 No. / 資料名 / 発行年 / 形態 / 寸法 [cm] / 所蔵]

- 001 / 長谷川利行『長谷川木葦集』、私家版 / 1919(大正8)年9月23日 / 書籍 / 15.5 × 11.0 / 種子登氏蔵
- 002 / 矢野文夫『』、交蘭社 / 1928(昭和3)年7月1日 / 書籍 / 19.0 × 12.7 / 個人蔵
- 003 / 高橋新吉『日食 高橋新吉詩集』、素人社書屋 / 1934(昭和9)年3月28日 / 書籍 / 19.5 × 13.5 / 個人蔵
- 004 / 矢野文夫編『美術手帖』2号 / 1935(昭和10)年5月1日 / 書籍 / 22.2 × 15.1 / 個人蔵
- 005 / 矢野文夫『夜の歌—長谷川利行とその芸術』、邦画荘出版 / 1941(昭和16)年11月15日 / 書籍 / 18.9 × 13.3 / 福島県立美術館蔵
- 006 / 高崎正男編『長谷川利行画集』、明治美術研究所 / 1942(昭和17)年6月30日初版、9月19日改訂増補版(1,000部) / 書籍 / 26.4 × 18.5 / 福島県立美術館蔵
- 007 / 前田夕暮『青天祭』、明治美術研究所 / 1943(昭和18)年2月20日初版、7月15日改訂増補版 / 書籍 / 21.2 × 15.5 / 個人蔵、福島県立美術館蔵
- 008 / 矢野文夫『伊吹 矢野文夫詩集』、邦画荘出版 / 1944(昭和19)年1月20日 / 書籍 / 21.1 × 15.0 / 個人蔵
- 009 / 『白木屋 長谷川利行遺作展目録』、白木屋百貨店 / 1952(昭和27)年4月12—16日 / 目録 / 16.0 × 11.0 / 個人蔵
- 010 / 矢野文夫編『野獣派 長谷川利行』、芸術社 / 1954(昭和29)年4月30日 / 書籍 / 18.3 × 12.8 / 福島県立美術館蔵
- 011 / 矢野文夫『放水路落日—長谷川利行晩年—』、芸術社 / 1960(昭和35)年12月15日 / 書籍 / 19.0 × 13.2 / 福島県立美術館蔵
- 012 / 『長谷川利行画集』、中央公論美術出版 / 1963(昭和38)年3月20日 / 書籍 / 29.2 × 21.8 / 福島県立美術館蔵
- 013 / 『長谷川利行画集』、講談社 / 1972(昭和47)年9月25日 / 書籍 / 35.0 × 26.3 / 福島県立美術館蔵
- 014 / 『長谷川利行作品集』、八重洲美術店 / 1973(昭和48)年9月14日 / 書籍 / 26.4 × 19.0 / 福島県立美術館蔵
- 015 / 矢野文夫『土砂降り』、マリア書房 / 1974(昭和49)年10月1日 / 書籍 / 26.1 × 18.6 / 個人蔵
- 016 / 『放浪の天才画家 長谷川利行展』、毎日新聞社 / 1976(昭和51)年2月3日 / 書籍 / 24.0 × 25.1 / 福島県立美術館蔵
- 017 / 『長谷川利行未発表作品集』、東広企画 / 旺国社 / 1978(昭和53)年5月1日 / 書籍 / 28.6 × 21.6 / 福島県立美術館蔵
- 018 / 長谷川利行画集刊行委員会『長谷川利行画集』、協和出版 / 1980(昭和55)年6月10日 / 書籍 / 30.6 × 26.8 / 福島県立美術館蔵
- 019 / 矢野文夫編『長谷川利行全文集』、五月書房 / 1981(昭和56)年9月30日 / 書籍 / 22.5 × 16.0 / 福島県立美術館蔵
- 020 / 『東京の落書き 1930's 長谷川利行と小熊秀雄の時代』、板橋区立

- 美術館／1988(昭和63)年9月17日／書籍／25.6×18.8／福島県立美術館蔵
- 021／『生誕100年記念 長谷川利行展』、朝日新聞社／1991(平成3)年6月12日／書籍／25.3×18.6／福島県立美術館蔵
- 022／『歿後60年長谷川利行展』、東京新聞／2000(平成12)年5月27日／書籍／28.0×23.0／福島県立美術館蔵
- 023／『長谷川利行画文集 どんとせえ!』、求龍堂／2000(平成12)年10月27日／書籍／28.0×23.0／福島県立美術館蔵
- 024／『曠野の太陽(詩歌新人叢書第4編)』、白日社〔表紙画〕／1931(昭和6)年5月15日／書籍／19.5×13.8／個人蔵
- 025／『長谷川利行展』、内村美術店／1989(平成元)年11月6日／書籍／20.0×21.2／福島県立美術館蔵
- 026／『放浪の鬼才 長谷川利行展』、東京新聞・東京中日新聞／1968(昭和43)年3月12日／書籍／20.0×21.2／福島県立美術館蔵
- 027／『長谷川利行—幻の名作と、素描力』、不忍画廊／2008(平成20)年11月17日／書籍／21.0×21.0／福島県立美術館蔵
- 028／『放浪の鬼才 長谷川利行展』、東京新聞・東京中日新聞／1968(昭和43)年3月12日／書籍／21.0×21.2／福島県立美術館蔵
- 029／『美之園』第13巻第2号「画廊巡礼(一)」〔1936年天城画廊個展の写真掲載〕／1937(昭和12)年2月／書籍／26.0×19.0／福島県立美術館蔵
- 030／『アトリエ』第12巻第7号「長谷川利行氏展 於銀座アモレ」個展会場／1935(昭和10)年7月／書籍／26.1×18.9／福島県立美術館蔵
- 031／矢野文夫『空しき青春』、白樺書房／1947(昭和22)年10月／書籍／18.3×12.8／個人蔵
- 032／矢野文夫『長谷川利行』、美術出版社／1974(昭和49)年5月／書籍／20.5×15.0／福島県立美術館蔵
- 033／『鬼才 長谷川利行と二人—熊谷登久平と矢野茫土』一関市博物館／2001(平成13)年9月22日／書籍／28.0×22.0／福島県立美術館蔵
- 034／田崎暘之介『野ざらしの詩』、協和出版／1980(昭和55)年5月／書籍／19.3×14.0／福島県立美術館蔵
- 035／吉田和正『アウトローと呼ばれた画家—評伝長谷川利行』、小学館／2000(平成12)年6月22日／書籍／19.3×14.0／福島県立美術館蔵

(2) ポーラ美術館コレクション

—モネ、ルノワールからピカソまで



A4 チラシ

会期：平成 30 年 4 月 28 日(土)～6 月 24 日(日)

分野：絵画、彫刻

展示数：72 点

観覧料：一般 1,300(1,100) 円、大学生・専門学校生 1,100(900) 円、小・中・高校生 650(500) 円

* () 内は前売および 20 名以上の団体料金

観覧者数：53,447 名

担当：坂本篤史、橋本恵里、荒木康子

主催：ポーラ美術館コレクション福島展実行委員会 [構成：福島県立美術館、テレビユー福島、福島民報社、ラジオ福島]、公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館

協賛：東邦銀行、東北電力、福島トヨタ、ベスト学院、JA グループ福島、NISSHA

企画制作：TBS テレビ

企画協力：テモアン

関連事業：

・講演会「1910 年代フランス モネやピカソが生きた激動の時代」
日時：4 月 28 日(土)

講師：木島俊介氏 (ポーラ美術館長、展覧会監修)

会場：当館講堂 参加者：116 名

・担当学芸員によるギャラリートーク

日時：5 月 11 日(金)、25 日(金)、6 月 1 日(金)、15 日(金)

講師：坂本篤史 (当館副主任学芸員) * 5/11、6/1

橋本恵里 (当館学芸員) * 5/25、6/15

会場：企画展示室 参加者：25 名、22 名、23 名、27 名

・まちなか美術講座 (福島大学行政政策学類連携企画)

①「印象派画家たちの冒険：モネとセザンヌ」

日時：4 月 7 日(土)

講師：伊藤匡 (当館専門員)

②「ピカソ—新しい視覚の誕生」

日時：4 月 21 日(土)

講師：荒木康子 (当館学芸課長)

③「市民生活の変化と絵画の中のモード」

日時：5 月 12 日(土)

講師：田村奈保子氏 (福島大学教授)

④「古典彫刻とルノワール」

日時：5 月 19 日(土)

講師：坂本篤史 (当館副主任学芸員)

⑤「前衛の舞台：モンマルトルとモンパルナス」

日時：6 月 16 日(土)

講師：橋本恵里 (当館学芸員)

会場：すべて福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ (福島市曾根田)

・映画上映 (フォーラム福島連携企画)

①「セザンヌと過ごした時間」

上映期間：4 月 28 日(土)～5 月 11 日(金)

②「ゴッホ最期の手紙」

上映期間：5 月 5 日(土)～18 日(金)

③「ゴーギャン タヒチ、楽園への旅」

上映期間：5 月 12 日(土)～18 日(金)

※美術館学芸員によるレクチャー (映画上映後実施)

「楽園幻想 ゴーガンが夢見た異国」

講師：橋本恵里 (当館学芸員)

日時：5 月 13 日(日)

④「リュミエール！」

上映期間：5 月 19 日(土)～25 日(金)

⑤「ルノワール 陽だまりの裸婦」

上映期間：5 月 26 日(土)～6 月 1 日(金)

会場：すべてフォーラム福島 (福島市曾根田)

・ワークショップ「名画で缶バッジをつくろう！」

日時：5 月 11 日(金)、25 日(金)、6 月 2 日(土)

講師：大北 孝 (当館主任学芸員)、白木ゆう美 (当館学芸員)、

坂本篤史 (当館副主任学芸員)、橋本恵里 (当館学芸員)

参加者：計 86 名

・ワークショップ「美術館の庭で油絵を描こう」

日時：5 月 20 日(日)、26 日(土)、27 日(日) * 3 回連続

講師：後藤 學氏 (画家、喜多方市美術館館長)

参加者：15 名

・ワークショップ「てんてん絵画体験！」

日時：6 月 10 日(日) * 午前午後各 1 回

講師：白木ゆう美 (当館学芸員)、大北 孝 (当館主任学芸員)

参加者：計 14 名

概要：

ポーラ美術館が誇る西洋美術のコレクションより、19 世紀後半から 20 世紀まで、フランスを中心に活動した計 20 名の美術家たちの作品 72 点を紹介した。うつろいゆく光の表現を追求した印象派から、色彩の解放を目指したフォーヴィスム (野獣派)、造形の冒険を試みたキュビズム (立体派) まで、西洋近代美術の個性豊かな展開をたどる。ポーラ同美術館を代表するルノワールの《レースの帽子の少女》(県内初公開)をはじめ、モネ、ルノワール、ピカソの作品 (各 8 点) が特に注目を集めた。

当館でのフランス近代美術展は、「フランス近代絵画のながれ」(2008 年) 以来 10 年振りとなる。印象派は県民のあいだでも特に人気が高いこともあり、観覧者数は 5 万人を超えた。



開会式 (4/28)



展示風景



講演会 (4/28)



ギャラリートーク (5/25)

◆出品リスト：

[No./作家名/作品名/制作年/技法・素材/寸法(cm)]

I 印象派の誕生: モネとルノワール

- 1 / エドゥアール・マネ / サラマンカの学生たち / 1860 / 油彩・カンヴァス / 72.7 × 92.6
- 2 / ギュスターヴ・クールベ / 牝鹿のいる雪の風景 / 1866-1869 頃 / 油彩・カンヴァス / 46.3 × 55.6
- 3 / ギュスターヴ・クールベ / 岩のある風景 / 油彩・カンヴァス / 65.3 × 54.3
- 4 / ウジェーヌ・ブーダン / ダウラスの海岸と船 / 1870-1873 / 油彩・カンヴァス / 36.8 × 58.3
- 5 / ウジェーヌ・ブーダン / 海洋の帆船 / 1873 / 油彩・カンヴァス / 32.6 × 46.3
- 6 / ウジェーヌ・ブーダン / トリスタン島の眺望、朝 / 1895 / 油彩・カンヴァス / 50.7 × 74.1
- 7 / クロード・モネ / セーヌ河の支流からみたアルジャントウイユ / 1872 / 油彩・カンヴァス / 51.3 × 65.9
- 8 / クロード・モネ / 貨物列車 / 1872 / 油彩・カンヴァス / 48.1 × 75.0
- 9 / クロード・モネ / 散歩 / 1875 / 油彩・カンヴァス / 59.4 × 80.4
- 10 / クロード・モネ / サン＝ラザール駅の線路 / 1877 / 油彩・カンヴァス / 60.5 × 81.1
- 11 / クロード・モネ / 花咲く堤、アルジャントウイユ / 1877 / 油彩・カンヴァス / 53.8 × 65.1
- 12 / クロード・モネ / グランド・ジャット島 / 1878 / 油彩・カンヴァス / 56.3 × 74.5
- 13 / クロード・モネ / ジヴェルニーの積みわら / 1884 / 油彩・カンヴァス / 66.1 × 81.3
- 14 / クロード・モネ / ジヴェルニーの冬 / 1885 / 油彩・カンヴァス / 65.3 × 81.5
- 15 / アルフレッド・シスレー / マルリーの水飼い場 / 1873 / 油彩・カンヴァス / 98.1 × 130.5
- 16 / アルフレッド・シスレー / セーヴルの跨線橋 / 1879 / 油彩・カンヴァス / 37.9 × 55.5
- 17 / アルフレッド・シスレー / サン＝マメスのロワン河 / 1885 / 油彩・カンヴァス / 38.7 × 55.6
- 18 / アルフレッド・シスレー / ロワン河畔、朝 / 1891 / 油彩・カンヴァス / 59.6 × 57.4
- 19 / カミユ・ピサロ / エヌリー街道の眺め / 1879 / 油彩・カンヴァス / 54.5 × 65.1
- 20 / カミユ・ピサロ / エラニーの村の入口 / 1884 / 油彩・カンヴァス / 50.2 × 61.3
- 21 / カミユ・ピサロ / エラニーの花咲く梨の木、朝 / 1886 / 油彩・カンヴァス / 54.1 × 65.1
- 22 / アルマン・ギヨマン / ロバンソンの散歩 / 1878 頃 / 油彩・カンヴァス / 51.1 × 61.4
- 23 / アルマン・ギヨマン / 雪のボンシャロー / 油彩・カンヴァス / 65.1 × 81.1
- 24 / ピエール・オーギュスト・ルノワール / レースの帽子の少女 / 1891 / 油彩・カンヴァス / 55.1 × 46.0
- 25 / ピエール・オーギュスト・ルノワール / 水のなかの裸婦 / 1888 / 油彩・カンヴァス / 81.3 × 65.4
- 26 / ピエール・オーギュスト・ルノワール / 水浴の女 / 1887 / 油彩・

- カンヴァス/ 81.9 × 53.0
 27 / ピエール・オーギュスト・ルノワール / 休息 / 1916-1917 / 油彩・カンヴァス / 50.3 × 60.0
 28 / ピエール・オーギュスト・ルノワール / 水浴の後 / 1915 / 油彩・カンヴァス / 38.8 × 50.5
 29 / ピエール・オーギュスト・ルノワール / ロバに乗ったアラブ人たち / 1881/1882 頃 / 油彩・カンヴァス / 55.1 × 65.6
 30 / ピエール・オーギュスト・ルノワール / エッソワの風景、早朝 / 1901 / 油彩・カンヴァス / 46.8 × 56.3
 31 / ピエール・オーギュスト・ルノワール / ヴェールをまとう踊り子 / 1918 (鑄造 : 1964) / ブロンズ / 63.6 (高さ)

II 色彩の解放: セザンヌからフォーヴへ

- 32 / ポール・ゴーガン / ボン = タヴェンの木陰の母と子 / 1886 / 油彩・カンヴァス / 93.0 × 73.1
 33 / ポール・セザンヌ / オーヴェール = シュル = オワーズの蕁苺きの家 / 1872-1873 / 油彩・カンヴァス / 72.3 × 59.3
 34 / ポール・セザンヌ / アントニー・ヴァラブレグの肖像 / 1874-1875 頃 / 油彩・カンヴァス / 64.1 × 52.8
 35 / ポール・セザンヌ / 4 人の水浴の女たち / 1877-1878 / 油彩・カンヴァス / 38.0 × 46.2
 36 / ポール・セザンヌ / アルルカン / 1888-1890 / 油彩・カンヴァス / 62.3 × 47.2
 37 / ポール・セザンヌ / 砂糖壺、梨とテーブルクロス / 1893-1894 / 油彩・カンヴァス / 50.9 × 62.0
 38 / モーリス・ド・ヴラマンク / 画家の父の家 / 1904-1905 頃 / 油彩・カンヴァス / 54.4 × 65.5
 39 / モーリス・ド・ヴラマンク / シャトゥー / 1906 頃 / 油彩・カンヴァス / 65.4 × 81.1
 40 / モーリス・ド・ヴラマンク / 湖 / 1913 / 油彩・カンヴァス / 81.7 × 99.5
 41 / モーリス・ド・ヴラマンク / 雪景色 / 1921 頃 / 油彩・カンヴァス / 65.1 × 80.8
 42 / ピエール・ボナール / 浴槽、ブルーのハーモニー / 1917 頃 / 油彩・カンヴァス / 45.8 × 55.1
 43 / ピエール・ボナール / 白い服の少女 / 1942-1945 / 油彩・カンヴァス / 64.5 × 54.0
 44 / ピエール・ボナール / ミモザのある階段 / 1946 頃 / 油彩・カンヴァス / 80.8 × 68.8
 45 / アンリ・マティス / 横たわる裸婦 / 1921 / 油彩・カンヴァス / 54.0 × 64.7
 46 / アンリ・マティス / 中国の花瓶 / 1922 / 油彩・カンヴァス / 34.0 × 55.0
 47 / アンリ・マティス / 襟巻の女 / 1936 / 油彩・カンヴァス / 45.9 × 32.8
 48 / アルベール・マルケ / 冬の太陽、パリ / 1904 / 油彩・カンヴァス / 32.9 × 41.0
 49 / アルベール・マルケ / パリ、カルーゼル広場 / 1910 / 油彩・カンヴァス / 65.1 × 81.1
 50 / アルベール・マルケ / ブーローニュ = シュル = メール港の眺め / 1930 / 油彩・カンヴァス / 65.0 × 81.0
 51 / アルベール・マルケ / テレムリの道 / 1930-1932 頃 / 油彩・カンヴァス / 53.8 × 81.1

- 52 / オーギュスト・エルバン / 陽のあたる街 / 1907 / 油彩・カンヴァス / 64.8 × 81.1
 53 / キース・ヴァン・ドンゲン / 灰色の服の女 / 1911 / 油彩・カンヴァス / 130.2 × 96.5
 54 / キース・ヴァン・ドンゲン / アンヴァリッドへの道 / 1922 / 油彩・カンヴァス / 81.9 × 100.8
 55 / キース・ヴァン・ドンゲン / ドーヴィルのノルマンディー・ホテル / 1925 / 油彩・カンヴァス / 46.2 × 38.4
 56 / キース・ヴァン・ドンゲン / 乗馬 (アカシアの道) / 油彩・カンヴァス / 54.0 × 65.0
 57 / キスリング / 窓辺のテーブル (サン = トロベ) / 1918 / 油彩・カンヴァス / 99.9 × 81.0
 58 / キスリング / 風景、パリーニース間の汽車 / 1926 / 油彩・カンヴァス / 80.7 × 100.2
 59 / ラウル・デュフィ / ドーヴィルの競馬場 / 1935-1940 / 油彩・カンヴァス / 65.2 × 80.9
 60 / ラウル・デュフィ / 五重奏 / 1948 頃 / 油彩・カンヴァス / 33.2 × 41.4

III 造形の冒険: ピカソとブラック

- 61 / ジョルジュ・ブラック / レスタックの家 / 1907 / 油彩・カンヴァス / 60.3 × 49.3
 62 / ジョルジュ・ブラック / 果物のある静物 / 1924 / 油彩、砂・カンヴァス / 19.6 × 65.1
 63 / ジョルジュ・ブラック / ティー・ローズの花籠 / 1925 / 油彩・板 / 23.1 × 62.1
 64 / ジョルジュ・ブラック / ギターのある静物 (バラ色の背景) / 1935 / 油彩、砂・カンヴァス / 81.0 × 116.0
 65 / パブロ・ピカソ / 男の胸像 / 1909 / 油彩・カンヴァス / 65.8 × 42.2
 66 / パブロ・ピカソ / 葡萄の帽子の女 / 1913 / 油彩・カンヴァス / 55.0 × 46.1
 67 / パブロ・ピカソ / 母子像 / 1921 / 油彩・カンヴァス / 101.8 × 83.5
 68 / パブロ・ピカソ / 静物 / 1937 / 油彩・カンヴァス / 38.1 × 46.2
 69 / パブロ・ピカソ / 花売り / 1937 / 油彩・カンヴァス / 80.9 × 65.1
 70 / パブロ・ピカソ / ろうそくのある静物 / 1944 / 油彩・カンヴァス / 64.6 × 91.8
 71 / パブロ・ピカソ / すいかを食べる男と山羊 / 1967 / 油彩・カンヴァス / 114.0 × 146.1
 72 / パブロ・ピカソ / 帽子の女 / 1962 / 油彩・カンヴァス / 146.3 × 114.3

(3) イラストレーター 安西水丸



A4 チラシ

会期：平成 30 年 7 月 7 日(土)～ 9 月 2 日(日)
 分野：イラストレーション
 展示数：764 点 (うち原画・版画 421 点)
 観覧料：一般・大学生 1,000(800) 円、高校生 600(500) 円、小・中学生 400(300) 円 * () 内は 20 名以上の団体料金
 観覧者数：8,125 名
 担当：紺野朋子、宮武 弘

主催：福島県立美術館
 監修：安西水丸事務所
 協力：嵐山オフィス、村上事務所、和田誠事務所、東京イラストレーターズ・ソサエティ、SPACE YUI、クリエイションギャラリー G8 (リクルートホールディングス)、福島県立図書館
 企画協力：クレヴィス
 後援：福島市、福島市教育委員会

関連事業：

- ・講演会「安西水丸さんのこと」
 日時：7 月 14 日(土)
 講師 嵐山光三郎氏 (作家)、南 伸坊氏 (イラストレーター)
 会場：当館講堂 参加者：250 名
- ・ワークショップ「美術館で見つけた『いいかんじ!』を描こう。」
 日時：8 月 4 日(土)
 講師：浅生ハルミン氏 (イラストレーター、エッセイスト)
 会場：美術館周辺及び実習室 参加者：16 名
- ・美術館・図書館連携企画「ちいさなおはなしかいスペシャル」
 日時：7 月 12 日(木)、8 月 9 日(木)
 講師：鈴木史穂氏 (福島県立図書館専門司書)
 対象：0～3 歳ぐらいのお子さんと保護者
 会場：企画展示室 参加者：53 名、19 名
- ・担当学芸員によるギャラリートーク
 日時：7 月 28 日(土)、8 月 25 日(土)
 講師：紺野朋子 (当館副主任学芸員)
 会場：企画展示室 参加者：両日とも 20 名

概要：

安西水丸は、1970 年代より小説、漫画、絵本、エッセイや広

告など多方面で確約したイラストレーターである。はじめ広告代理店や出版社に勤め、デザイン等の仕事をしながら、嵐山光三郎の勧めで『ガロ』に漫画を掲載、南房総での幼少期を題材とした『青の時代』が高い評価を受ける。独立後は、村上春樹をはじめとする本の装幀や、『がたん ごどん がたん ごどん』などの絵本、和田誠との二人展、広告や執筆活動など幅広く活躍した。

「その人にしか描けない絵」を追求し、身近なものを独自の感性で表現した。展覧会では、「小さい頃よりずっと絵を描くことが好きだった」という安西の幼少期から晩年に至るまでの足跡を、原画と資料あわせて 700 点以上により紹介した。



展示風景



講演会 (7/14)



おはなしかい (7/12)



ギャラリートーク (7/28)

◆出品リスト：

[タイトル/制作年または発行年/材質・技法(原画や下描き、版画の場合のみ記載)]

1章 ぼくの仕事

(1) 小説

- 『アマリス』新潮社/1989年
 『荒れた海辺』新潮社/1993年
 『荒れた海辺』新潮社/1993年/カバー原画/紙、水彩、クレパス
 『バードの妹』平凡社/1998年/カバー原画/紙、インク、透明フィルム、カラーアート
 『サボテンの花』実業之日本社/2002年/カバー原画/紙、インク、透明フィルム、カラーアート
 『十五歳のボート』平凡社/1992年/カバー原画/紙、インク
 『リヴィングストンの指』マガジンハウス/1990年/カバー原画/紙、インク
 『70パーセントの青空』角川書店/1989年/カバー原画/紙、インク、色鉛筆
 『冬の電車』徳間書店/1990年/カバー原画/紙、水彩
 『草のなかの線路』徳間書店/1994年/カバー原画/紙、色鉛筆
 『丘の上』文藝春秋/1995年/カバー原画/紙、インク、色鉛筆
 『アマリス』新潮文庫/1992年/カバー原画/紙、水彩
 『魚心なくとも水心』ぴあ/2002年/カバー原画/紙、インク、色鉛筆
 『手のひらのトークン』新潮文庫/1990年/カバー原画/紙、水彩
 『POST CARD』学生援護会/1986年/カバー原画/紙、インク、透明フィルム、カラーアート
 『エンピツ画の風景』日本文芸社/1993年/カバー原画/紙、色鉛筆
 『夜の草を踏む』光文社文庫/2004年/カバー原画/紙、色鉛筆
- (2) エッセイ
- 『ニッポン・あっちこっち』家の光協会/1999年/挿絵原画 5点/紙、インク、色鉛筆
 『スケッチブックの一人旅』JTBパブリッシング/1997年/挿絵原画 4点/紙、インク、色鉛筆
 『ちいさな城下町』文藝春秋/2014年/挿絵原画 11点/紙、インク
 『水玉全集』小玉節郎 宝島社/1985年
 『水玉全集』宝島社/1986年/原画 3点/紙、インク、色鉛筆
 『青山へかえる夜』マガジンハウス/1998年/挿絵原画 5点/紙、インク、スクリーンアート
 『大衆食堂へ行こう』朝日文庫/2006年/挿絵原画 7点/紙、インク、色鉛筆/紙、インク、カラーアート
 『シネマ・ストリート』キネマ旬報社/1989年
 『シネマ・ストリート PART2』キネマ旬報社/1993年
 『シネマ・ストリート PART1、2』キネマ旬報社/1989・1993年/挿絵原画 12点/紙、インク
- (3) 装丁・装画
- 『ひさしぶりの海苔弁』平松洋子/文藝春秋/2013年
 『すいかの匂い』江國香織/新潮社/1998年
 『ひさしぶりの海苔弁』文藝春秋/2013年/カバー原画/紙、インク
 『すいかの匂い』江國香織/新潮社/1998年/カバー原画/紙、色鉛筆
 『南洋の喫茶店』高橋康昌/筑摩書房/1986年/カバー原画/紙、カラーアート
 『神様のボート』江國香織/新潮社/1999年/カバー原画/紙、カラー

トーン

- 『ロングバケーション』北川悦吏子/角川書店/1996年
 『ロングバケーション』北川悦吏子/角川書店/1996年/カバー原画 3点/紙、インク、透明フィルム、カラーアート
 『喝采』阿久悠/文藝春秋/1988年/カバー原画/紙、インク、色鉛筆、透明フィルム、カラーアート
 『30代 女たちの日記』泉麻人/中央公論社/1994年/カバー原画/紙、色鉛筆
 『ホトギス雑詠選集』春の部/夏の部/秋の部/冬の部 高浜虚子選/朝日新聞社/1987年/カバー原画/紙、透明フィルム、カラーアート
 『三文役者の待ち時間』殿山泰司/ちくま文庫/2003年/カバー原画/紙、インク、透明フィルム、カラーアート
 『二十四の瞳』壺井 栄/角川文庫/カバー原画/紙、インク、透明フィルム、カラーアート
 『オーバータイム』北川悦吏子/角川書店/2001年/カバー原画/紙、インク、透明フィルム、カラーアート
 『鉄と糊』三国一朗/ハヤカワ文庫/1987年/カバー原画/紙、カラー、透明フィルム、カラーアート
 『ぼくのいい本こういう本』松浦弥太郎/朝日文庫/2014年/カバー原画/紙、カラーアート
 『時の過ぎゆくまに』小泉喜美子/講談社文庫/1990年/カバー原画/紙、インク、透明フィルム、カラーアート
 『山椒魚』井伏鱒二/新潮文庫/カバー原画/紙、カラーアート
 『平日』石田 千 文春文庫 2012年 カバー原画 紙、色鉛筆
 『ゴルフ場殺人事件』アガサ・クリスティエー/ハヤカワ文庫/2011年/カバー原画/紙、インク、透明フィルム、カラーアート
 『日本の文学』近代編シリーズ ほるぷ出版/1985年/3冊
 『日本の文学』近代編シリーズ ほるぷ出版/1985年/カバー原画 4点/紙、カラーアート
- (4) ポスター
- 『The 4th. WALKING SHIBUYA』東急電鉄/制作年不明/3点
 『iichiko』三和酒類/1983年
 『INTERIOR』ギンザ・グラフィック・ギャラリー/1993年
 『無印良品 プラウカ新瀨』良品計画/1985年
 『バル』発行元・制作年不明
 『資生堂化粧品デー』資生堂/1983年
 『ラフォーレカード』発行元・制作年不明
 『IBM 箱崎』日本アイ・ビー・エム/1989年
 『東急 総決算』東急百貨店/1980年代
 『安西水丸 二色』ギンザ・グラフィック・ギャラリー/1987年
 『JAL プランナー』日本航空/1988年
 『MIZUMARU GREEN』スペースユイ/2000年
 『奄美大島』鹿児島県 制作年不明
 『天の川』発行元・制作年不明
 『チネチッタ川崎』チネチッタ/1980年代/2点
 『歌舞伎イラストレーション』クリエイションギャラリー G8/2013年
 『銀座のバーの物語』モリサワ/1985年
 『うちは安全ダイーでR』東京ガス/制作年不明
 『映画 上海バンスキング』オンシアター自由劇場/1979年
 『ご一緒できるとうれしいな』東京ガス/制作年不明
 『いろはコピー塾』インターナショナル・アカデミー/1980年代
 『後樂園』後樂園スタジアム/1985年

『Mobo 倶楽部 大安吉日』ピットインミュージック／1984年

『きつれがわ』国民年金保養センター／制作年不明

(5) 漫画

『ガロ』no.209／青林堂／1981年／カバー原画／紙、インク、カラートーン

『ガロ』no.209／青林堂／1981年

『青の時代』青林堂／1980年

『青の時代』青林堂／1980年／原画 18点／紙、インク、スクリーントーン

『普通の人』宝島社／1989年／原画 5点／紙、インク

『サタンくん』けいせい出版／1981年／原画／紙、インク

『ポケットくん』けいせい出版／1981年／原画／紙、インク

『スーパーナイトゴクン』けいせい出版／1981年／原画／紙、インク、スクリーントーン

『天才ロボットガンパーロン』けいせい出版／1981年／原画／紙、インク、カラートーン

『月カド君』No.1／角川書店／1990年／原画／紙、インク

『毎日君』No.1／宝島社／1982年／原画／紙、インク

『新ドリブ君』No.1／青人社／制作年不明／原画／紙、インク

『ドリブ君』No.6／青人社／1982年／原画／紙、インク

『京都嫌いおじさんの京都歩き』京阪神エルマガジン社／2009年／原画／紙、インク

(6) 絵本

『がたんごたん がたんごたん』展覧会出品作／制作年不明／紙、カラートーン

『がたんごたん がたんごたん ざぶんざぶん』福音館書店／2012年／原画 6点／紙、透明フィルム、カラートーン

『がたんごたん がたんごたん』福音館書店／1989年／ラフ／紙、色鉛筆

『がたんごたん がたんごたん ざぶん ざぶん』福音館書店／2012年／ラフ／紙、インク

『ぞうのふうせんやさん』教育画劇／2008年／原画 5点／紙、インク、透明フィルム、カラートーン

『りんご りんご りんご りんご りんご りんご』主婦の友社／2005年／原画 6点／紙、カラートーン

『あわあわあわあわ』ベネッセコーポレーション／2011年／カバー原画／紙、カラートーン

『あげたおはなし』中山千夏 自由国民社／2005年／カバー原画／紙、インク、透明フィルム、カラートーン

『バスにのりたかったおばけ』好学社／2000年／カバー原画／紙、インク、カラートーン

(7) 雑誌

『イラストレーション』玄光社／2011年3月号

『イラストレーション』玄光社／2011年3月号／原画／紙、インク、透明フィルム、カラートーン

『オブラ』講談社／2003年頃／表紙原画 4点／紙、インク、透明フィルム、カラートーン

『小説現代』目次／講談社／1980年代

『朝昼晩』Vol.8／日本歯科医師会／2001年

『朝昼晩』Vol.8／日本歯科医師会／2001年／表紙原画／紙、インク、色鉛筆

『私大蛍雪』旺文社／1991年12月号

『私大蛍雪』旺文社／1991年12月号／表紙原画／紙、インク、透明フィ

ルム、カラートーン

『古典酒場』Vol.9／三栄書房／2010年

『古典酒場』Vol.9／三栄書房／2010年／表紙原画／紙、インク、透明フィルム、カラートーン

『毎日が発見』KADOKAWA／2013年7月号

『毎日が発見』KADOKAWA／2013年7月号／表紙原画／紙、インク、透明フィルム、カラートーン

『TOTOの元気の素』小冊子／TOTO／1994年

『TOTOの元気の素』TOTO／1994年／原画／紙、インク、透明フィルム

『プラス』石井食品／4号／発行年不明／原画／紙、インク

『プラス』石井食品／20号／発行年不明

『プラス』石井食品／20号／発行年不明／原画／紙、インク、透明フィルム

『プラス』石井食品／33号／発行年不明／原画／紙、インク、透明フィルム

『プラス』石井食品／原画／紙、インク

『たて組ココ組』モリサワ／1985年冬第7号

『たて組ココ組』モリサワ／1987年秋第18号

『たいせい』大成建設 1996年11月号

『itoya post』伊東屋／2012年AUTUMN

『SEIKO MUSICAL INSTRUMENTS CATALOGUE』服部時計店／発行年不明

『厚生施設ガイドブック』三菱銀行／発行年不明

『COMMUNICATION』集英社／1993年1月号／No.15

『URESHEI』ANA ホテル富山／2005年12-1月号

『資生堂ホールセーラー』資生堂／1987年8月号

『HILLS LIFE』森ビル／2010年5月号

『カラオケステーションベスト20』ワンダーキッズ／発行年不明

『legato』ヤマハ／1995年6月号

『CLOVER LIFE』名鉄百貨店／1986年11月号

『週刊マイルームガイド』アットホーム／1997年6月25日号

『DTP WORLD』ポーンデジタル／2006年9月号

『ブレーション』VOL.39/No.7／1999年7月

『あじわい』全国銘産菓子工業協同組合／2010年新春号、2010年夏記念特別号、2012年夏号、2102年秋号、2014年春号

『週刊朝日』朝日新聞社／1987年12月10日増刊号

『DoLiVe』青人社／1985年12月臨時増刊号

『ビックリハウス』1982年2月号

『オブラ』講談社／2003年10月号、2004年4月号、2004年7月号、2004年8月号

『ぶるすこ』人生相談社／1995年

(8) 安西が手がけた小説・エッセイ・漫画・絵本など

『ハナクロ探検隊』けいせい出版／1980年

『安西水丸 ビックリ漫画館』ブロンズ社／1905年

『月間漫画ガロ』1994年11月号／安西水丸名作劇場／山中潤編集／青林堂／1994年

『青の時代』青林堂／1987年

『青の時代』光文社文庫／1999年

『東京エレジー』青林堂／1982年

『東京エレジー』ちくま文庫／1989年

『黄色チューリップ』角川書店／1988年

『春はやて』ちくま文庫／1987年

- 『普通の人』JICC 出版局／1989年
『平成版 普通の人』南風社／1993年
『普通の人』朝日文庫／2000年
『平成版 普通の人』朝日文庫／2000年
『ぼくの映画あそび』廣済堂文庫ヒューマンセレクト／1995年
『安西水丸の二本立て映画館』前・後編／朝日文庫／1998年
『夢の名画座で逢いましょう』小山薫堂・安西水丸／幻冬舎文庫／2012年
『青山の青空』PHP 研究所／1989年
『青山の青空2』PHP 研究所／1996年
『青山の青空』新潮文庫／1993年
『安西水丸青山へかえる夜』マガジンハウス／1998年
『ガラスのプロペラ デザインの細道』誠文堂新光社／1994年
『魚心なくとも水心』ぴあ／2002年
『メロンが食べたい』実業之日本社／2001年
『ニッポン・あっちこっち』家の光協会／1999年
『大衆食堂へ行こう』朝日文庫／2006年
『ぼくのいつか見た部屋』KSS 出版／1998年
『おんなの仕草』中央公論新社／2001年
『4番目の美学』心交社／2000年
『東京美女散歩』A.D.A EDITA Tokyo／2015年
『水丸劇場』世界文化社／2014年
『新日本漫遊記』松木直也／CBS・ソニー出版／1984年
『水玉大全集』小玉節郎／講談社文庫／1997年
『彼はメンフィスで生まれた アメリカン・ジャーニー』安西水丸・小平尚典／阪急コミュニケーションズ／2005年
『アトランタの案山子、アラバマのワニ』安西水丸・小平尚典／小学館／1996年
『スノードーム』安西水丸・百瀬博教／日本スノードーム協会／キネマ旬報社／1996年
『カレーを食べに行こう』安西水丸とカレーの地位向上委員会編／平凡社／1998年
『あそび』HB ギャラリー／2003年
『70パーセントの青空』角川書店／1989年
『空を見る』PHP 研究所／1994年
『バードの妹』平凡社／1998年
『夜の草を踏む』光文社／1998年
『夜の草を踏む』光文社文庫／2004年
『ストローハウスからの手紙』毎日新聞社／1995年
『十五歳のポート』平凡社／1992年
『青インクの東京地図』講談社／1987年
『青インクの東京地図』講談社文庫／1990年
『花の咲いている場所』学生援護会／1991年
『冬の電車』徳間書店／1990年
『手のひらのトークン』新潮文庫／1990年
『アマリリス』新潮文庫／1992年
『70パーセントの青空』角川文庫／1991年
『エンピツ画の風景』日本文芸社／1993年
『丘の上』文藝春秋／1995年
『草のなかの線路』徳間書店／1994年
『メランコリー・ララバイ』日本放送出版協会／1998年
『リヴィングストンの指』マガジンハウス／1990年
『サボテンの花』実業之日本社／2002年
『POST CARD』学生援護会／1986年
『たびたびの旅』フレーベル館／1998年
『ちいさな城下町』文藝春秋／2014年
『スケッチブックの一人旅』JTB／1997年 『エンピツ絵描きの一人旅』新潮社／1991年
『地球の細道』A.D.A EDITA Tokyo／2014年
『絵はがき絵本 恋する四重人格』石津ちひろ／フレーベル館／1996年
『INTERIOR』ギンザ・グラフィック・ギャラリー／1993年
『ハリーズ・バー 世界でいちばん愛されている伝説的なバーの物語』アリーゴ・チブリアーニ、安西水丸訳／にじゅうに 1999年
『真夏の航海』トルーマン・カポーティ、安西水丸訳／ランダムハウス講談社／2006年
『人生には好きなことしかやる時間がない』秋元 康／青春出版社／2000年
『神様のポート』江國香織／新潮社／1999年
『私の裏切り裏切られ史』花登 筐／朝日新聞社／1983年
『野球おもしろ文化論』池井 優／共同通信社／1988年
『喝采』阿久 悠／文藝春秋／1988年
『カラスも猫も』武田 花／筑摩書房／1995年
『南洋の喫茶店 オセアニア現代誌』高橋康昌／筑摩書房／1986年
『30代 女たちの日記』泉 麻人／中央公論社／1994年
『ピッキーとポッキー』幼児絵本版／嵐山光三郎／福音館書店／1993年
『ふりかえりおじさん』コーキ出版／1979年
『バスに のりたかった おばけ』好学社／1981年
『がたん ごとん がたん ごとん』福音館書店／2015年
『がたん ごとん がたん ごとん ざぶん ざぶん』福音館書店／2012年
『クッキーのおべんとうやさん』ポプラ社／2005年
『クッキーの ぼうしやさん』ポプラ社／2006年
『おばけのアイスクリームやさん』教育画劇／2006年
『おさるのケーキやさん』教育画劇／2007年
『ぞうのふうせんやさん』教育画劇／2008年
『りんご りんご りんご りんご りんご りんご』主婦の友社／2006年
『あげたおはなし』中山千夏／自由国民社／2005年
『安西水丸のどうぶつパシャパシャ』安西カオリ／文芸社／2017年
『きむらゆういちの しかけクイズえほん はるのどきどきマジック!』教育画劇／2007年
『空翔ぶ不良』百瀬博教／マガジンハウス／1993年
『猫を数えて』阿刀田高／講談社／1990年
『鉄と糊』三國一郎／ハヤカワ文庫 NF／1987年
『三文役者の待ち時間』殿山泰司／ちくま文庫／2003年
『文士のいる風景』大村彦次郎／ちくま文庫／2006年
『いじわるな天使』穂村 弘／アスペクト文庫／2013年
『まちがったっていいじゃないか』森 毅／ちくま文庫／1988年
『時の過ぎゆくままに』小泉喜美子／講談社文庫／1990年
『窓際のウィンドウズ』桂 文珍／PHP 文庫／2003年
『ラブ・ソングが聴こえる部屋』川西 蘭／集英社文庫／1990年
『野球雲の見える日』山際淳司／角川文庫／1990年
『雨の扉』薄井ゆうじ 光文社文庫／1998年
『ぼくのいい本こういう本』松浦弥太郎／朝日文庫／2014年

- 『平日』石田千／文春文庫／2012年
- 『ホトトギス雑詠選集』春の部／夏の部／秋の部／冬の部／高濱_子編／朝日文庫／1987年
- 『オーバー・タイム』北川悦吏子／角川文庫／2001年
- 『檸檬・城のある町にて』梶井基次郎／角川文庫／1951年
- 『二十四の瞳』壺井栄／角川文庫／1961年
- 『山椒魚』井伏鱒二／新潮文庫／1948年
- 『ゴルフ場殺人事件』アガサ・クリスティー、田村義進訳／ハヤカワ文庫／2011年
- (9) 広告・立体物
- 「パール・ピラス」松任谷由実／東芝EMI／1982年／歌詞カード
- 「パール・ピラス」松任谷由実／東芝EMI／1982年／歌詞カード原画 2点／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
- 「名古屋銀行カレンダー」名古屋銀行／1994年／原画 3点／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
- 「名古屋銀行カレンダー」名古屋銀行／1994年
- 「三越の第九」新聞広告 日本橋三越本店／2006年
- 「三越の第九」新聞広告 日本橋三越本店／2006年／原画／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
- 「三越の第九」新聞広告 日本橋三越本店／2006年／下描き／紙、インク
- 「高知トヨタ本店」新聞広告／高知トヨタ自動車／2004年
- 「高知トヨタ本店」新聞広告／高知トヨタ自動車／2004年 原画 紙、インク、透明フィルム、カラートーン
- 「都市ガスってフェミニストね」新聞広告／東京ガス／1984年／3点
- 「あなたが描く NEW MEDIA」新聞広告／東芝／1984年／3点
- 「男の、資生堂」新聞広告／資生堂／1984年
- 「いい夜が、はじまっています」新聞広告／東京ガス／1994年
- 「帝国ホテル大阪 フライング トマト カフェ」帝国ホテル大阪／1996年／壁画原画 2点／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
- 「道の駅ちくら・潮風王国」ロゴ／千倉黒潮物産センター／1997年
- 「道の駅ちくら・潮風王国」パンフレット／千倉黒潮物産センター／1997年
- 紙袋／シモジマ／1991年
- 紙袋「IBM箱崎」日本アイ・ビー・エム／1989年
- 傘／G8チャリティ展出品作品／2001年
- 靴／G8チャリティ展出品作品／2010年
- 「家族で楽しむ 新春いろはかるた」世界文化社／『家庭画報』2013年1月号特別付録
- 「キンダー かるた」フレーベル館／制作年不明
- 「STRAIGHT HOPE LIGHTS」マッチ／日本たばこ産業／制作年不明
- 「原宿ブックカフェ」ブックカバー／ネスレ日本／2013年
- 「第3回 神戸ファッションフェスティバル」リーフレット、チケット／神戸ファッション協会、兵庫県、神戸市、神戸商工会議所／1991年
- 「コマーシャル博覧会」リーフレット、チケット／全日本シーエム放送連盟／2010年
- 「お気に召すまま」リーフレット／銀座セゾン劇場／1990年
- 「北京的西瓜」リーフレット／松竹／1989年
- 「大京観光カレンダー」大京観光／1984年／2枚
- 「大京観光カレンダー」大京観光／1984年／原画 2枚／紙、インク、色鉛筆
- 「サムライ ランナウェイ 天下御免」レコードジャケット／東映／1981年
- 「サムライ ランナウェイ 天下御免」レコードジャケット原画／東映／1981年／紙、インク、カラートーン
- 「POST 切手」展出品作／切手／日本グラフィックデザイナー協会／2007年
- 「POST 切手」展出品作／切手／日本グラフィックデザイナー協会／2007年／原画／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
- 「国際アカデミー総合講座案内パンフレット」1993年
- 「カゴメオレンジジュース」小冊子／カゴメ／1980年代
- 『生活美術教室』フライヤー／PALETTE CLUB SCHOOL／2003年
- 「スポンジワイプ」E.OCT／2011年
- 「KAGOME 朝市」広告／カゴメ／1980年代
- 「KAGOME 朝市」広告／カゴメ／1980年代／原画／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
- 「こどもの日のつどい」封筒／明治製菓、講談社／制作年不明
- 2章 ぼくと3人の作家
- (1) 嵐山光三郎さんと
- 『チューサン階級のトモ』徳間書店／1984年
- 『チューサン階級のトモ』徳間書店／1984年／原画 12点／紙、インク／紙、インク、カラートーン
- 安西水丸が描いた様々な嵐山光三郎氏／月刊ドリブ（青人社）より／制作年不明 13点／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
- 『怪人二十面相の墓』1974年／原画 8点／紙、インク
- 『素人庖丁記』講談社／1987年／カバー原画／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
- 『素人庖丁記 ごはんの力』講談社／1994年／カバー原画／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
- 『よろしく』集英社／2006年／カバー原画／紙、色鉛筆
- 『チューサン階級の冒険』白川書院／1977年／ケース展示
- 『チューサン階級の冒険』角川文庫／1984年
- 『素人庖丁記』講談社／1987年
- 『素人庖丁記パート2』講談社／1989年
- 『素人庖丁記 ごはんの力』講談社／1994年
- 『新素人庖丁記 海賊の宴会』講談社／1993年
- 『素人庖丁記』ランダムハウス講談社文庫／2008年
- 『カツ丼の道 素人庖丁記2』ランダムハウス講談社文庫／2008年
- 『海賊の宴会 素人庖丁記3』ランダムハウス講談社文庫／2008年
- 『ごはんの力 素人庖丁記4』ランダムハウス講談社文庫／2008年
- 『かわいい自分には旅をさせろ』講談社／1991年
- 『この町へ行け』TBSブリタニカ／1995年10月26日
- 『口笛の歌が聴こえる』新潮社／1985年
- 『口笛の歌が聴こえる』新潮文庫／1988年
- 『口笛の歌が聴こえる』新装版／新風舎文庫／2003年
- 『よろしく』集英社／2006年
- 『ABC 文体 鼻毛のミツアミ』講談社／1982年
- 『恋横丁恋暦』徳間書店／1986年
- 『インスタントラーメン読本』新潮文庫／1985年
- 『ぶーぶーぶー—おならともだちになる本』あすなろ書房／1986年
- 「俳句カレンダー」
- 『ピッキーとポッキーのかいすいよく』福音館書店／2010年／原画 2点／紙、インク
- 『ピッキーとポッキーのはいくえほん おしょうがつのまき』福音館書店／2013年／原画 9点／紙、インク
- 『ピッキーとポッキー』福音館書店／1993年

『ピッキーとポッキーのかいすいよく』福音館書店／2010年
『ピッキーとポッキーのはいくえぼん おしよがつのまき』福音館書店／2013年
『ピッキーとポッキーのかいすいよく』福音館書店／2010年／ラフ／紙、インク
『ピッキーとポッキーのはいくえぼん おしよがつのまき』福音館書店／2013年／ラフ／紙、インク
(2) 和田誠さんと
NO IDEA 展出品作「APPLE」「MAP」「western」「SOS」「ROBOT」2001年／紙、シルクスクリーン
『NO IDEA』安西水丸、和田 誠／金の星社／2002年
『テーブルの上の犬や猫』安西水丸、和田 誠／文藝春秋／2005年
『パートナーズ』安西水丸、和田 誠／文藝春秋／2008年
『青豆とうふ』安西水丸、和田 誠／講談社／2003年
片側が空いたままで見つかった2人展用の原画／制作年不明／原画／紙、インク、カラートーン
(3) 村上春樹さんと
『中国行きのスロウ・ボート』中央公論新社／1983年
『蛭・納屋を焼く・その他の短編』新潮文庫／1987年／カバー原画／紙、インク、カラートーン
『蛭・納屋を焼く・その他の短編』新装版／新潮文庫／2010年／カバー原画／紙、インク、カラートーン
『象工場のハッピーエンド』CBS・ソニー出版／1983年
『象工場のハッピーエンド』CBS・ソニー出版／1983年、2016年復刻3点／ジクレー版画
『象工場のハッピーエンド』CBS・ソニー出版／1983年／原画 5点／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
『象工場のハッピーエンド』CBS・ソニー出版／1983年／裏表紙原画／紙、インク、カラートーン
『夜のくもざる』平凡社／1995年／外カバー表紙原画／紙、インク、カラートーン
『ランゲルハンス島の午後』新潮文庫／1990年／カバー原画／紙、カラートーン
『象工場のハッピーエンド』新潮文庫／1986年／カバー原画／紙、インク、カラートーン
『夜のくもざる』新潮文庫 1998年／カバー原画／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
『夜のくもざる』平凡社／1995年／挿入画 5点「ずっと昔に国分寺にあったジャズ喫茶のための広告」「鉛筆削り（あるいは幸運としての渡辺昇①）」「動物園」「ことわざ」「アンチテーゼ」／シルクスクリーン
『夜のくもざる』平凡社／1995年／カバー・挿絵原画 5点／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
『ふわふわ』講談社／1998年／原画 6点／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
『ブルータス』マガジンハウス／1999年6月号
『村上朝日堂』新潮文庫／1987年／カバー原画／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
『村上朝日堂の逆襲』朝日新聞社／1989年／カバー原画／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
『村上朝日堂はいかにして鍛えられたか』新潮文庫／1996年／カバー原画／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
『村上朝日堂 はいほー！』新潮文庫／1992年／カバー原画／紙、イ

ンク、透明フィルム、カラートーン
『村上朝日堂の逆襲』挿絵原画 6点／紙、インク
『やがて哀しき外国語』講談社・1994年／講談社文庫・1997年／カバー原画／紙、色鉛筆
『日出る国の工場』平凡社・1987年／新潮文庫・1990年／カバー・挿絵原画 6点／紙、色鉛筆／紙、インク、透明フィルム、カラートーン
『うずまき猫のみつけかた』新潮社／1996年／カバー・挿絵原画 9点／紙、色鉛筆
『セロニアス・モンクのいた風景』新潮社／2014年
『蛭・納屋を焼く・その他の短編』新潮社／1984年
『蛭・納屋を焼く・その他の短編』新潮文庫／2010年
『蛭・納屋を焼く・その他の短編』新装版／新潮文庫／1987年
『村上かるた うさぎおいしーフランス人』文藝春秋／2007年
『ふわふわ』講談社／2001年
『象工場のハッピーエンド』講談社／1999年
『象工場のハッピーエンド』新潮社／1986年
『夜のくもざる』平凡社／1995年
『村上朝日堂超短篇小説 夜のくもざる』村上春樹、安西水丸／新潮文庫／1998年
『ランゲルハンス島の午後』光文社／1986年
『ランゲルハンス島の午後』新潮文庫／1990年
『村上朝日堂』若林出版企画／1984年
『村上朝日堂』新潮文庫／1987年
『村上朝日堂の逆襲』朝日新聞社／1986年
『村上朝日堂の逆襲』朝日新聞社／1989年
『村上朝日堂 はいほー！』新潮文庫／1992年
『村上朝日堂ジャーナル うずまき猫のみつけかた』新潮社／1996年
『村上朝日堂ジャーナル うずまき猫のみつけかた』新潮文庫／1999年
『村上朝日堂はいかにして鍛えられたか』朝日新聞社／1997年
『村上朝日堂はいかにして鍛えられたか』村上春樹、安西水丸／新潮文庫／1999年
『夢のサーフシティー』朝日新聞社／1998年
『スメルジャコフ対織田信長家臣団』朝日新聞社／2001年
『村上春樹 雑文集』村上春樹／新潮社／2011年1月30日
『AERA Mook 村上春樹がわかる』朝日新聞社／2001年
『ビックリハウス』パルコ出版／1984年3月号
『日出る国の工場』平凡社／1987年
『日出る国の工場』新潮文庫／1990年
『やがて哀しき外国語』講談社／1994年
『やがて哀しき外国語』講談社文庫／1998年
3章 ぼくの来た道
(1) 絵を描くことが遊びだった
愛読していた少年漫画『冒険王』1957年10月号／『少年』1956年夏休み大増刊号
幼少期に集めていためんこ 5点
お気に入りのモチーフだったターザン 複製画 2点
小中学生時代のノート 2点
小学生の頃に描いたとみられる絵 2点
校内で賞をとった、水泳大会のポスター
(2) 学生・デザイナー時代
「オーシャンと11人の仲間たち」1965年 11点
『THE SHAPE OF CONTENT』BEN SHAHN／美術出版社／1960年

- 『夏の終り—少女』1969年／私家版
 「夏の終り—少女」複製画 5点
 学生時代に制作したレコードジャケット風の作品 2点
 電通時代に手がけた広告 4点
 (3) ぼくの好きなもの
 『POPEYE』マガジンハウス／2013年8月号
 カレーライス、スノードーム、ブルーウィロー、お酒に関する原画 51点／紙、インク／紙、インク、色鉛筆／紙、インク、透明フィルム、カラー
 トーン
 愛用の万年筆
 「アマリリス」新潮社／1989年／原稿
 愛用のペーパーウェイト
 愛用の眼鏡
 愛用のパイプ
 コレクションしていたスノードーム 5点
 ブルーウィローのお皿
 「かげろうの花 白ラベル」セキヤ／1980年代
 「メ張鶴 梅酒」宮尾酒造／2008年
 「メ張鶴 純米大吟醸」宮尾酒造 ※未発売
 ワインラベル ココ・ファーム・ワイナリー／1993年
 ワインラベル ココ・ファーム・ワイナリー／2005年
 『カレーを食べに行こう 安西水丸』安西水丸とカレーの地位向上委員会編／平凡社／1998年
 『Wonderland in Snow Domes スノードームの不思議な世界』日本スノードーム協会／2006年
 作画に使用していたパントーンフィルム
 「ぼくのイラストレーションができるまで」制作年不詳／原画 2点／紙、インク、カラー
 トーン／紙、インク、スクリーン
 トーン
 4章 ぼくのイラストレーション
 「兵隊とリンゴ」1987年／紙、シルクスクリーン
 「マッチとケーブルカー」1987年／紙、シルクスクリーン
 「ココ・コーラ」1987年／紙、シルクスクリーン
 「灯台」2006年／紙、ミクストメディア（シルクスクリーン、ニス）
 「プロペラ」2006年／紙、ミクストメディア（シルクスクリーン、ニス）
 「ブルーウィロー」2006年／紙、ミクストメディア（シルクスクリーン、ニス）
 「エスケイア」1991年／紙、シルクスクリーン
 「スモモ」1991年／紙、シルクスクリーン
 「サーフィン」2006年／紙、ミクストメディア（シルクスクリーン、ニス）
 「東京タワー」2006年／紙、ミクストメディア（シルクスクリーン、ニス）
 「口笛のきこえる」1985年初出・2016年復刻／紙、ジクレー版画
 「口笛のきこえる」原画／1985年／紙、透明フィルム、カラー
 トーン
 「花とナンシー」1991年／紙、シルクスクリーン
 タイトル・制作年不明／紙、シルクスクリーン
 「紀文のおいしいイラスト」展出品作／1978年初出・2016年復刻／3点／紙、ジクレー
 版画
 「夏の闇」1986年初出・2016年復刻／紙、ジクレー版画
 「ニュースと時報」1986年初出・2016年復刻／紙、ジクレー版画
 展覧会出品作 1983年初出・2016年復刻／紙、ジクレー版画
 タイトル不明 制作年不明・2016年復刻／紙、ジクレー版画
 「レストランの読書」1984年初出・2016年復刻／紙、ジクレー版画
 GREEN 展出品作「チューリップ」「スパティフィラム」「白いつばみ」「タンポポ」「ふき」2000年／紙、シルクスクリーン
 「東京クリスマス」展出品作／2002年／原画 2点／キャンバス、アクリル
 絵具
 「東京クリスマス」展出品作／2002年／6点／紙、シルクスクリーン
 物語とブルースケッチ展出品作「草原」1993年「遠景（海辺）」「道」2010年／原画／紙、インク
 ブルースケッチ3展出品作「ゴンドラ」「造船所」「橋と階段」2012年／原画／紙、インク
 タイトル・制作年不明／原画／紙、インク
 「LOVE STORY」展出品作／1993年／原画 5点／紙、色鉛筆
 「絵とコトバ三人展」展出品作／2008年／2点／紙、ジクレー版画
 「VIEW」展出品作「道と木と町」・タイトル不明 4点／1988年／紙、シルクスクリーン
 タイトル不明／1994年頃初出・2016年復刻／紙、ジクレー版画
 タイトル不明／1998年／原画／紙、インク、透明フィルム、カラー
 トーン
 「サボテンの花」2006年／原画／紙、ミクストメディア（シルクスクリーン、ニス）
 「消えた月」1998年／原画／紙、インク、透明フィルム、カラー
 トーン
 「ぼくの骨」1998年／原画／紙、インク、透明フィルム、カラー
 トーン
 「十五歳のボート」1992年／原画／紙、インク、透明フィルム、カラー
 トーン
 タイトル不明 制作年不明／原画／紙、インク、透明フィルム、カラー
 トーン
 「1995年2月零時42分」1995年初出・2016年復刻／紙、ジクレー
 版画
 タイトル・制作年不明／紙、シルクスクリーン
 「リトルプリンス」2006年／紙、ミクストメディア（シルクスクリーン、ニス）
 タイトル不明／1994年／紙、シルクスクリーン
 イラストレーション4展出品作 INTERIOR シリーズ／1993年／原画
 6点／紙、インク、透明フィルム、カラー
 トーン
 二色展出品作「パパイヤ」、タイトル不明／1987年／7点／紙、シルク
 スクリーン
 「風の音」2013年／紙、ミクストメディア（シルクスクリーン、ニス）
 「雨の音」2013年／紙、ミクストメディア（シルクスクリーン、ニス）
 「夜の音」2013年／紙、ミクストメディア（シルクスクリーン、ニス）

(4) 土に挑む—走泥社の作家たち



A4 チラシ

会期：平成30年9月15日(土)～10月14日(日)

分野：工芸

展示数：40点

観覧料：一般・大学生600(500)円、高校生300(250)円、小・中学生200(150)円 * ()内は20名以上の団体料金

観覧者数：1,561名

担当：白木ゆう美、荒木康子

主催：福島県立美術館

関連事業：

- ・担当学芸員によるギャラリートーク

日時：9月22日(土)

講師：白木ゆう美(当館学芸員)

参加者：15名

- ・創作プログラム「土とあそぼう！」

日時：10月6日(土)

講師：安藤郁子氏(陶芸家、秋田公立美術大学准教授)

参加者：7名

- ・創作プログラム「土に触れる ところに触れる」

日時：10月7日(日)

講師：安藤郁子氏(陶芸家、秋田公立美術大学准教授)

参加者：10名

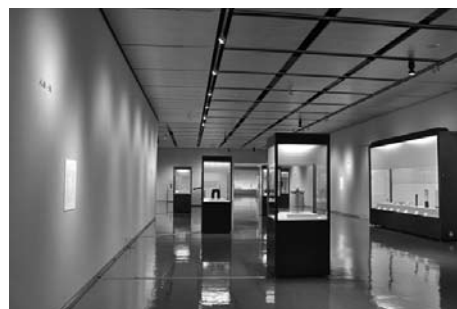
概要：

走泥社は、戦後、日本の陶芸界に新風を巻き起こした前衛陶芸家集団。八木一夫(1918-1979)、山田光(1923-2001)、鈴木治(1926-2001)ら京都の若手陶芸家たちによって1948年に結成された。焼き物の伝統が根強い土地で、彼らは従来の枠組や形式にとらわれない“土”による新しい表現を模索し、器としての用途をもたない、造形性を追求したやきものを数多く生み出した。

この展覧会では、当館が所蔵する山田光、鈴木治作品の他、走泥社を牽引した八木一夫の作品を40点の作品により紹介した。工芸の企画展は約10年ぶりの開催であり、当館の工芸コレクションをまとめて紹介する機会となった。



展示風景(八木一夫)



展示風景(山田光)



展示風景(鈴木治)



ギャラリートーク(9/22)

◆出品リスト：

[No./作品名/制作年/サイズ (cm) /素材/所蔵]

八木一夫 (1918-1979)

- 1 / 曲 / 1964 / 33.5 × 28.0 × 13.5 / 黒陶 / 岐阜県現代陶芸美術館
 2 / 陶筒 行進 / 1968 / 51.8 × 11.2 × 11.2 / 陶土 / 岐阜県現代陶芸美術館
 3 / 陶筒 鳥雲に入る / 1968 / 52.5 × 11.0 × 11.0 / 陶土 / 岐阜県現代陶芸美術館
 4 / 頁1 / 1971 / 14.5 × 23.0 × 16.0 / 陶土 / 岐阜県現代陶芸美術館
 5 / 牛 / 1972 / 9.8 × 9.5 × 19.5 / 陶土 / 個人蔵
 6 / 壺 / 1972 / 10.5 × 15.0 × 14.8 / 陶土 / 岐阜県現代陶芸美術館 (高島コレクション)
 7 / 虎 / 1973 / 22.4 × 8.0 × 9.6 / 陶土 / 個人蔵
 8 / 朧萩茶盃 / 1976 / 9.5 × 12.5 × 12.0 / 陶土 / 個人蔵
 9 / 南蛮手花筒 / 不詳 / 35.0 × 7.0 × 6.8 / 陶土 / 岐阜県現代陶芸美術館 (高島コレクション)

山田光 (1923-2001)

- 10 / 白化粧線彫花器 / 1951 / 25.0 × 17.0 × 17.0 / 陶土 / 岐阜県現代陶芸美術館
 11 / 切った壺 / 1953 / 42.0 × 10.0 × 10.0 / 陶土 / 岐阜県現代陶芸美術館
 12 / 作品 / 1953 / 22.0 × 32.0 × 11.0 / 陶土 / 岐阜県現代陶芸美術館
 13 / 白釉食器一式 / 1959-69 (デザイン) / 磁土・白釉 (23点組) / 岐阜県現代陶芸美術館
 1 / 土瓶 (大) / 13.7 × 16.5 × 13.0
 2 / 土瓶 (中) / 12.0 × 16.0 × 12.5
 3 / 土瓶 (小) / 9.8 × 12.5 × 10.5
 4 / 杯 5点 / 各 3.0 × 5.5 × 5.5
 5 / 汲出 5点 / 各 5.7 × 7.4 × 7.4
 6 / 小皿 4点 / 各 3.1 × 11.1 × 11.1
 7 / 急須 / 10.0 × 15.0 × 14.5
 8 / 徳利 2点 / 各 12.2 × 7.0 × 7.0
 9 / 灰皿 (黄) / 6.5 × 10.0 × 10.5
 10 / 灰皿 (青) / 6.5 × 10.0 × 10.5
 11 / ボウル / 9.2 × 16.8 × 16.8
 14 / 塔 / 1960頃 / 61.0 × 17.5 × 18.0 / 陶土 / 岐阜県現代陶芸美術館
 15 / 作品 / 1966 / 36.0 × 44.5 × 6.0 / 陶土 / 福島県立美術館
 16 / 白の間隙 / 1971 / 45.0 × 37.0 × 12.0 / 陶土 / 福島県立美術館
 17 / オリーブ釉籠花生 / 1974 / 35.8 × 13.2 × 4.8 / 陶土 / 岐阜県現代陶芸美術館 (高島コレクション)
 18 / 1の周辺 / 1976 / 40.0 × 34.5 × 6.0 / 陶土 / 岐阜県現代陶芸美術館 (高島コレクション)
 19 / 離反する壺 / 1976 / 32.0 × 28.5 × 25.0 / 陶土 / 岐阜県現代陶芸美術館
 20 / 白い窓 / 1980頃 / 26.1 × 27.0 × 0.8 / 磁土、アクリル / 岐阜県現代陶芸美術館 (高島コレクション)
 21 / 黒陶 陶面の中のパイプ / 1981 / 61.0 × 25.0 × 9.0 / 黒陶、磁土 / 福島県立美術館
 22 / 黒陶と金彩の窓 / 1981 / 40.0 × 31.0 × 7.5 / 黒陶・金彩 / 福

島県立美術館

- 23 / 黒陶 数字と窓 / 1984 / 19.0 × 85.0 × 9.0 / 黒陶 / 福島県立美術館
 24 / 黒陶 スクリーン / 1984 / 60.0 × 36.0 × 8.0 / 黒陶 / 岐阜県現代陶芸美術館 (高島コレクション)
 25 / 飴釉茶盃 / 1988 / 7.2 × 14.1 × 12.0 / 陶土 / 個人蔵
 26 / 銀泥 陶壁 / 1991 / 42.0 × 60.0 × 8.0 / 陶・銀泥 / 福島県立美術館
 27 / 銀泥 楕円のパイプ / 1995 / 61.2 × 41.2 × 5.6 / 陶、ステンレス・銀泥 / 福島県立美術館

鈴木治 (1926-2001)

- 28 / 数の土面 / 1963 / 44.5 × 42.5 × 13.5 / 陶土 / 福島県立美術館
 29 / 泥像 / 1965 / 46.5 × 42.8 × 14.3 / 陶土 / 福島県立美術館
 30 / 青のある花入 / 1969 / 23.5 × 11.5 × 12.0 / 陶土 / 個人蔵
 31 / 黒釉花生 / 1969 / 18.7 × 19.3 × 19.0 / 陶土・黒釉 / 岐阜県現代陶芸美術館 (高島コレクション)
 32 / 天馬横轉 / 1973 / 16.5 × 20.5 × 12.8 / 青白磁 / 岐阜県現代陶芸美術館
 33 / 馬形 / 1982 / 87.0 × 35.5 × 15.8 / 陶土 / 福島県立美術館
 34 / 行人 / 1984 / 73.0 × 33.2 × 15.4 / 陶土 / 岐阜県現代陶芸美術館 (高島コレクション)
 35 / 掌上泥象三十八景 / 1987 原型制作・2000 焼成 / 陶土 (38点組) / 福島県立美術館
 1 / 午後ノ太陽 / 12.7 × 5.0 × 6.0
 2 / 雲ノすき間 / 8.2 × 7.2 × 2.1
 3 / 太陽のブランコ / 6.3 × 13.4 × 1.2
 4 / 太陽の懸橋 / 6.2 × 13.4 × 2.1
 5 / 春の雲 / 6.9 × 13.1 × 2.4
 6 / 雲ノ化石 / 10.6 × 7.2 × 2.7
 7 / 流れ雲 / 8.3 × 7.7 × 1.9
 8 / 天に向う雲 / 11.0 × 6.7 × 1.6
 9 / ふくらむ雲 / 11.3 × 7.5 × 2.0
 10 / 風ノ通い路 / 10.9 × 7.0 × 1.7
 11 / 雲ノ鏡 / 8.5 × 10.6 × 3.5
 12 / 太陽のシグナル / 11.8 × 10.3 × 4.4
 13 / 重い雲 / 6.7 × 10.4 × 2.3
 14 / 消えた雲 / 9.4 × 7.8 × 2.1
 15 / 太陽ノ道 / 8.0 × 12.1 × 4.2
 16 / 雲ノ帽子 / 7.7 × 8.4 × 2.2
 17 / 赤い月 / 9.3 × 8.0 × 3.5
 18 / 雲ノ肖像 / 10.2 × 6.2 × 1.6
 19 / 雲ノ表裏 / 9.8 × 6.6 × 2.1
 20 / 雲ノ翳 / 10.0 × 7.0 × 2.0
 21 / 夏ノ雲 / 9.2 × 7.5 × 2.0
 22 / 風ノ道 / 10.6 × 6.0 × 2.0
 23 / 雲ノ区域 / 11.2 × 6.6 × 3.3
 24 / 雲ノ投影 / 7.8 × 9.0 × 2.1
 25 / 朱夏ノ月 / 8.8 × 8.1 × 2.4
 26 / 山の上にかかる高い雲 / 10.8 × 8.3 × 4.3
 27 / 風ノ十字路 / 8.7 × 7.9 × 1.8
 28 / 太陽ノ椅子 / 7.7 × 9.9 × 2.3
 29 / 風のカーテン / 7.2 × 11.0 × 4.2

- 30 / 山の上にかかる雲 / 8.7 × 11.1 × 4.2
31 / ゆれる雲 / 8.4 × 9.5 × 2.4
32 / 風ノ家 / 7.8 × 9.0 × 2.1
33 / 太陽ノ信号 / 11.4 × 10.5 × 4.6
34 / 天に到る雲 / 9.8 × 9.5 × 4.2
35 / 雲ノ手袋 / 9.3 × 8.1 × 2.0
36 / 装飾的な雲 / 7.3 × 11.0 × 2.3
37 / 雲ノ情景 / 7.3 × 10.0 × 3.5
38 / 朱夏ノ雲 / 6.9 × 9.7 × 2.3
- 36 / 鷹 / 1990 / 174.0 × 28.5 × 35.2 / 陶土 / 福島県立美術館
37 / 連歌 / 1991 / 69.0 × 27.0 × 22.0, 68.0 × 16.5 × 31.0, 63.5
× 21.0 × 23.0 / 陶土 (3点組) / 福島県立美術館
38 / 踊り子のような (泥象) / 1998 / 73.0 × 51.0 × 14.5 / 陶土 /
岐阜県現代陶芸美術館 (高島コレクション)

参考出品

- 1 / 寄七盃 (40周年) / 安藤光一、伊藤均、勝野博邦、金ヶ江和隆、川上力三、河島浩三、近藤清次、鈴木治、辻勘之、鳥羽克昌、中西庸介、林秀行、人見政次、藤野昭、前田勝代、緑川宏樹、宮永理吉、森一蔵、山田光、吉竹弘、寄神宗美 / 1988 / 陶土、磁土ほか / 個人蔵
- 2 / 寄七盃 (50周年) / 安藤光一、伊藤均、井上翠、小野司、小野坂睦、勝野博邦、門脇文雄、金ヶ江和隆、川上力三、川路康典、川村紗智子、鈴木治、辻勘之、鳥羽克昌、豊山アキヒロ、友成潔、中西庸介、林秀行、人見政次、藤野昭、前田勝代、益田芳徳、松本尚、宮永理吉、森一蔵、山田光、吉竹弘、寄神宗美 / 1998 / 陶土、磁土、ガラスほか / 個人蔵

(5) 生誕 130 年 佐藤朝山（玄々）展



A4 チラシ

会期：平成 30 年 10 月 27 日(土)～ 12 月 16 日(日)

分野：彫刻

展示数：164 点

観覧料：無料

観覧者数：5,230 名

担当：増渕鏡子、坂本篤史

主催：福島県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

協力：日本通運

助成：一般財団法人地域創造、公益財団法人ポーラ美術振興財団

関連事業：

- ・国際シンポジウム「佐藤朝山とパリ」

日時：11 月 23 日(金)

パネリスト：

アレクサンドロ・ガリッキオ氏 (ポンピドーセンター研究員)

アメリー・シミエ氏 (ブルデル美術館長)

田中修二氏 (大分大学教授)

藤井 明氏 (小平市平櫛田中彫刻美術館学芸員)

増渕鏡子 (当館専門学芸員)

司会：坂本篤史 (当館副主任学芸員)

会場：当館講堂 参加者：約 100 名

- ・担当学芸員によるギャラリートーク

日時：11 月 10 日(土)、12 月 1 日(土)

講師：増渕鏡子 (当館専門学芸員) * 11/10

坂本篤史 (当館副主任学芸員) * 12/1

参加者：各 20 名

- ・創作プログラム「木彫の鑑賞と制作～佐藤玄々の動物彫刻をたよりに」

日時：11 月 4 日(日)、11 日(日)、18 日(日)、25 日(日) * 4 回連続

講師：黒沼 令氏 (郡山女子短期大学講師)

参加者：12 名

- ・創作プログラム「手のりの動物をつくろう」

日時：12 月 2 日(日)

講師：大北 孝 (当館主任学芸員)、白木ゆう美 (当館学芸員)

参加者：2 名

概要：

福島県相馬市出身で、大正期から昭和戦後期に活躍した木彫作家・佐藤玄々（朝山）の大規模回顧展。県内では初めての開催となる。近代彫刻史は近年見直しが進んでいる分野であり、木彫の代表的作家である玄々をあらためて美術史の中に位置づけるものである。作家を生み出した地域性にも着目、相馬市・南相馬市等と協力して調査研究をすすめ、地元の文化資源の掘り起こしをはかった。

佐藤玄々の作品 100 点余を効果的に展示することができ、「天女像」の 3D 映像展示、参考史料等も多数紹介できた。木彫のワークショップ、国際シンポジウムの開催を合わせて、多方面からの参加があった。

県内外での反響は大きく、雑誌、テレビ等で取り上げられることで話題性を高めることができた。来館者アンケート結果によると、「たいへんよい」「よい」を合わせて 98%を超えた。



展示風景



国際シンポジウム (11/23)



ギャラリートーク (11/10)

◆出品リスト：

[No./作品名/制作年/サイズ(縦×横×高 cm)/材質・技法/所蔵先/備考(出品歴など)]

I 修業時代(清蔵)

1/画稿/1904年/24.5×212.0/紙本墨画、画卷装/相馬市歴史資料収蔵館

2/画稿類一括13点/1900年代/紙、墨/福島県立美術館寄託

3/出山釈迦図/1900年代/82.9×26.8/紙、墨、軸/福島県立美術館寄託

4/達磨図/1900年代/78.8×26.9/紙、墨、軸/福島県立美術館寄託

5/中国人物像/1905年頃/42.2×19.5×17.2/木彫彩色/福島県立美術館寄託

6/達磨/1905年頃/33.0×19.0×11.5/木彫/個人蔵

7/兎(裏面鶏)/1905年/15.5×15.5×2.0/木彫浮彫/相馬市歴史資料収蔵館

II 大正期 留学まで(朝山)

8/永遠の道(問答)/1913年/62.7×33.5×28.5/木彫/個人蔵/第51回日本美術協会展

9/南洋人物像/1910年代/48.5×25.0×27.0/木彫彩色/福島県立美術館(横井美恵子コレクション)

10/禮酪/1914年/43.3×24.0×25.0/木彫/個人蔵/第1回院展

11/密教徒(婆羅門僧像)/1914年/64.8×23.2×18.5/木彫彩色/東京国立博物館/東京大正博覧会

12/富田高慶像/1922年/30.5×26.1×23.6/木彫、厨子/南相馬市博物館

13/原田恭平(聚文)像/1915年・鑄造1993年/33.0×16.8×30.3/ブロンズ/礫山美術館

14/沙俱牟多羅姫と随遮牟陀王/1915年/157.0×110.0×86.8/木彫/東京国立博物館/第2回院展

15/女神/1910年代/30.5×23.5×21.5/木彫彩色/高島屋史料館

16/花林/1916年/49.7×14.5×16.5/木彫彩色/福島県立美術館寄託

17/春/1917年/29.5×28.5×18.5/木彫彩色/福島県立美術館(横井美恵子コレクション)

18/上宮太子(聖徳太子像)/1919年/63.0×33.0×27.5/木彫彩色/東京国立博物館/第6回院展

19/西王母/1922年頃/61.5×30.0×17.5/木彫彩色/高島屋史料館/平和祈念東京博覧会(1922年)出品か

20/閑来試作/1920年頃/13.3×26.9×12.6(台座のぞく)/石膏か/福島県立美術館寄託

21/蘇東坡/1920年頃/33.2×21.5×15.1/木彫/個人蔵

22/如来像/1920年頃/45.0×11.6×10.4/木彫/福島県立美術館

23/巢鶏/1920年頃/18.0×17.5×21.5/木彫彩色/東京藝術大学大学美術館

24/巢鶏/1920年頃/18.5×25.0×18.5/木彫彩色/福島県立美術館(横井美恵子コレクション)

25/鹿/1920年代/9.5×14.5×7.0(各)/木彫彩色/個人蔵

26/林和靖/1921年頃/22.0×24.3×16.0/木彫/個人蔵

27/高砂/1920年代/19.5×10.5×8.0(左)、20.0×11.0×8.0(右)

/木彫/個人蔵

28/影/1924年/20.3×19.3/紙・木版、額装/個人蔵

29/女性像/1923-24年頃/42.0×16.0×15.0/ブロンズ/個人蔵

30/達磨/1924年頃/43.5×15.0×8.5/ブロンズ/個人蔵

III 昭和初期(朝山)

31/牛/1926年頃/20.5×27.0×13.0/木彫/福島県立美術館(横井美恵子コレクション)/第13回院展出品か

32/牛/1926年頃/21.0×29.3×12.5/木彫/東京藝術大学大学美術館/第13回院展出品作と同型

33/哺乳牛/1926年頃/33.2×50.5×15.8/木彫/山形美術館寄託/第13回院展出品作と同型

34/観音像/1920年代/56.5×16.2×14.7/木彫彩色/個人蔵

35/画家之像/1927年/41.5×32.0×26.5/ブロンズ/礫山美術館/第14回院展

36/田中氏像/1928年/H35.5/ブロンズ/東京藝術大学大学美術館/第15回院展

37/冬眠/1928年/10.5×22.3×25.0/木彫/福島県立美術館(横井美恵子コレクション)/第15回院展

38/鳩巢/1928年/11.3×32.3×22.5/木心乾漆/個人蔵/第15回院展

39/牝猫/1928年/37.5×43.0×13.5/木彫/個人蔵/第15回院展

40/動/1929年/43.5×98.0×23.0/木彫/東京国立近代美術館/第16回院展《猫》

41/鳩の子/1928年頃/8.0×14.5×9.0/木彫彩色/山形美術館寄託/第15回院展《銀鳩の子》と同型

42/子鳩/1947年以降/6.2×12.2×6.3/木彫/福島県立美術館(横井美恵子コレクション)/第15回院展《銀鳩の子》と同型

43/鶴の香合/1930年代/3.9×4.5×10.5/木彫彩色/東京藝術大学大学美術館

44/鶴/1947年以降/22.0×8.0×4.0/木彫彩色/福島県立美術館(横井美恵子コレクション)

45/筍/1929年頃/13.2×35.5×15.7/木彫彩色/個人蔵/第16回院展《筍》、東京府美術館開館10周年記念現代総合美術展覧会と同型

46/筍/1929年頃/13.0×35.5×15.5/木彫/個人蔵/第16回院展《筍》、東京府美術館開館10周年記念現代総合美術展覧会と同型

47/蜥蜴/1940年代/5.0×37.8×3.8/木彫彩色/個人蔵/第16回院展

48/子/1930年頃/3.9×18.9×5.9/木彫/個人蔵/第17回院展出品作と同型

49/子/1930年頃/4.2×18.3×4.6/木彫/山形美術館寄託/第17回院展出品作と同型

50/鼠/1930年頃/6.0×18.4×7.0/木彫/福島県立美術館/第17回院展出品作と同型

51/鼠/1930年頃/3.8×18.1×4.7/木彫/個人蔵/第17回院展出品作と同型

52/鼠 素描/1930年頃/30.6×65.7/紙、墨/個人蔵

53/白菜/1931年/16.0×26.2×17.6/木彫彩色/個人蔵/第18回院展、東京府美術館開館10周年記念現代総合美術展覧会

54/鷹(飛)/1931年/19.0×64.0×26.5/木彫彩色/横山大観記念館

- 55 / 鷹(飛)習作 / 1931年 / 18.9 × 63.0 × 27.0 / 木彫 / 東京藝術大学大学美術館
- 56 / 隼 / 1930年代 / 彩色 1950-60年代 / 27.5 × 45.5 × 17.5 / 木彫彩色 / 山形美術館寄託
- 57 / 銀鳩 / 1931年頃 / 23.3 × 28.8 × 8.2 / 木彫彩色 / 個人蔵
- 58 / 銀鳩 / 1931年頃 / 21.0 × 28.5 / 木彫 / 個人蔵
- 59 / 鳩 / 1931年頃 / 27.8 × 22.0 × 10.0 / 木彫 / 福島県立美術館(横井美恵子コレクション) / 第18回院展出品作と同型
- 60 / 鹿 / 1931年頃 / 46.0 × 29.0 × 10.5 / 木彫 / 福島県立美術館(横井美恵子コレクション) / 第18回院展出品作《麋》と同型
- 61 / 鹿 / 1940年代 / 46.5 × 29.2 × 10.0 / 木彫 / 個人蔵 / 第18回院展出品作《麋》と同型
- 62 / 鹿 / 1930年代 / 42.0 × 20.0 × 9.0 / 木彫 / 山形美術館寄託
- 63 / 青鳩 / 1933年頃 / 19.0 × 35.3 × 11.0 / 木彫彩色 / 福島県立美術館(河野保雄コレクション) / 第1回清光会展出品作と同型
- 64 / 鷹 / 1934年 / 20.4 × 10.4 × 0.3 / 銀浮彫 / 東京藝術大学大学美術館
- IV 昭和戦中戦後(清蔵)
- 65 / 和気清麻呂像(習作) / 1940年 / 5.0 × 16.0 × 5.0 / 木彫 / 相馬市歴史資料収蔵館
- 66 / 和気清麻呂像(習作) / 1940年 / 50.5 × 15.8 × 18.7 / 木彫彩色 / 個人蔵
- 67 / 和気清麻呂像の太刀(原型) / 1950年代 / 48.0 × 4.5 × 1.5(各) / 石膏 / 妙心寺大心院
- 68 / 八咫鳥図 / 1940年 / 46.5 × 98.5 / 紙本着色、軸 / 個人蔵
- 69 / 二宮尊徳像 / 1941年 / 26.0 × 19.0 × 15.0 / 石膏着色 / 相馬市歴史資料収蔵館
- 70 / 不動明王 / 1944年 / 32.4 × 44.0 / 紙本墨画淡彩 / 個人蔵
- 71 / 不動三尊 / 1940年代 / 27.3 × 39.2(中)、27.4 × 39.4(左)、27.3 × 39.2(右) / 紙本墨画、軸(三幅対) / 個人蔵
- 72 / 不動明王 / 1946年頃 / 60.2 × 88.5 / 紙本墨画淡彩、軸 / 福島県立美術館
- 73 / 馬頭観音 / 1945年頃 / 24.4 × 34.9 / 紙本墨画淡彩、軸 / 相馬市歴史資料収蔵館
- 74 / 文殊菩薩 / 1940年代 / 43.2 × 43.9 / 絹本着色 / 個人蔵
- 75 / 神狗 / 1945年 / 69.2 × 45.9 / 紙本墨画淡彩、軸 / 相馬市歴史資料収蔵館
- 76 / 神狗 / 1940-50年代 / 132.0 × 69.5 × 141.0 / 木彫彩色 / 妙心寺大心院
- 77 / 神狗 / 1957年 / 鑄造 1974年 / 132.5 × 70.3 × 138.2 / ブロンズ / 福島県立美術館
- 78 / 神狗 / 1950年頃 / 33.4 × 31.7 × 14.7 / 木彫彩色 / 熱田神宮
- 79 / 陶仏頭(原型) / 1945年 / 28.8 × 26.0 × 18.4 / 石膏 / 相馬市歴史資料収蔵館
- 80 / 陶仏頭 / 1945年 / 26.0 × 23.3 × 16.5 / 陶製 / 福島県立美術館(横井美恵子コレクション)
- 81 / 諸葛孔明図 / 1947年 / 138.0 × 50.8 / 紙本墨画、軸 / 福島県立美術館(横井美恵子コレクション)
- 82 / 猫 / 1947年頃 / 47.0 × 55.4 / 紙本墨画淡彩、軸 / 福島県立美術館
- V 《天女(まごころ)像》(玄々)
- 83 / 山兎 / 1951年頃 / 13.0 × 22.0 × 12.6 / 木彫彩色 / 福島県立美術館

- 84 / 観音 / 1949年 / 28.0 × 66.7 / 紙本墨画淡彩、軸 / 葉師寺
- 85 / 大黒天 / 1949年 / 29.0 × 68.5 / 紙本墨画淡彩、軸 / 葉師寺
- 87 / 麝香猫 / 1954年・鑄造 1974年 / 87.5 × 42.0 × 31.0 / ブロンズ / 福島県立美術館
- 88 / 山風 / 1947年以降 / 41.5 × 50.8 × 11.0 / 木彫彩色 / 福島県立美術館(横井美恵子コレクション)
- 89 / 栗鼠 / 1952年頃 / 59.0 × 16.0 × 21.0 / 木彫彩色 / ウッドワン美術館 / 日本現代美術展出品か
- 90 / 聖大黒天 / 1940年代 / 20.5 × 16.0 × 14.5 / 木彫彩色 / 個人蔵
- 91 / 大黒天像 / 1950年代 / 22.5 × 18.5 × 16.5 / 木彫彩色 / 妙心寺大心院
- 93 / 天女(まごころ)像(習作) / 1950年代 / 95.5 × 83.5 × 30.0 / 木彫 / 妙心寺大心院
- 94 / 技芸天胸像(天女(まごころ)像 習作) / 1950年代 / 30.9 × 24.1 × 17.8 / 木彫、石膏 / 相馬市歴史資料収蔵館
- 95 / 天女(まごころ)像試作(手) / 1950年代 / 21.5 × 10.0 × 12.0 / 木彫彩色 / 妙心寺大心院
- 96 / 天女(まごころ)像試作(小台座・小蓮弁) / 1950年代 / 13.0-37.0 / 木彫 / 相馬市歴史資料収蔵館
- 97 / 天女(まごころ)像木彫(花卉原型一部) / 1950年代 / 76.0 × 86.0 × 48.0 / 木彫 / 株式会社三越伊勢丹
- 98 / 天女(まごころ)像木彫(台座原型一部) / 1950年代 / 64.0 × 28.5 × 12.0 / 木彫 / 株式会社三越伊勢丹
- 99 / 天女(まごころ)像木彫(彩色蓮弁) / 1950年代 / 110.0 × 98.0 × 50.0 / 木彫彩色、樹脂 / 株式会社三越伊勢丹
- 100 / 天女伎芸天女持物(木彫玉盤の上に捧げられた天花) / 1950年代 / 64.0 × 64.0 × 64.0 / 木彫彩色、樹脂 / 株式会社三越伊勢丹
- 101 / 天女(まごころ)像木彫(裝飾腕(拈華)) / 1950年代 / 116.5 × 47.0 × 25.0 / 木彫彩色 / 株式会社三越伊勢丹
- 102 / 雲(原型) / 1950年代 / 63.5 × 26.0 × 7.0 / 石膏 / 妙心寺大心院
- 103 / 宇迦御魂命像 / 1962年 / 26.8 × 23.3 × 15.4 / 木彫彩色 / 個人蔵

* No. 86、92 は不出品。



エントランスホール風景

(4) Gallery F 2019 コレクション再発見

[1] 福陽美術会 100年

[2] アートカード★チャレンジ



A4 チラシ

会期：平成 31 年 2 月 9 日(土)～ 3 月 10 日(日)

分野：絵画、版画、立体、資料

展示数：116 点

観覧料：無料

観覧者数：1,973 名

担当：[1] 堀 宜雄

[2] 白木ゆう美、大北 孝

主催：被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会
平成 30 年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

関連事業：

- 担当学芸員によるギャラリートーク
日時：2 月 10 日(日)
講師：堀 宜雄（当館専門学芸員）
参加者：15 名
- 福島東高校生徒によるギャラリートーク
日時：2 月 24 日(日)
発表：福島県立福島東高等学校美術部
参加者：20 名
- ギャラリー対談「東北の日本画家群像－秋田と福島を中心に－」
日時：3 月 2 日(土)
講師：山本丈志氏（秋田県文化振興課学芸員）、
堀 宜雄（当館専門学芸員）
参加者：30 名
- 創作プログラム「すきなもので自分の顔をかいてみよう！」
日時：3 月 3 日(日)
講師：坂内直美氏（画家、女子美術大学芸術学部美術学科洋画
科専攻助手）
参加者：10 名

概要：

「Gallery F」とは、当館のコレクションの中から、今まで紹介できなかった作品や新収蔵・寄託作品を取り上げ、あるいはテー

マを絞って掘り下げる小さな展覧会を意味する。3 回目の今年は日本画と、アートカードを使ったコレクション再発見の試み。

[1]「福陽美術会 100 年」では、1919(大正 8)年に福島出身の日本画家が結集した福陽美術会という団体について、その魅力と特色を、資料を含め約 70 点により紹介した。

[2]「アートカード★チャレンジ」では、福島県立福島東高等学校の生徒たちが、鑑賞教材アートカードを使って考えた「愛のかたちと家族のかたち」展を、実際に当館のコレクションを展示して再現した。

◆出品リスト：

(1)「福陽美術会 100 年」

[No./作家名/作品名/小タイトル/制作年/画面寸法/材質・技法/備考]

- 1 / 勝田蕉琴/美人図 / 1899(明治 32) 頃 / 99.7 × 34.0 / 紙本著色、軸
- 2 / 勝田蕉琴/出城釈迦図 / 1907(明治 40) / 98.4 × 66.8 / 絹本著色、軸
- 3 / 勝田蕉琴/花鳥屏風 / 1913(大正 2) 頃 / 169.0 × 175.0 / 絹本著色、屏風二曲一隻
- 4 / 勝田蕉琴/曾根つたひ / 1915(大正 4) / 各 177.2 × 175.6 / 紙本著色、屏風二曲一双/個人蔵
- 5 / 勝田蕉琴/安らかなる鳥の巣 / 1921(大正 10) / 各 169.0 × 169.5 / 絹本著色、屏風二曲一双
- 6 / 勝田蕉琴/煙る小雨 1922(大正 11) / 199.2 × 136.2 / 絹本著色
- 7 / 勝田蕉琴/霜眺 / 1927(昭和 2) / 122.6 × 173.9 / 絹本墨画淡彩、軸/寄託作品
- 8 / 勝田蕉琴/仔牛 / 1939(昭和 14) / 169.6 × 184.6 / 絹本著色
- 9 / 勝田蕉琴/インド画稿ほか/寄託作品
- 10 / 荻生天泉/古城之秋 / 1907(明治 40) / 109.7 × 40.5 / 絹本著色、軸
- 11 / 荻生天泉/子の日 / 1930(昭和 5) / 168.5 × 172.0 / 金地絹本著色、屏風二曲一隻
- 12 / 荻生天泉/花卉虫鳥類写生図巻 / 1921(大正 10) / 32.6 × 1486.3、32.4 × 1345.6 / 紙本著色、卷子装 (二巻)
- 13 / 荻生天泉/待宵 / 1939(昭和 14) / 172.6 × 86.9 / 絹本著色、軸
- 14 / 荻生天泉/霊夢 / 1941(昭和 16) / 195.4 × 143.9 / 絹本著色
- 15 / 荻生天泉/画稿、関連資料/画稿は永川富士子氏寄贈、関連資料、団扇は荻生禮子氏寄贈
- 16 / 角田磐谷/漢織呉織之図 / 1916(大正 5) / 各 152.1 × 344.8 / 絹本著色、屏風六曲一双
- 17 / 坂内青嵐/運動会之図 / 1915(大正 4) / 168.9 × 343.8 / 紙本著色、屏風六曲一隻
- 18 / 坂内青嵐/先覚照影 / 1925(大正 14) / 200.0 × 132.7 / 紙本著色、軸装
- 19 / 太田秋民/女 / 1932(昭和 7) / 188.0 × 140.0 / 絹本著色
- 20 / 太田秋民/唐美人図/不詳(明治末頃) / 171.4 × 66.3 / 絹本著色、軸
- 21 / 湯田玉水/夏山雨後図 / 1921(大正 10) / 133.8 × 41.1 / 絹本墨画淡彩、軸装 * 2/22 より展示
- 22 / 湯田玉水/春日遅々 / 1922(大正 11) / 195.5 × 95.7 / 絹本墨

- 画淡彩、軸装
- 23/湯田玉水/寒村暮雪/1926(大正15)-28(昭和3)/134.8×42.1/絹本墨画淡彩、軸装 *2/9~21 展示
- 24/湯田玉水/葡萄図/1928(昭和3)/133.0×42.3/絹本墨画淡彩、軸装
- 25/湯田玉水/霜風千林図/1926(大正15)/74.3×86.0/絹本墨画淡彩、軸装
- 26/湯田玉水/野塘青松図/1928(昭和3)/94.0×149.0/紙本墨画、軸装
- 27/猪卷清明/さかだち/1942(昭和17)/178.2×193.3/紙本著色、屏風二曲一隻
- 28/猪卷清明/はさみ将棋(大下絵)/1934(昭和9)/146.8×170.4/紙本著色、屏風二曲一隻
- 29/猪卷清明/湘南の浜/1931(昭和6)/58.3×63.1/紙本著色
- 30/猪卷清明/はさみ将棋/1934(昭和9)/143.0×172.0/紙本著色
- 31/酒井白澄/麦畑/1927(昭和2)/136.7×99.5/絹本著色
- 32/木下春/機織/1934(昭和9)/169.5×260.4/紙本著色、屏風二曲一隻
- 追加/酒井三良/雪に埋もれつつ正月はゆく/1919(大正8)/169.6×173.2/絹本著色、屏風二曲一隻
- 33/酒井三良/左義長/1920(大正9.5)/166.3×83.3/絹本著色、軸装
- 34/酒井三良/田園秋色図/1921-23(大正10-12)/142.1×50.6/絹本著色、軸装
- 35/酒井三良/村芝居/1921(大正10)/113.7×96.2/絹本著色、軸装
- 36/酒井三良/残秋/1933(昭和8)/63.8×83.3/紙本著色、軸装
- 37/酒井三良/冬暖/1936(昭和11)/各160×84/絹本著色(軸装双幅)
- 38/酒井三良/水郷の一日/1939(昭和14)/47.2×727.2/紙本墨画淡彩、卷子装
- 39/酒井三良/江南春色/1940(昭和15)/81.8×104.5/紙本墨画淡彩、軸装
- 40/須田善二/溪の葉月/1936(昭和11)/183.0×334.0/紙本著色、屏風四曲一隻/寄託作品
- 41/須田珙中/篝火/1959(昭和34)/171.2×343.3/紙本著色、屏風四曲一隻
- 42/須田珙中/枯山水石組/1956(昭和31)/233.2×206.0/紙本著色
- 43/角田磐谷/松川浦の夕月(新福島八景 一)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 44/角田磐谷/山本不動奥の院(同 二)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 45/角田磐谷/須賀川牡丹園(同 三)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 46/角田磐谷/原釜海水浴場(同 四)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 47/角田磐谷/雄国沼の夏(同 五)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 48/角田磐谷/矢祭山の晩秋(同 六)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 49/角田磐谷/白河南湖秋色(同 七)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 50/角田磐谷/岳温泉鏡沼(同 八)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 51/角田磐谷/水郷植田海岸(新福島十勝 一)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 52/角田磐谷/真野溪谷(同 二)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 53/角田磐谷/大滝根の残雪(同 三)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 54/角田磐谷/磐城舞子(同 四)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 55/角田磐谷/釣師浜の朝(同 五)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 56/角田磐谷/磐梯檜原湖の朝(同 六)/1948(昭和23)頃/50.9×56.9/絹本著色
- 57/角田磐谷/甲子温泉新緑(同 七)/1947(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 58/角田磐谷/雨の霞が城跡(同 八)/1948(昭和23)頃/50.9×56.9/絹本墨画
- 59/角田磐谷/柳津虚空蔵残雪(同 九)/1948(昭和23)頃/50.8×56.8/絹本著色
- 60/角田磐谷/信夫山の桜(同 十)/1948(昭和23)頃/50.8×56.9/絹本著色
- 61/角田磐谷/岩上双鳩の図/不詳/147.7×147.7/紙本著色、屏風二曲一隻
- 62/大山忠作/O先生/1946(昭和21)/209.8×152.4/紙本著色
- 63/大山忠作/岡潔先生像/1968(昭和43)/197.3×151.6/紙本著色
- 64/常盤大空/華巖/1967(昭和42)/214.1×166.1/紙本著色
- 65/松本榮/大王崎/1971(昭和46)/201.8×203.6/紙本著色
- 福陽美術会関連資料
- 66/染付水指/勝田蕉琴・荻生天泉・坂内青嵐・太田秋民 絵付け/1925(大正14).7/H18.0×径18.0/磁器/個人蔵
- 67/諸家/福陽美術会寄せ書き/1935(昭和10)/129.7×32.8/紙本著色、軸装/個人蔵
- 68/諸家/福陽美術会寄せ書き/1968(昭和43)/30.0×62.5/紙本著色/個人蔵
- 69/富田冬嶺/福陽美術会印/不詳/H5.9×W2.4×D2.4/印章
- 70/勝田蕉琴ほか/戯画/1925年か/紙本墨画/個人蔵



展示風景



ギャラリートーク (3/2)

(2)「アートカード★チャレンジ」

〈愛のかたちと家族のかたち〉

[No./作家名/タイトル/制作年/寸法 (cm) /材質・技法]

●母のぬくもり子の想い

- 1 /ヘンリー・ムーア/母と子:腕/ 1980 / H64.0 × W79.7 × D46.8 /ブロンズ
- 2 /菊地養之助/鍾馗面と母子/ 1982 / 100.0 × 80.3 /紙本着色
- 3 /菊地養之助/子守の少女/ 1948 / 85.0 × 75.0 /紙本着色
- 4 /大山忠作/母子像/ 1969 / 212.5 × 151.6 /紙本着色
- 5 /国吉康雄/婦人と子供/ 1920 / 101.7 × 61.0 /カンヴァス・油彩
- 6 /渡部菊二/母と子/ 1943 / 90.0 × 63.0 /紙・水彩
- 7 /関根正二/姉弟/ 1918 / 80.5 × 60.5 /カンヴァス・油彩
- 8 /佐藤二郎/母子像/ 1927 / 65.2 × 50.3 /カンヴァス・油彩
- 9 /恩地孝四郎/母と子/ 1917 / 29.0 × 24.3 /紙・木版
- 10 /恩地孝四郎/母と子/ 1917 / 22.5 × 21.5 /紙・木版
- 11 /小関庄太郎/競馬場にて/ 1940.10.27 / 19.6 × 19.2 /ゼラチン・シルバー・プリント
- 12 /野地正記/母と子達/ 1965 / 54.2 × 37.7 /紙・水彩
- 13 /ジョルジュ・ルオー/ミセレーレ (56) 高慢と無信仰のこの暗き時代に地の果てより聖母は見守る/ 1923 / 58.9 × 43.9 /紙・銅版
- 14 /ジョルジュ・ルオー/ミセレーレ (13) 愛すれば心嬉しきに/ 1923 / 57.2 × 41.2 /紙・銅版

●楽しかった思い出

- 15 /菊地養之助/煙突の下の子供達/ 1956 / 112.0 × 162.1 /紙本着色
- 16 /菊地養之助/お化け煙突/ 1956 / 60.5 × 72.7 /紙本着色
- 17 /谷内六郎/ままごとあそび/制作年不詳/ 24.0 × 27.2 /色紙・墨
- 18 /谷内六郎/自筆絵馬 雪ん子/ 1969 / 10.0 × 15.0 /板・油彩・水彩・墨
- 19 /松本 榮/チンドン屋/制作年不詳/ 17.0 × 13.0 /ガラス・油彩
- 20 /小関庄太郎/ふざけっこ/ 1960年代/ 35.5 × 36.8 /ゼラチン・シルバー・プリント
- 21 /小関庄太郎/雪の子供/ 1960年代/ 27.7 × 43.1 /ゼラチン・シルバー・プリント
- 22 /小関庄太郎/海辺小景/ 1937.8.5 / 24.9 × 30.0 /ゼラチン・シルバー・プリント
- 23 /佐藤 信/河原にて/ 1930年代/ 20.6 × 27.2 /ゼラチン・シルバー・プリント

●忘れられない景色

- 24 /福田豊四郎/春を待つ/ 1930 / 207.3 × 139.0 /絹本着色
- 25 /鈴木芳子/ある家族の肖像/ 1975 / 162.0 × 227.6 /紙本着色
- 26 /吉井 忠/街/ 1949 / 130.0 × 194.2 /カンヴァス・油彩
- 27 /渡部菊二/耕す家族/ 1941頃/ 65.8 × 89.0 /紙・水彩
- 28 /ポール・ゴーギャン/プルーターニュの子供/ 1889 / 26.3 × 38.2 /紙・水彩、パステル
- 29 /瀬戸正人/安達太良山/ 1985 (2014年プリント) / 31.1 × 45.7 /ゼラチン・シルバー・プリント
- 30 /小川千穂/[耕す人二人] / 1915年3月/ 30.2 × 22.8 /紙・水彩

- 31 / 小川千襲 / [山麓・農作業] / 不詳 / 29.2 × 24.3 / 紙・水彩
 32 / 小川千襲 / [田園春景] / 1915年3月 / 27.0 × 32.5 / 紙・水彩
 33 / 小川千襲 / [漁村風景(かごを背負う女性)] / 不詳 / 22.0 × 27.6 / 紙・水彩
 34 / 瀬戸正人 / 《バンコク、ハノイ》1982-1987 2王宮広場。祭の後。 / 1982-1987 (2010年プリント) / 59.0 × 49.0 / ゼラチン・シルバー・プリント
 35 / 瀬戸正人 / 国見町 / 1987 (2014年プリント) / 31.0 × 45.7 / ゼラチン・シルバー・プリント
 36 / 小関庄太郎 / 海辺夕景 / 1937.8.5 / 25.0 × 28.4 / ゼラチン・シルバー・プリント

●色いろな家族

- 37 / 秀島由己男 / 母と子〈その子輩はみなしごととなりその妻はやもめとなり〉 / 1989 / 23.1 × 7.3 / 紙・エッチング、アクアチント
 38 / 初山滋 / へんなぞう / 1964 / 16.5 × 11.2 / 紙・水彩
 39 / 清水崑 / かつばの親子 / 制作年不詳 / 27.0 × 24.2 / 色紙・水彩
 40 / 清水崑 / かつばの家族 / 制作年不詳 / 27.0 × 24.2 / 色紙・水彩
 41 / 斎藤清 / 競艶 / 1973 / 45.3 × 74.5 / 紙・木版
 42 / 桂 ゆき / 親亀の背中に子亀をのせて / 1970 / 130.3 × 89.2 / 板・油彩、コラージュ
 43 / 鎌田正蔵 / 大家族 (B) / 1979 / 162.4 × 130.7 / カンヴァス・アクリル
 44 / 鎌田正蔵 / 大家族 (A) / 1979 / 162.4 × 130.6 / カンヴァス・アクリル
 45 / 鎌田正蔵 / 小家族 (B) / 1981 / 194.0 × 130.2 / カンヴァス・アクリル
 46 / 鎌田正蔵 / 小家族 (A) / 1981 / 193.8 × 130.5 / カンヴァス・アクリル



展示風景



東高生観覧



ギャラリートーク (2/24)

(5) 東日本大震災復興祈念 伊藤若冲展



A4 チラシ

会期：平成31年3月26日(土)～5月6日(月祝)

分野：絵画

展示数：140点

観覧料：一般1,500(1,300)円、学生1,100(900)円、高校生以下無料 * ()内は前売および20名以上の団体料金

観覧者数：9,529名 (平成31年3月31日まで)

担当：荒木康子、紺野朋子、伊藤 匡

主催：東日本大再復興祈念「伊藤若冲展」実行委員会

[福島県、福島県教育委員会、福島県立美術館、福島民友新聞社、福島中央テレビ]

協賛：JAグループ福島、東北電力、郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部、福島トヨタ自動車、ベスト学院、東邦銀行、アサヒグループホールディングス、エフコム、アルファクラブ、リコージャパン

特別協力：公立大学法人福島県立医科大学、東日本旅客鉄道(株)

企画：Hata International

関連事業 (平成31年3月31日まで)：

- ・アオウゼ連携企画レクチャー「伊藤若冲の芸術と生涯」

日時：3月12日(火)

講師：伊藤 匡 (当館専門員) 参加者：50名

概要：

〈東日本大震災復興祈念〉と銘打って開催された、伊藤若冲の回顧展。本展は、京都国立博物館で「伊藤若冲展」を企画した狩野博幸氏の監修により、重要文化財の《蓮池図》、《果蔬涅槃図》をはじめ、水墨画を中心とした100点以上の作品で構成するほか、若冲作品が最も早い使用例とされる、プルシアン・ブルー (紺青) の絵具 (国重文) も参考展示した。



開会式、内覧会、レセプション (3/25)

◆企画展アンケート結果

アンケート記入方式：会期中毎日、展示室内に置かれたアンケートに観覧者が任意に記入。数値は%で示し、1%未満は四捨五入した。

展覧会名	長谷川利行展	ポーラ美術館コレクション	安西水丸展	土に挑む	佐藤玄々(朝山)展	Gallery F 2019
会期 (開催日数)	3/24～4/22 (26日間)	4/28～6/24 (51日間)	7/7～9/2 (50日間)	9/15～10/14 (26日間)	10/27～12/16 (44日間)	2/9～3/10 (26日間)
1-性別						
女性	57	63	65	56	57	36
男性	43	37	35	44	43	64
2-年齢						
10歳未満	1	5	8	5	2	4
10代	3	13	16	0	8	0
20代	1	8	9	14	6	4
30代	4	7	13	14	6	12
40代	8	13	15	10	8	24
50代	15	18	22	19	16	4
60代	35	21	12	24	27	16
70歳以上	33	15	5	14	27	36
3-居住地						
福島市	30	40	40	46	36	71
中通り (福島市以外)	20	31	22	12	5	0
会津	10	7	6	17	23	17
浜通り	6	7	5	0	15	0
県外	34	15	27	25	21	12
4-職業						
勤めている	26	45	48	50	34	40
自営	16	7	5	4	12	4
主婦・主夫	21	14	10	17	17	12
学生・児童	4	18	25	12	11	4
就労していない	22	14	10	13	23	40
その他	11	2	2	4	3	0
5-交通手段						
自家用車	57	69	67	59	70	63
公共交通機関	33	19	22	33	20	25
タクシー	1	1	0	0	0	4
自転車・徒歩	8	10	10	0	10	8
観光バス・ レンタカー	0	1	1	8	0	0
その他	1	0	0	0	0	0
6-来館人数						
1人	56	31	32	75	44	64
2人	35	41	38	21	39	36
3～5人	8	22	26	4	12	0
6～9人	0	2	4	0	1	0
10人以上	1	4	0	0	4	0
7-情報入手方法						
ポスター	18	20	23	19	16	15
チラシ	20	11	21	16	19	26
美術館ニュース	8	5	5	11	8	11
当館HP	11	3	8	19	7	7
HP(当館以外)	5	5	6	5	2	4
Facebook	0	1	1	0	0	0

展覧会名	長谷川利行展	ポーラ美術館コレクション	安西水丸展	土に挑む	佐藤玄々(朝山)展	Gallery F 2019
会期 (開催日数)	3/24～4/22 (26日間)	4/28～6/24 (51日間)	7/7～9/2 (50日間)	9/15～10/14 (26日間)	10/27～12/16 (44日間)	2/9～3/10 (26日間)
Twitter	0	1	1	3	0	4
Instagram	0	0	1	0	0	0
新聞	11	12	5	11	15	18
テレビ番組	4	10	1	5	6	4
テレビCM	2	15	3	0	2	0
ラジオ	2	3	1	0	1	0
人から聞いて	9	10	15	3	12	7
県政番組・ 広報誌等	0	1	1	0	2	0
雑誌・タウン誌	2	1	2	0	2	0
看板	2	1	4	0	2	4
割引券	0	0	0	0	2	0
その他	6	1	2	8	4	0
8- 展覧会の評価						
たいへんよい	71	61	74	46	80	65
よい	20	31	21	50	18	31
ふつう	7	7	4	4	2	4
あまりよくない	2	1	1	0	0	0
悪い	0	0	0	0	0	0
9- 利用回数						
はじめて	21	21	27	25	15	8
数年に1回	24	27	24	8	20	13
年に1～2回	23	35	28	8	31	33
年に3～5回	24	14	19	50	28	29
年に6～9回	6	2	2	9	5	17
年に10回以上	2	1	0	0	1	0
10- 展覧会以外の美術館利用						
講演会	9	10	15	18	15	19
鑑賞講座	7	13	11	9	12	12
創作プログラム・ ワークショップ	15	7	11	5	9	0
ギャラリートーク	5	6	10	9	8	12
コンサート	10	7	4	9	4	11
レストラン	19	30	22	18	28	31
庭園	8	24	23	23	20	15
その他	27	3	4	9	4	0
11- 今後開催を希望する展覧会						
日本画	18	21	13	11	22	17
洋画	20	11	7	12	11	8
海外の美術	21	25	16	15	17	17
版画	10	7	9	9	9	4
彫刻	4	8	7	9	13	10
工芸	5	7	7	16	11	12
書	5	5	3	5	4	10
写真	9	9	17	9	7	10
デザイン	6	6	19	11	5	12
その他	2	1	2	3	1	0

美術館観覧者数一覧表

平成30年度観覧者数一覧

平成31年3月31日現在(単位:人)

展覧会名	開催期間	個						人						料						観覧者総計		
		高校生		小・中学生		小計		高校生		小・中学生		小計		前券等		年間観覧券		有料合計			無料・招待等	
		一般・大学生	0	一般・大学生	0	2,710	353	2,710	353	385	0	385	1,442	0	1,442	0	0	0	4,505		2,313	6,818
第1期～第IV期	283日間	2,710	0	2,710	353	2,710	353	385	0	385	1,442	0	1,442	0	0	0	0	4,505	2,313	6,818		
移動美術館 ※合計に含めず 「橋本町コミュニティセンター」12/4～12	9日間																		231	231		
企画観覧券で常設展を観覧	通年																		27,199	27,199		
常設	通年																		91	91		
免除者(100/100)学校教育活動	通年																		32	32		
免除者(100/100)学校引率者	通年																					
免除者(50/100)県又は市町村主催	通年																					
常設無料入館 (こどもの日)	5月5日																					
" (県民の日)	8月21日																					
" (敬老の日)	9月20日																					
" (文化の日)	11月3日																					
" (天皇陛下御在位三十年記念慶祝事業)	2月24日																					
小中高校生無料入館	通年																					
"	"																					
"	"																					
"	"																					
小計		2,710	0	2,710	385	2,710	385	385	0	385	1,442	0	1,442	0	0	0	4,537	35,651	40,188			
1 長谷川利行展	4/1～4/22																					
	19日間	1,221	9	1,243		1,243	0															
2 ポーラ美術館コレクション展	4/28～6/24																					
	51日間	30,873		32,460	1,007	32,460	1,806	1,806	799	1,806	1,234	5	30	1,269	5	30	47,391	6,056	53,447			
3 安西水丸展	7/7～9/2																					
	50日間	4,522	71	5,077	659	5,077	795	795	33	103	601	6	13	620	6	13	6,492	1,633	8,125			
4 土に挑むー走泥社の作家たちー	9/15～10/14																					
	26日間	768	4	787	93	787	104	104	11	114	277	2	4	283	2	4	1,174	387	1,561			
5 佐藤玄々展	10/27～12/16																					
	44日間	2,847	17	2,908	320	2,908	322	322	1	322	537	1	5	543	1	5	3,773	1,457	5,230			
6 キヤブリーF 2019	2/9～3/10																					
	26日間			0		0	0	0		0							0	0	1,973	1,973		
7 伊藤若冲展	3/26～3/31																					
	6日間	3,698	122	3,820	292	3,820	292	292		292	365			365			8,306	1,223	9,529			
小計		43,929	223	46,295	2,371	46,295	3,319	3,319	45	903	3,233	14	57	3,304	14	57	68,603	13,328	81,931			
年賀状展、学校運動会入館者数																						
教育普及事業、講演会、コンサート、シンポジウム、館長 講座、博物館実習参加者、内覧会、など																						
その他																						
小計																						
合計		46,639	223	49,005	2,756	49,005	3,704	3,704	45	903	4,675	14	57	4,746	14	57	75,116	15,651	90,767			

1 調査研究

調査研究は美術館活動の基礎をなし、また広く県民に対して美術の情報センター機能を果たすためにデータ集積が欠かせない。県内外の美術家や作品の調査、教育普及、保存、展示等の調査を継続的に実施している。

平成30年度は、県内の美術品調査と、県内出身作家やゆかりの作家、収蔵作家（長谷川利行、山田 光、鈴木 治、佐藤玄々、勝田蕉琴、荻生天泉、坂内青嵐、太田秋民、湯田玉水、酒井三良、角田磐谷、酒井白澄、須田珙中、木下 春、猪巻清明、大平華泉、石川良風、大山忠作など）の調査を重点的に行った。

美術をより深く知る喜びを得る機会を提供する事業として、さまざまな講座を開催している。また、つくる楽しみを経験する契機として、各種の実技講座や、美術館への年賀状展、学校と連携しての出張実技講座を行っている。

1 館内解説

当館では以下のような館内解説を行っている。

(1) 団体解説

当館では、解説を予め申し込んだ学校や公民館などの団体に対し、美術館の概要、鑑賞のマナー、代表的な収蔵作品の解説、常設展示や企画展示の概要等のガイダンスを行っている。

平成30年度の団体総数は160団体5,015人、そのうち解説を行ったのは66団体2,762人である。

(2) 質問電話

展示室の各所に「質問電話」を設置し、展示品や美術全般についての観覧者からの質問に学芸員が直接応答するユニークなホットライン・サービスを行っている。

(3) 解説シート

常設展示室に展示中の作家・作品の解説シートを設置している。

2 鑑賞講座

館長講座「古典に帰れ—西洋美術の巨匠たち—ルネサンスからロマン派まで」

講師：早川博明（当館館長）

会場：当館講義室

第1回「ルネサンス(1)先駆者ジョットと初期ルネサンス」

日時：平成30年5月19日(土) 参加者：42名

第2回「ルネサンス(2)レオナルド、ラファエロ、ミケランジェロ」

日時：平成30年7月21日(土) 参加者：36名

第3回「ルネサンス(2)レオナルド、ラファエロ、ミケランジェロ」

日時：平成30年9月15日(土) 参加者：30名

第4回「ルネサンス(3)ジョルジョーネ、ティツィアーノ、ティントレット、デューラー」

日時：平成30年11月17日(土) 参加者：27名

第5回「バロック(1)カラヴァッジオ、ルーベンス、ヴェラスケス」

日時：平成31年1月19日(土) 参加者：27名

第6回「バロック(2)レンブラント、フェルメール」

日時：平成31年3月9日(土) 参加者：42名

3 創作プログラム

広く県民各層の美術に関する関心をふまえ、美術の創作と鑑賞の一助とする目的で、各種プログラムを実施している。

①ペタコロサッサ★油絵って楽しいね！

日時：平成30年4月1日(日)

講師：油井瑞樹氏（画家） 参加者：7名



②自画像を描く～自分を見つめる～

日時：平成30年4月14日(土)

講師：齋藤 隆氏（画家） 参加者：15名



③バードウォッチング&巣箱をつくろう！

日時：平成30年5月5日(土)

講師：杉浦裕志氏（とりにとくむ会社） 参加者：8組19名



④名画で缶バッジを作ろう！

日時：平成30年5月11日(金)、25日(金)、6月2日(土)

講師：坂本篤史（当館副主任学芸員）、橋本恵里（当館学芸員）、大北 孝（当館主任学芸員）、白木ゆう美（当館学芸員）

参加者：計86名



⑤美術館の庭で油絵を描こう

日時：平成30年5月20日(日)、26日(土)、27日(日)

講師：後藤 学（画家、喜多方市美術館館長） 参加者：15名



⑥てんてん絵画体験！

日時：平成30年6月10日(日) 午前・午後

講師：白木ゆう美（当館学芸員）、大北 孝（当館主任学芸員）
参加者：計14名



⑦型絵をつくって版画にしよう

日時：平成30年7月29日(日)

講師：海老塚耕一氏（多摩美術大学教授） 参加者：21名



⑧美術館で見つけた「いい感じ！」を描こう

日時：平成30年8月4日(土)

講師：浅生ハルミン氏（イラストレーター）
参加者：16名



⑨土とあそぼう！

日時：平成30年10月6日(土)

講師：安藤郁子氏（秋田公立美術大学准教授） 参加者：7名



⑩土に触れる ところに触れる

日時：平成30年10月7日(日)

講師：安藤郁子氏（秋田公立美術大学准教授） 参加者：10名



⑪木彫の鑑賞と制作～佐藤玄々の動物彫刻をたよりに

日時：平成30年11月4日(日)、11日(日)、18日(日)、25日(日)

講師：黒沼 令氏（彫刻家、郡山女子短期大学部講師）

参加者：12名



⑫手のりの動物をつくろう

日時：平成30年12月2日(日)

講師：大北 孝（当館主任学芸員）、白木ゆう美（当館学芸員）

参加者：2名



⑬自分だけの布をデザインしてプリントしよう

日時：平成30年12月16日(日)

講師：坂内まゆ子氏（テキスタイル作家） 参加者：4組9名



⑭すきなもので自分の顔をかいてみよう！

日時：平成31年3月3日(日)

講師：坂内直美氏（画家、女子美術大学芸術学部美術学科洋画専攻助手） 参加者：10名



4 美術館への年賀状展

県内の小・中・高校生から寄せられた手作り年賀状を展示した。

日時：平成31年1月12日(土)～31日(休)

応募総数：469通 観覧者数：約610名



5 博物館実習

学芸員取得のため実習を希望する大学生を受け入れ、カリキュラムを組んで指導している。

日時：平成30年8月21日(火)～26日(日)

受講者：4名

6 美術館・学校教育連携事業

学校週5日制が開始されることを契機に、平成13年12月～平成15年2月にかけて県内の小、中、高校の教師と学校・美術館をとりまく現状や問題点を情報交換し、継続的な連携活動ができる密接な関係を築くため「美術館・学校教育連携協議会」を開催した。協議での学校からの要望をもとに以下の事業を行った。

(1) 先生と考える美術館ミーティング

小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞指導について講座を開講する福島県教育センターと連携しながら、学校における美術館の活用方法を考える。今年度は、前期（県教育センター）後期（当館）の2回に分けて開催した。

[前期]

日時：平成30年8月17日(金)

講義・演習：学校と美術館の連携活動について I

講師：大北 孝（当館主任学芸員）

[後期]

日時：平成30年10月25日(木)

講義・演習：学校と美術館の連携活動について II

演習：鑑賞用教材を活用した鑑賞活動 I・II

講師：橋本淳也（教育センター指導主事）、

大北 孝（当館主任学芸員）、白木ゆう美（当館学芸員）

参加者：小学校教諭2名、中学校教諭2名、高等学校教諭5名、計9名

(2) 学校連携共同ワークショップ

平成15年度より開催する連携事業で、子どもたちが作家と触れ合う生の機会として、作家・学校・美術館の共同による創作活動を中心とした「出張ワークショップ」を開催している。この事業により相互の協力関係を密にし、新鮮な体験を通して子どもたちの美術や美術館への関心を高めるとともに、通常は美術館を利用しにくい地域のニーズに対応を図っている。

今年度は小学校・中学校・適応指導教室合わせて4校（参加者のべ115名）で開催した。ワークショップ作品は平成30年12月22日(土)～24日(月)祝、および平成31年1月8日(火)～20日(日)の期間、当館企画展示室Bにて活動中のスナップ写真とあわせて展示した。

① 版画でつづる「ささやかな幸せ」

講師：三浦麻梨乃氏（銅版画家）

開催校および参加人数：

・会津若松市立第一中学校美術部

10月8日：7名、11月24日：10名

・会津若松市立第二中学校美術部

9月26日：15名、11月25日：14名

・二本松市立渋川小学校4年生

10月5日：18名、11月27日：17名



会津若松市立第二中学校（11/25）

② 「木の突くん絵本」をつくろう！

「木の突くんコマ撮りアニメ」をつくろう！

講師：小原風子氏（画家、絵本作家）

開催校および参加人数：

・福島市教育委員会教育研修科（ふれあい教室通級生）

10月18日：6名、10月23日：8名、10月26日：8名

・二本松市立渋川小学校1年生

11月15日：12名



二本松市立渋川小学校（11/15）

7 友の会、協力会との連携

(1) 友の会通常総会

日時：平成30年5月20日(日)

会場：当館講義室 参加者：18名

(2) 「ポーラ美術館コレクション展」ボランティア

友の会有志を中心とするメンバーが、会期中の土日、荷物一時預かりおよび観光紹介のボランティア活動を行った。

参加者：会期中の土日13回 参加者のべ72名

(3) 「ワークショップマート～ものづくりの庭」の開催

NPO 法人福島県立美術館協力会との共催。漆作家や自家焙煎珈琲店、綿花農家などさまざまな異業種事業者が、美術館庭園にテントを設置して当館収蔵作品をテーマにものづくりワークショップを開催した。当日、友の会有志が参加者への案内、無料観覧日の美術館常設展示の紹介等のボランティア活動を行った。

日時：平成30年9月17日(月)祝

会場：当館庭園 参加者：約1,500名

(4) 友の会研修旅行（岩手県立美術館、深沢紅子野の花美術館、花巻市宮沢賢治記念館）

日時：平成30年10月13日(土)
 参加者：酒井哲朗（当館名誉館長）、早川博明（当館館長）、
 伊藤 匡（当館専門員）ほか参加者45名

(5) 友の会実技講座「ドライポイントで表現する」

日時：平成30年10月20日(日)
 会場：当館実習室
 講師：大北 孝（当館主任学芸員） 参加者：9名

(6) アートチャリティ・バザー

友の会会員や美術館関係者が美術工芸品、美術図書、図録、ミュージアムグッズなどを持ち寄り、安価で販売した。収益金よりポータブルマイクセットが美術館に寄贈された。

日時：平成30年12月2日(日)
 会場：当館エントランスホール 参加者：約200名

(7) ミュージアム・コンサート

美術館、協力会、友の会の三者による共同開催。
 「チェロで奏でるクラシック&スクリーン・ミュージック」
 日時：平成31年3月3日(日)
 会場：当館エントランスホール（参加無料）
 演奏：斎藤 静氏（チェロ）、富田一夫氏（キーボード）、
 中川英治氏（ベース）
 参加者：約200名

(8) 「触って、話して、見て楽しむ美術鑑賞ワークショップ」の開催

福島の彫刻家・佐藤玄々の動物彫刻を取り上げ、視覚障がい者と晴眼者と一緒に作品鑑賞を楽しんだ。

日時：平成30年11月3日(土)例
 会場：当館実習室、企画展示室
 講師：宮坂慎司氏（筑波大学芸術系助教）
 協力：真下弥生氏（ルーテル学院大学非常勤講師）、
 半田こづえ氏（筑波大学人間系障害科学域助教）
 協力：福島県点字図書館
 参加者：午前4名、午後4名

(9) アートカード「ぼけっとアート」貸し出し

平成29年度4月より鑑賞補助教材「ぼけっとアート」の貸し出しを始めた。

対象：県内の小・中・高校その他教育関係機関
 貸出総数：105か所、489セット



ミュージアム・コンサート (3/3)

8 その他の事業

(1) 県立図書館との連携事業「アートな おはなしかい」

小学生とその保護者を対象にした、図書館での絵本の読み聞かせと工作ワークショップ。

「がたん ごとん で かけよう」
 日時：平成30年7月21日(土)
 参加者：23名

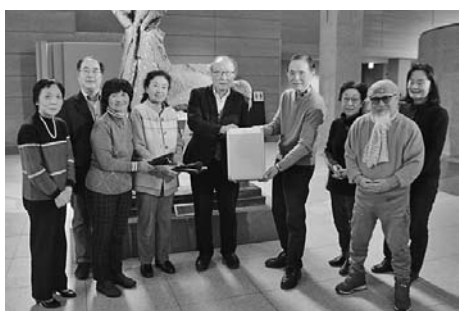
(2) 館外での活動

①委員の委嘱等

- ・いわき市立美術館収集評価委員（荒木康子学芸課長）
- ・「新しいAIZUの美術展」選考委員（荒木康子学芸課長）
- ・郡山市立美術館協議会委員（荒木康子学芸課長）
- ・福島市写真美術館運営委員（堀 宜雄専門学芸員）
- ・宇都宮美術館美術作品等収集評価委員（増淵鏡子専門学芸員）
- ・相馬市史調査編さん委員（増淵鏡子専門学芸員）
- ・須賀川市文化財保護審議会委員（増淵鏡子専門学芸員）
- ・須賀川市歴史文化基本構想策定委員（増淵鏡子専門学芸員）
- ・一般財団法人可月亭庭園美術館評議員（増淵鏡子専門学芸員）
- ・西会津国際芸術村公募展審査員（坂本篤史副主任学芸員）
- ・第37回福島県高等学校文化祭写真展審査委員（坂本篤史副主任学芸員）

②寄稿、発表、受賞等

- ・福島大学行政政策学類「博物館教育論」講師 平成30年4月8日(火)～7月24日(火) 全15回（伊藤匡専門員）
- ・可月亭庭園美術館オープン記念トークイベント「地域小美術館の役割について」講師 平成30年5月19日(土)（増淵鏡子専門学芸員）
- ・鹿沼市川上澄生美術館「斎藤清と川上澄生」展記念講演会「斎藤清と川上澄生 それぞれの故郷」講師 平成30年10月27日(土)（荒木康子学芸課長）
- ・福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ講座「相馬出身！ 生誕130年 佐藤玄々（朝山）展を前に」講師 平成30年10月12日(金)（坂本篤史副主任学芸員）
- ・喜多方市美術館トークイベント「福島県内の美術をめぐる動き—大正時代」平成30年11月4日(土)（増淵鏡子専門学芸員）
- ・第1回図工・美術セミナー in 東北「実践 福島県立美術館アートカード」平成30年12月1日(土)（白木ゆう美学芸員）



バザー記念品贈呈式 (2/16)

◆関係法規

A 福島県立美術館条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項の規定に基づき、県民の美術に対する知識及び教養の向上を図るため、福島県立美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 美術館は、福島市森合字西養山1番地に置く。

(業務)

第3条 美術館において行う業務は、次のとおりとする。

- 一 美術館及び美術に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- 四 前3号に掲げるもののほか、その設置の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

(観覧料)

第4条 美術館の展示品(以下「展示品」という。)を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 知事は、公益上の必要があると認めるときは、規則で定めるところにより、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料不返還の原則)

第6条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、規則で定める場合は、その全部又は一部を返還することができる。

(遵守事項)

第7条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損しないこと。
- 二 物品を販売し、又は頒布しないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 三 展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 四 所定の場所以外において、喫煙および飲食を行わないこと。
- 五 他の利用者に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- 六 前各号に掲げるもののほか、管理上教育委員会が指示する事項。(平11条例92・一部改正)

(入館の規制等)

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、入館を拒否し、又は退館若しくは退去を命ずることができる。

- 一 前条の規定に違反した者。
- 二 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、または汚損するおそれのある者。
- 三 館内の秩序を乱し、又はそのおそれのある者。(平11条例92・追加)

(職員)

第9条 美術館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(平11条例92・旧第8条繰上)

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理その他この条例の施行に関して必要な事項は、教育委員会が定める。

(平11条例92・旧第9条繰上)

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

別表(第4条関係)

(平9条例53・平15条例52・平25条例118・一部改正)

区分	普通観覧料の額 (一人当たり)		特別観覧料の額	年間観覧料の額 (同一人が有効期間内に 利用する場合)
	個人	団体		
一般(大学生を含む。)	270円	210円	その都度知事が定める額	3,600円の範囲内で知事が定める額
高校生及びこれに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	2,160円の範囲内で知事が定める額
中学生、小学生及びこれらに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	1,440円の範囲内で知事が定める額

備考

1 「普通観覧料」とあるのは常設展の展示品のみを観覧する場合の観覧料をいい、「特別観覧料」とあるのは特別の企画による展示品を観覧する場合(常設展の展示品を併せて観覧する場合を含む。)の観覧料をいい、「年間観覧料」とあるのは年間利用に係る普通観覧料及び特別観覧料をいう。

2 「団体」とあるのは、20人以上の団体をいう。

附則(平成9年条例第53号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附則(平成11年条例第92号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附則(平成15年条例第52号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附則(平成25年条例第118号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

B 福島県立美術館運営協議会条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条第1項の規定に基づき、福島県立美術館(以下「美術館」という。)の適正な運営を図るため、福島県立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。

(委員の任命及び任期)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

2 委員会の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(平24条例42・一部改正)

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、美術館において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附則（平成24年条例第42号）

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

2 この条例の施行の際現に改正前の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命されている福島県立美術館運営協議会の委員は、その残任期間中は、改正後の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命された福島県立美術館運営協議会の委員とみなす。

C 福島県立美術館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則

福島県立美術館条例（昭和59年福島県条例第33号）第5条、第6条ただし書及び別表の規定による知事の権限は、福島県教育委員会に委任する。

附則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

D 福島県立美術館条例施行規則

（休館日）

第1条 福島県立美術館（以下「美術館」という。）の定期的休館日は、次のとおりとする。

- 一 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（次号において「休日」という。）に当たるときを除く。
- 二 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。
- 三 1月1日から同月4日まで。
- 四 12月28日から同月31日まで。

2 美術館の長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは臨時に休館し、又は臨時に開館することができる。

（昭63教委規則8・一部改正）

（開館時間）

第2条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、館長は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

（観覧手続）

第3条 館長は、福島県立美術館条例（昭和59年福島県条例第33号。以下「条例」という。）第4条の規定により観覧料を納入した者（年間観覧料を納入した者（以下「年間観覧者」という。）を除く。）に対し、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

（平15教委規則2・一部改正）

（年間観覧者に係る入館手続）

第3条の2 館長は、年間観覧者に対し年間観覧券（第1号様式の2）を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券の交付の日から起算して1年とする。

2 年間観覧者は、入館する際に有効な年間観覧券を提示するものとする。

3 年間観覧券の利用は、同一人に限るものとする。

（平15教委規則2・追加、平19教委規則14・一部改正）

（観覧料の免除及びその手続）

第4条 館長は、条例第5条の規定により、次の表の上欄に掲げる場合における普通観覧料について、同表の下欄に掲げる額を免除するものとする。

普通観覧料を免除する場合	免除する額
一 大学生、（これに準ずる者として福島県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が別に定める者を含む。）及びその引率者並びに高校生、中学生及び小学生（これらに準ずる者として教育長が別に定める者を含む。）の引率者が、学校教育に基づく活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
二 県又は市町村が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の百分の五十に相当する額（引率者にあつては全額）
三 国民の祝日に関する法律第二条に定めるこどもの日、敬老の日及び文化の日に観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
四 知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証の交付を受けている者が観覧するとき	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
五 その他免除することが公益上適当と認めるとき。	教育長が別に定める金額

2 観覧料の免除を受けようとする者（前項の表の第3号又は第4号のいずれかに該当する場合に観覧料の免除を受けようとする者を除く。）は、前項の表の第1号又は第2号に該当する場合にあつては観覧しようとする日の3日前まで、第5号に該当する場合にあつては10日前までに観覧料免除申請書（第2号様式）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の規定により観覧料の免除を承認したときは、観覧料免除承認書（第3号様式）を交付するものとする。

（昭60教委規則3・平4教委規則15・平7教委規則14・平8教委規則15・平8教委規則19・平12教委規則15・平14教委規則13・平15教委規則2・一部改正）

（観覧料の返還）

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、それぞれ当該各号に定めるところにより、観覧料の全部又は一部を返還するものとする。

一 観覧しようとする者の責めによらない理由により観覧することができなくなったとき（観覧しようとする者が年間観覧者であるときを除く。） 全額

二 その他やむを得ない理由があると認めるとき。 教育長が別に定める額

2 観覧料の返還を受けようとする者は、観覧料返還申請書（第4号様式）に観覧券を添えて、館長に提出しなければならない。

（平15教委規則2・一部改正）

（美術品等の特別利用）

第6条 美術館が所蔵し、又は寄託を受けている美術品等を学術上の研究その他の目的のため特に利用しようとする者は、館長の承認を受けなければならない。

（平12教委規則15・旧第7条繰上）

（教育長への委任）

第7条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理その他この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

（平12教委規則15・旧第8条繰上）

附則 この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

第1号様式（第3条関係）

観覧券 （観覧者の区分） （金額） 福島県立美術館	観覧券 （観覧者の区分） （金額） 福島県立美術館
------------------------------------	------------------------------------

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第1号様式の2（第3条の2関係）
（平15教委規則2・追加）

（表）

年間観覧券
福島県立美術館

（裏）

（交付番号）	（観覧者の区分）
（有効期間）	
御利用に際して	
1 福島県立美術館が主催する展覧会のみ有効です。	
2 下記に署名された御本人以外の方は使用できません。	
3 御購入後の紛失等による再発行はいたしません。	
（氏名）	
（学校名）（学年）	
福島県立美術館	

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第2号様式（第4条関係）
（平3教委規則13・一部改正）

第2号様式(第4条関係)

年 月 日

福島県立美術館長

印

住所又は所在地
氏名又は名称及び
代表者の氏名
申請者
観覧料免除申請書

次の理由により観覧料を免除してください。

観覧目的				
観覧日時	年	月	日	時 分から 分まで
観覧者の種別及び人数	一 般	人	その他()	人
	大 学 生		()	
	高 校 生			
	中 学 生		引 率 者	
	小 学 生		合 計	
免除申請の理由				
引率者の職、氏名	職		氏名	
連絡先及び電話番号	電話 ()			
観覧料	免除率	免除金額	免除の税務	
円	円	円	円	
年 月 日				
上記のとおり承認してほしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	

(注) 印の欄は、記入しないこと。

第3号様式（第4条関係）
（平3教委規則13・一部改正）

第3号様式(第4条関係)

第 号
年 月 日

福島県立美術館長

観覧料免除承認書

観覧料の免除について、次のとおり承認します。

観覧目的				
観覧日時	年	月	日	時 分から 分まで
観覧者の種別及び人数	一 般	人	その他()	人
	大 学 生		()	
	高 校 生			
	中 学 生		引 率 者	
	小 学 生		合 計	
免除申請の理由				
注 意 事 項				
観覧料	免除率	免除金額		
円		円		

第4号様式（第5条関係）
（平3教委規則13・一部改正）

第4号様式(第5条関係)

年 月 日

福島県立美術館長

印

住所又は所在地
氏名又は名称及び
代表者の氏名
申請者
観覧料返還申請書

次の理由により観覧料を返還してください。

展覧会の名称				
観覧料の納入月日	年	月	日	
既納観覧料の区分及び金額	区	分	人	数 金 額
				人 円
合 計				
返還を申請する理由				
連絡先及び電話番号	電話()			
観覧料返還率	返還金額	返還の税務		
円	円	円		
上記のとおり返還してほしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	
受付月日	・	・	決裁月日	・

(注) 印の欄は、記入しないこと。

附 則（昭和60年教委規則第3号）

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年教委規則第8号）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成3年教委規則第13号）

1 この規則は、交付の日から施行する。

2 この規則の施行の際現に作成されている改正前の規則に定める様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成4年教委規則第15号）

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成7年教委規則第14号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第15号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第19号）

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則（平成12年教委規則第15号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第13号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成15年教委規則第2号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成19年教委規則第14号）

この規則は、平成19年10月1日から施行する。

E 福島県立美術館組織規則

（この規則の目的）

第1条 この規則は、福島県立美術館（以下「美術館」という。）の組織に関して必要な事項を定めることを目的とする。

（課）

第2条 美術館に次の課を置く。

総務課

学芸課

（事務分掌）

第3条 総務課においては、次の事務を行う。

- 一 館内事務の総合調整及び企画調査に関すること。
- 二 公印の管理に関すること。
- 三 人事に関すること。
- 四 文書の收受、発送、編集及び保存に関すること。
- 五 予算の編成、経理及び執行に関すること。
- 六 物品の調達及び処分に関すること。
- 七 財産の管理に関すること。
- 八 観覧料の徴収に関すること。
- 九 福島県立美術館運営協議会に関すること。
- 十 前各号に掲げるもののほか、他課の所掌に属しない事務に関すること。

2 学芸課においては、次の事務を行う。

- 一 美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- 二 美術に関する調査及び研究に関すること。
- 三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- 四 美術に関する解説書、年報、調査研究報告書等の作成に関すること。
- 五 美術に関する相談、情報提供その他美術教育の普及に関すること。
- 六 国立美術館、公立美術館その他の教育機関及び美術関係団体との連絡提携に関すること。
- 七 前各号に掲げるもののほか、美術に関する専門的事項に関すること。

ること。

（館長）

第4条 美術館に館長を置く。

2 館長は、上司の命を受け、美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

（副館長）

第5条 美術館に副館長を置く。

2 副館長は、館長を補佐し、美術館の事務を整理する。

（課長）

第6条 美術館の課に課長を置く。

2 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理し、所属職員を指揮監督する。

3 前項に規定するもののほか、課長は、課の事務を点検する。

（平25教委規則11・一部改正）

（学芸員等）

第7条 美術館に主任専門学芸員、専門学芸員、主任学芸員、副主任学芸員及び学芸員を置く。

2 主任専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の高度な学芸事務を処理する。

3 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の学芸事務を処理する。

4 主任学芸員は、上司の命を受け、担任の学芸事務を処理する。

5 副主任学芸員は、上司の命を受け、高度な学芸事務をつかさどる。

6 学芸員は、上司の命を受け、学芸事務をつかさどる。

（主任主査その他の職）

第8条 美術館に、第4条から前条までに規定する職のほか、必要に応じ、次の表の上欄に掲げる職を置き、その職の職務は、それぞれ同表の当該下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
主任主査	上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理し、並びに担当する事務を取りまとめ、及び整理する。
主査	上司の命を受け、担任の事務を処理する。
副主査	上司の命を受け、高度な事務をつかさどる。
主事	上司の命を受け、事務をつかさどる。
専門員	上司の命を受け、担任の専門的業務に従事する。

（平14教委規則18・平25教委規則8・一部改正）

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第18号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成25年教委規則第8号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年教委規則第11号）

この規則は、公布の日から施行する。

F 福島県立美術館収集評価委員会設置要綱

（設置）

第1条 福島県立美術館に収蔵する美術品及び資料（以下「美術品等」という。）の収集及び評価について審議するため、福島県立美術館収集評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織等）

第2条 委員会は5人以内の委員をもって構成し、委員は学識経験者のうちから福島県立美術館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

2 委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。

3 委員長は委員会を代表し会務を掌理する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第3条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第4条 委員会は、必要のつど館長が招集する。

2 委員会は、美術品等の収集及び評価について審議し、その結果を館長に報告するものとする。

3 委員会は、必要に応じ職員その他の者を出席させて意見を聴くことができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、福島県立美術館において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附則 この要綱は、昭和55年4月1日から施行する。

改正 昭和59年4月1日、昭和61年4月1日

G 福島県立美術館における美術品等の貸出し及び写真撮影等に関する取扱要綱

1 趣旨

(1) この要綱は、財産の交換・譲与・無償貸付等に関する条例(昭和39年福島県条例第22号)第7条、福島県財務規則(昭和39年福島県条例第17号。以下「財務規則」という。)第156条、福島県立美術館条例(昭和59年福島県条例第33号)第7条及び福島県立美術館条例施行規則(昭和59年福島県教育委員会規則第12号)第7条の規定により、福島県立美術館(以下「館」という。)が所蔵し、又は寄託を受けている美術品及び美術資料(以下「美術品等」という。)の貸出し及び写真撮影等(以下「撮影」という。)の取り扱いに関する基準及び手続きを定めるものとする。

(2) 美術品等が福島県美術品等取得基金(以下「基金」という。)所有のものであるときは、昭和59年12月28日付59教財第513号、福島県教育庁財務課長通知により、美術品等の貸出しの手続きは館長の依頼により基金管理者が行うものとするが、美術品等の貸出しの基準及び撮影については、この要綱を準用するものとする。

2 美術品の貸出し

(1) 貸出しの基準

ア 美術品等の貸出しは、国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、その他館長が特に必要と認めたものに対して行うものとする。

イ 美術品等の貸出期間は、1年を超えてはならない。

ウ 美術品等の利用目的及び管理上の理由から貸出しをすることが適当でないと認めるときは、貸出しを行わないものとする。

(2) 貸出しの手続き

ア 学芸課は、美術品等の貸出しをする場合には、貸出しを受けようとする者(以下「借受者」という。)から物品借受申請書(財務規則第102号様式。以下「申請書」という。)を提出させるものとする。ただし、借受者の利用目的が展覧会の展示である場合には、次の書類を提出させなければならない。

(ア) 展覧会の趣旨及び企画内容を明記した書類

(イ) 美術品等が寄託を受けているものである場合には、寄託者の貸出しを承認する旨の書類

(ウ) その他必要と認める書類

イ 学芸課は、借受者から申請書の提出を受けたときは、美術品等の利用目的、利用期間及び利用場所等について十分に検討を加え、貸出しの適否を審査するものとする。

ウ 学芸課は、この要綱2の(2)のイの審査の結果、美術品等の貸出しをすることが適当と認めるときは、物品貸付調書(財務規則第10号様式)により当該貸出しについて館長の決裁を受ける

とともに、総務課に關係書類を送付するものとする。

エ 総務課は、この要綱2の(2)のウの書類の送付を受けたときは、速やかに福島県教育庁生涯学習領域(以下「生涯学習領域」という。)に対し美術品等の貸出しについて必要な措置の請求(別紙様式第1号)をしなければならない。

オ この要綱2の(2)のアからエまでの規定は、美術品等が基金所有のものである場合に準用する。

(3) 貸出しの決定

ア 総務課は、生涯学習領域から美術品等の貸出しについて必要な措置が完了した旨の通知を受けたときは速やかに学芸課に対して、その旨連絡するとともに關係書類を送付するものとする。

イ 学芸課は、この要綱2の(3)のアの通知を受けたときは借受者に対して、貸出し承認の通知(別紙様式第2号)をするものとする。

ウ 美術品等が基金所有のものであるときは、当該美術品等の貸出しの決定及び借受者に対する貸出し承認の通知は、基金管理者が行うものとする。

エ 美術品等の貸出しは、無料とする。

(4) 貸出しの条件

美術品等の貸出しをする場合には、次の条件を付すものとする。

ア 美術品等は利用目的以外の用途に利用しないこと。

イ 美術品等の利用権を第3者に譲渡しないこと。

ウ 美術品等は常に善良な管理者の注意をもって管理保管すること。

エ 美術品等の棄損・亡失等が生じた場合は、速やかにその旨を館に報告し、その指示により損害を賠償し、又はこれを原状に回復すること。

オ 美術品等の輸送、その他貸出しに要する経費は、借受者が負担すること。

カ 図録作成等のため美術品等の写真撮影をする場合は、この要綱3により別途手続を行うこと。

キ 美術品等の搬出または搬入に対して借受者は責任者を立会させること。

ク その他必要と認めること。

(5) 美術品等の引渡し

ア 館長(物品管理者)は、美術品等の貸出しを実行するときは、当該美術品等の現状を確認し、総務課長(物品取扱員)に対し、貸付物品払出通知書(財務規則第102号様式)により、その引渡しを指示するものとする。

イ 総務課長(物品取扱員)は、館長(物品管理者)から貸出し美術品等の引渡しの指示を受けたときは、借受者に対して当該美術品等の受領を証する書面と引換えに、これを引渡すものとする。

ウ 総務課長(物品取扱員)は、美術品等を引渡ししたときには物品貸付台帳(財務規則第140号様式)に所定の事項を記載し整理するものとする。

エ 美術品等の引渡し場所は原則として館とする。

(6) 美術品等の貸付引受け

この要綱2の(5)のアからエまでの規定は、貸出しを行った美術品等が返納された場合の受入れの手続きについて準用する。この場合「美術品等の貸出しを実行」とあるのは「貸出しを行った美術品等を引受け」と、「貸付物品払出通知書」とあるのは「貸付物品受入通知書」と、「引渡し」とあるのは「引受け」とそれぞれ読み替えるものとする。

3 美術品等の撮影

(1) 撮影承認の基準

ア 美術品等の撮影は国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、出版社、その他館長が特に必要と認めたものに対して承認するものとする。

イ 撮影により損傷を生ずるおそれがある美術品等は撮影を認めないものとする。

ウ 撮影の時期が美術品等の管理上、適当でないと認められる場合

は、その時期を変更し、若しくは撮影を認めないものとする。

(2) 撮影承認の手続

- ア 学芸課は、美術品等の撮影の承認をする場合には、撮影を希望する者（以下「撮影者」という。）から美術品等撮影承認願（別紙様式第3号。以下「承認願」という。）を提出させるものとする。
- イ 美術品等が寄託を受けているものである場合には、寄託者の撮影を承認する旨の書類を承認願に添付させるものとする。
- ウ 学芸課は、撮影者から承認願の提出を受けたときは、撮影の目的、場所、時期、対象美術品等について十分に検討を加え、承認の適否を審査するものとする。
- エ 学芸課は、この要領3の（2）のウの審査の結果、美術品等の撮影を承認することが適当と認めるときは、当該撮影の承認について館長の決裁を受けるものとする。
- オ 美術品等の撮影料は無料とする。

(3) 撮影承認の通知

学芸課は、この要領3の（2）のエにより撮影承認の決定をしたときは、撮影者に対して撮影承認の通知（別紙様式第4号）をするものとする。

(4) 撮影の条件

美術品等の撮影を承認する場合には、次の条件を付すものとする。

- ア 美術品等の撮影は館の職員の指示に基づいて行うこと。
- イ 撮影により美術品等を損傷させないこと。
- ウ 撮影した写真等は、撮影承認を受けた目的以外に使用しないこと。
- エ 撮影の目的が著作権法の適用を受けることとなるときは、必要に応じ、あらかじめ著作権者の了承を得ること。
- オ 撮影承認を受けた美術品等の写真を出版物に掲載したときは、当該出版物を館に提出すること。
- カ その他必要と認めること。

(5) 補則

- ア 撮影の場所は、原則として館とする。
- イ 撮影が美術品等の管理上適当でないと認めるときは、館が所有する原版の使用を認めるものとする。
- ウ 過去に撮影した写真等の撮影承認の目的外使用については、この要領の適用を受けるものとする。
- エ 館所有の原版を複写して使用する場合は、当該複写版をすべて提出することとする。
- オ 館所有の原版を使用する際、誤って損傷、亡失させたときは、再撮影に係わる実費を当該申請者に請求することができるものとする。

4 適用

この要領は昭和60年2月9日から適用する。

（平成9年9福美第65号により一部改正）

H 福島県立美術館美術作品等寄託要領

（趣旨）

1 この要領は、福島県立美術館（以下「館」という。）における美術作品および美術資料（以下「美術品等」という。）の寄託に関し、必要な事項を定めるものとする。

（寄託の申し出）

2 福島県立美術館長（以下「館長」という。）は、美術品等の所有者に依頼して寄託を受けようとする場合には、寄託同意書（別記様式第1号）によって所有者の同意を得なければならない。

（2）館長の依頼によらないで美術品等の寄託をしようとする者は、寄託申請書（別記様式第2号）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

（受託）

3 館長は、所有者の合意、もしくは所有者からの申込みのあった美術品等の寄託が館の事業のため必要があると認めるときは、これを無償で受託することができる。

（受け入れおよび返還）

4 館長は、所有者から寄託された美術品等を受領したときは、所有者に対して受託証書（別記様式第3号）を交付するものとする。

（2）所有者は寄託した美術品等（以下「寄託品」という。）の返還を受けようとするとき、返還を受けようとする日の一ヶ月以上前に返還申請書（別記様式第4号）を館長に提出しなければならない。

（3）館長は、この要領4の（2）により、所有者に対して寄託品の返還をしようとするときは、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。

（4）寄託品の返還を受けようとする者が所有者の代理人であるときは、委任状その他これを証する書面を館長に提出しなければならない。（寄託期限）

5 美術品等の寄託期間（以下「寄託期間」という。）は2年とする。ただし、特別な理由があるとき、館長はこの期間を短縮することができる。

（寄託期間の更新）

6 館長は所有者の承諾を得て寄託期間を更新することができる。

（2）寄託期間の経過後、所有者から寄託品の返還の請求がない場合は、寄託期間を更新したものとみなす。

（3）館長は、この要領6の（1）および（2）により寄託期間を更新したときは、所有者に対し更新した受託証書を交付するものとする。（所有者の変更等）

7 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、または所有者の氏名、名称もしくは住所等に変更があったときは、所有者（所有者が変更した場合は変更後の所有者）は、所有権の移転その他氏名、名称等を証する書類を受託証書に添えて館長に提出し、受託証書の書き換えを受けなければならない。（受託証書の再交付）

8 所有者は、受託証書を亡失し、または著しく破損したときは、これらの事実を証するにたる書類（破損の場合は、その受託証書）を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。（寄託品輸送経費等の負担）

9 所有者は寄託品の搬入または返還に要する経費等を負担するものとする。ただし、館長が特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。（寄託品の展示等）

10 館は、寄託品について、展示、研究および撮影等を行い、その結果を公刊することができる。

（2）館職員以外の者がこの要領10の（1）の行為をしようとするときは、「福島県立美術館における美術品等の貸出しおよび写真撮影等に関する取扱要領」に定めるところにより、所定の手続きを経なければならない。（寄託品の保存）

11 館長は、寄託品の保存管理およびその取扱いについては、館に所蔵する美術品に準じて行う。

（2）館は、寄託品を亡失し、または損傷した場合は、その補償をするものとする。ただし、天災、その他不可抗力による場合は、この限りでない。（その他）

12 この要領に定めるもののほか、美術品等の寄託に関して必要な事項は、館長が定める。

この要領は、昭和60年4月1日より施行する。

◆予算

【2018年度予算内訳】

歳入

科目(款・項・目・節)	最終予算額(千円)
使用料及び手数料	13,882
└ 使用料	13,882
└ 行政財産使用料	870
└ 土地使用料	33
└ 建物使用料	837
└ 教育使用料	12,952
└ 美術館使用料	12,952
財産収入	5,102
└ 財産売払収入	5,102
└ 物品売払収入	5,102
諸収入	26,056
└ 雑入	26,056
計	44,980

歳出

科目(款・項・目・節)	最終予算額(千円)
教育費	306,910
└ 教育総務費	7,171
└ 事務局費	7,151
└ 報酬	5,760
└ 共済費	1,391
└ 財務管理費	20
└ 交際費	20
└ 社会教育費	299,739
└ 美術館費	299,739
└ 報酬	72
└ 報償費	1,574
└ 旅費	3,918
└ 需用費	70,349
└ (食糧費)	(105)
└ 役務費	9,397
└ 委託料	136,276
└ 使用料及び賃借料	10,487
└ 工事請負費	46,850
└ 備品購入費	250
└ 負担金、補助及び交付金	20,566
計	306,910

◆施設・設備

【建築の概要】

設計 大高建築設計事務所
 施工 鹿島建設株式会社仙台支店（建築・外観）
 敷地面積 60,500㎡
 建築面積 6,471.5㎡
 延床面積 9,680.7㎡
 建物構造 鉄筋コンクリート造（一部S造・2階建）
 総工費 約49億円（本体、外構含む）

【設備の概要】

電気設備

- 1- 受変電設備：受電力 1,100W
- 2- 動力設備
- 3- 電灯・コンセント・照明（調光設備：各展示室、調光装置：講堂・講義室各1台）
- 4- 自家発電機設備
- 5- 避雷針
- 6- 電気時計
- 7- 火災報知設備
- 8- 防火扉・防煙設備
- 9- 拡声設備
- 10- インターホン設備
- 11- ITV 設備
- 12- 防犯設備
- 13- ビデオ設備
- 14- 蓄電池設備
- 15- 電話設備

空気調和設備

- 1- 熱源設備：
 - 展示室・収蔵庫系統＝空気熱源スクルーヒートポンプ、120RT＋熱回収ヒートポンプ30RT 組合せ制御方式、冷水槽300㎡、温水槽250㎡
 - 一般系統・図書館系統＝灯油だき冷温水発生器150RT 2台
- 2- 空調設備：単一ダクト方式
 - 展示室4系統、収蔵庫3系統、ケース内4系統、一般系統7系統（一部フロアコイル併用）
- 3- 換気設備：50系統
- 4- 排煙設備：機械排煙6系統
- 5- 床暖房：2系統
- 6- 自動制御設備：中央監視盤、温湿度監視盤

給排水衛生設備

- 1- 熱源：都市ガス（厨房・実習室・工作修復室）／他は全て電器煮沸器を使用
- 2- 消化系：ハロン消火設備（収蔵庫3系統：共用機械室）／消火栓設備（消火ポンプ1台、屋内消火栓14台、動力ポンプ1台）
- 3- 燻蒸設備：ガスによる殺虫滅菌剤で燻蒸後吸着装置通過、規定濃度以下にして大気放出
- 4- 給水：受水槽45t（加圧給水）／直結給水
- 5- 排水：屋内は汚水・雑排水の分流式（外部で合流後、市下水道公共マスに接続）

昇降機設備

- 1- 乗用エレベーター：油圧式、750kg 11名乗り 1台
- 2- 荷物用エレベーター：油圧式、最大積載量3t 1台
- 3- 乗用エレベーター：油圧式、600kg 9名乗り 1台

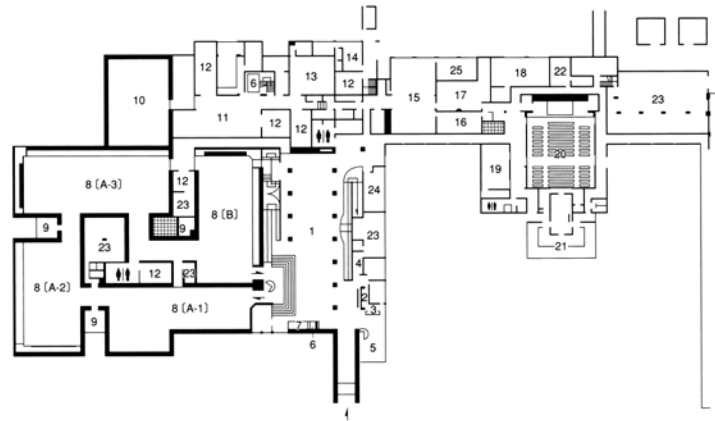
【内部仕上げの概要】

- 1- エントランスホール
 - 床：御影石バーナー仕上げ（一部長尺塩ビシート張）
 - 壁：栓練付石綿ケイカル板
 - 天井：栓練付石綿ケイカル板
 - その他：一部床暖房設備
- 2- 収蔵庫
 - 床：パーケットブロック、ぶな素地
 - 壁：米杉、矢羽根板張
 - 天井：米杉、本実目透張
 - その他：収納棚、絵画収納ラック
- 3- 企画展示室
 - 床：長尺塩ビシート張
 - 壁：合板捨張の上に準不燃合板、特注クロス張
 - 天井：栓練付パネル
 - その他：大型可動壁（幅8,770mm×高3,770mm、11枚）
 - 固定ケース前可動壁：（幅1,600mm×高4,050mm、延長約72m）
 - 固定ケース：（A-2、A-3、B：総延長72.3m）
- 4- 常設展示室
 - 床：タフテッドループカーペット
 - 壁：常設A- 栓練付ケイカル板
常設B- 大理石空積、水磨き仕上げ
常設C・D- くるみ練付ケイカル板
 - 天井：常設A- 栓練付パネル
常設B・C・D- くるみ練付パネル
 - その他：固定ケース（常設A、16.2m）
- 5- 講堂
 - 床：タイルループカーペット
 - 壁：くるみ練付石綿ケイカル板
 - 天井：ビニールクロス張
 - その他：座席数246（うち車椅子席4）／ステージ幅12m×奥行3.2m
- 6- 講義室
 - 床：タイルカーペット
 - 壁：くるみ練付石綿ケイカル板
 - 天井：岩綿吸音板
- 7- 実習室
 - 床：エポキシ系塗床
 - 壁：モルタル金ゴテVP
 - 天井：岩綿吸音板
- 8- 軽食喫茶室
 - 床：長尺塩ビシート張
 - 壁：くるみ練付パネル、粒状岩綿吸音材（一部）
 - その他：テーブル44席
- 9- その他
 - 搬出入口：ホイストクレーン2.8t／テーブルリフター
 - 写真室：電動スクリーン

◆施設配置図

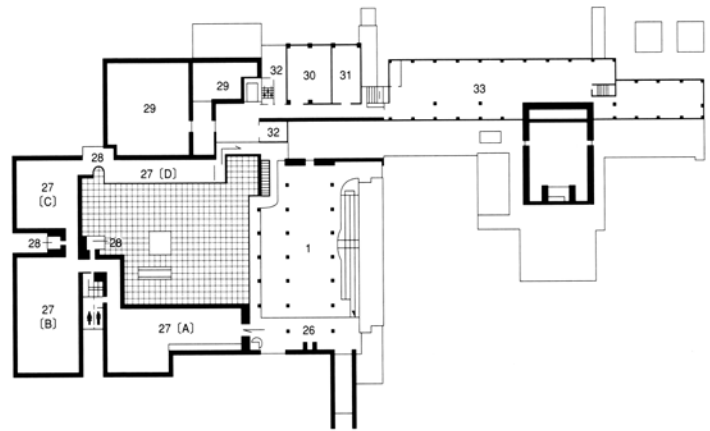
【1階】

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. エントランスホール | 14. 警備室 |
| 2. 受付案内 | 15. 事務室 |
| 3. ブックショップ | 16. 応接室 |
| 4. ロッカー室 | 17. 研究図書室 |
| 5. 図書コーナー | 18. 実習室 |
| 6. エレベーター | 19. 講義室 |
| 7. ビデオコーナー | 20. 講堂 |
| 8. 企画展示室 | 21. 軽食喫茶室 |
| 9. 休憩室 | 22. 中央監視室 |
| 10. 収蔵庫 A | 23. 機械室 |
| 11. 荷解梱包室 | 24. 館長室 |
| 12. 倉庫 | 25. 副館長室 |
| 13. 写真室 | |



【2階】

- | |
|-------------|
| 26. ロビー |
| 27. 常設展示室 |
| 28. 休憩室 |
| 29. 収蔵庫 B・C |
| 30. 工作修復室 |
| 31. 会議室 |
| 32. 倉庫 |
| 33. 機械室 |



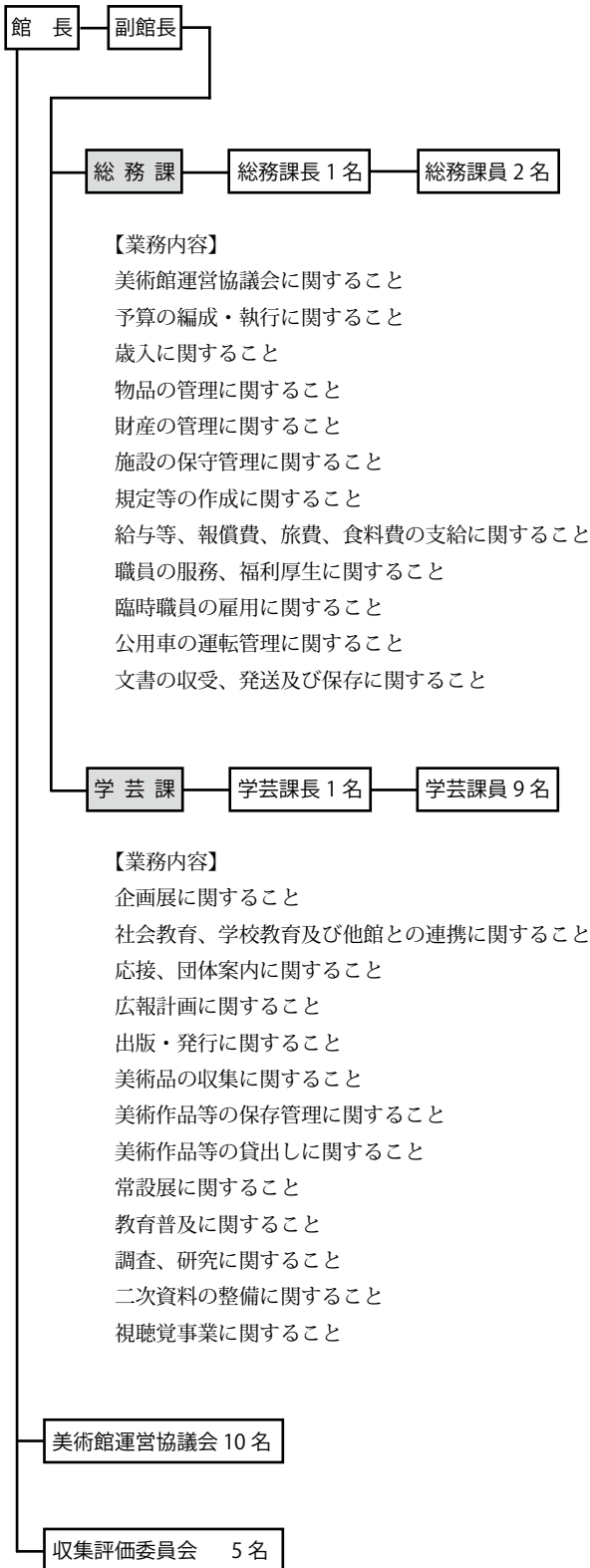
◆部門別専有面積 (*は県立図書館と共用)

サービス部門	1223.8m²
エントランスホール	817.3m ²
受付案内	(ホールに含む)
ブックショップ	(ホールに含む)
ロッカー室	(ホールに含む)
図書コーナー	(ホールに含む)
ロビー	202.1m ²
*軽食喫茶室	179.0m ²
授乳室・救護室	25.4m ²
展示部門	3064.4m²
企画展示室 A (A-1,2,3)	1380.8m ²
企画展示室 B	431.1m ²
	(企画展示室合計 1811.9m ²)
常設展示室 A	403.1m ²
常設展示室 B	359.1m ²
常設展示室 C	143.8m ²
常設展示室 D	132.8m ²
	(常設展示室合計 1038.8m ²)
展示用具室	141.2m ²
展示用具室 2	72.5m ²
収蔵部門	1365.3m²
収蔵庫 A	280.2m ²
収蔵庫 B	368.7m ²
収蔵庫 C	105.1m ²
一時保管庫	51.8m ²
収蔵庫前室	57.6m ²
搬出入口	65.7m ²
荷解梱包室	188.8m ²
梱包倉庫	77.7m ²

荷扱人控室	29.6m ²
燻蒸室	33.3m ²
工作修復室	106.8m ²
普及部門	654.6m²
*講堂	498.6m ²
講義室	73.9m ²
実習室 (準備室含む)	82.1m ²
研究部門	187.2m²
研究図書室	88.7m ²
写真室	98.5m ²
管理部門	1832.7m²
応接室	48.0m ²
副館長室	34.0m ²
事務室 (総務課・学芸課)	174.0m ²
会議室	73.3m ²
館長室	43.2m ²
事務機械室	16.0m ²
警備室	54.7m ²
更衣室	8.7m ²
受付控室	15.4m ²
給湯室	4.4m ²
倉庫	33.0m ²
*機械室	1266.4m ²
車庫	61.6m ²
その他(化粧室・廊下・階段等)	1330.8m²

◆組織図・職員名簿

1. 組織図



2. 職員名簿（2019年3月31日現在）

名誉館長	酒井 哲朗（2016.4.1-）
館長	早川 博明（2012.4.1-）
副館長	鶴見 宏幸（2018.4.1-）
総務課長	菅野 徹（2016.4.1-2019.3.31）
総務課 主査	高橋奈央子（2017.4.1-）
総務課 同	嶋原 由夏（2018.4.1-）
総務課 専門員	玉木 文夫（2016.4.1-）
学芸課長	荒木 康子（1990.4.1-）
学芸課 専門学芸員	堀 宜雄（1989.4.1-）
学芸課 同	増渕 鏡子（1993.4.1-）
学芸課 主任学芸員	宮武 弘（1992.4.1-）
学芸課 同	大北 孝（2018.4.1-）
学芸課 副主任学芸員	紺野 朋子（2012.4.1-）
学芸課 同	坂本 篤史（2014.4.1-）
学芸課 学芸員	白木ゆう美（2014.4.1-）
学芸課 同	橋本 恵里（2017.4.1-）
学芸課 専門員	伊藤 匡（2017.4.1-）

□利用案内

1. 開館時間

9時30分～17時（最終入館は16時30分まで）

※夜間開館を行うことがあります。

2. 休館日

1) 月曜日（祝祭日をのぞく）

2) 祝祭日の翌日（土日をのぞく）

3) 年末年始（12月28日～1月4日）

※都合により臨時休館を行うことがあります。

3. 観覧料

1) 常設展

一般・大学生：270円（210円）、高校生以下：無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

2) 企画展 その都度料金が変わります。

※企画展の料金で常設展もご覧になれます。

※企画展のみの観覧券は発行していません。

※ふくしま教育週間（11月1日～7日、ただし休館日は除く）

中は、小・中・高校生は企画展料金も無料。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は企画展料金が無料

（身体障害者手帳・療育手帳1種、精神障害者保険福祉手帳

1級をお持ちの方は付き添いの方も無料）

4. 常設展無料

1) 子供の日（5月5日）、県民の日（8月21日）、

敬老の日（9月第3月曜）、文化の日（11月3日）

2) 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方（それぞれ第1種または1級の方は付き添いの方も無料）

3) 小・中・高校生（団体の場合、引率者も無料）

5. 常設展減額免除

常設展料金無料：大学生が、学校活動の一環で観覧するとき

常設展料金半額：公民館や公共団体が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき

※事前申請が必要です。いずれも引率者は無料となります。

6. 年間観覧券

常設展示・企画展示ともに、購入より一年間有効

（一般・大学生 3,000円／高校生 1,800円／小・中学生 1,200円）

7. 交通案内

1) J R 福島駅（東口）より

電車：福島交通飯坂線「美術館図書館前駅」下車、徒歩2分

バス：9番バス乗り場より、福島交通もりん2コース「県立美術館入口」下車、徒歩4分

タクシー：約5分

2) 自家用車

東北自動車道・福島飯坂ICより約15分、福島西ICより約20分 ※駐車場150台収容

福島県立美術館年報 平成30年度・2018

2019年2月28日 発行

編集・発行 福島県立美術館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

電話 024-531-5511

ファックス 024-531-0447

ホームページ <https://art-museum.fcs.ed.jp>

印刷

キング印刷株式会社

